

397

256イ

增補
改訂

市町村國稅事務便覽

法財人團 大藏財務協會仙臺支部發行



0030886000

0030886-000

397-256イ

市町村國稅事務便覽

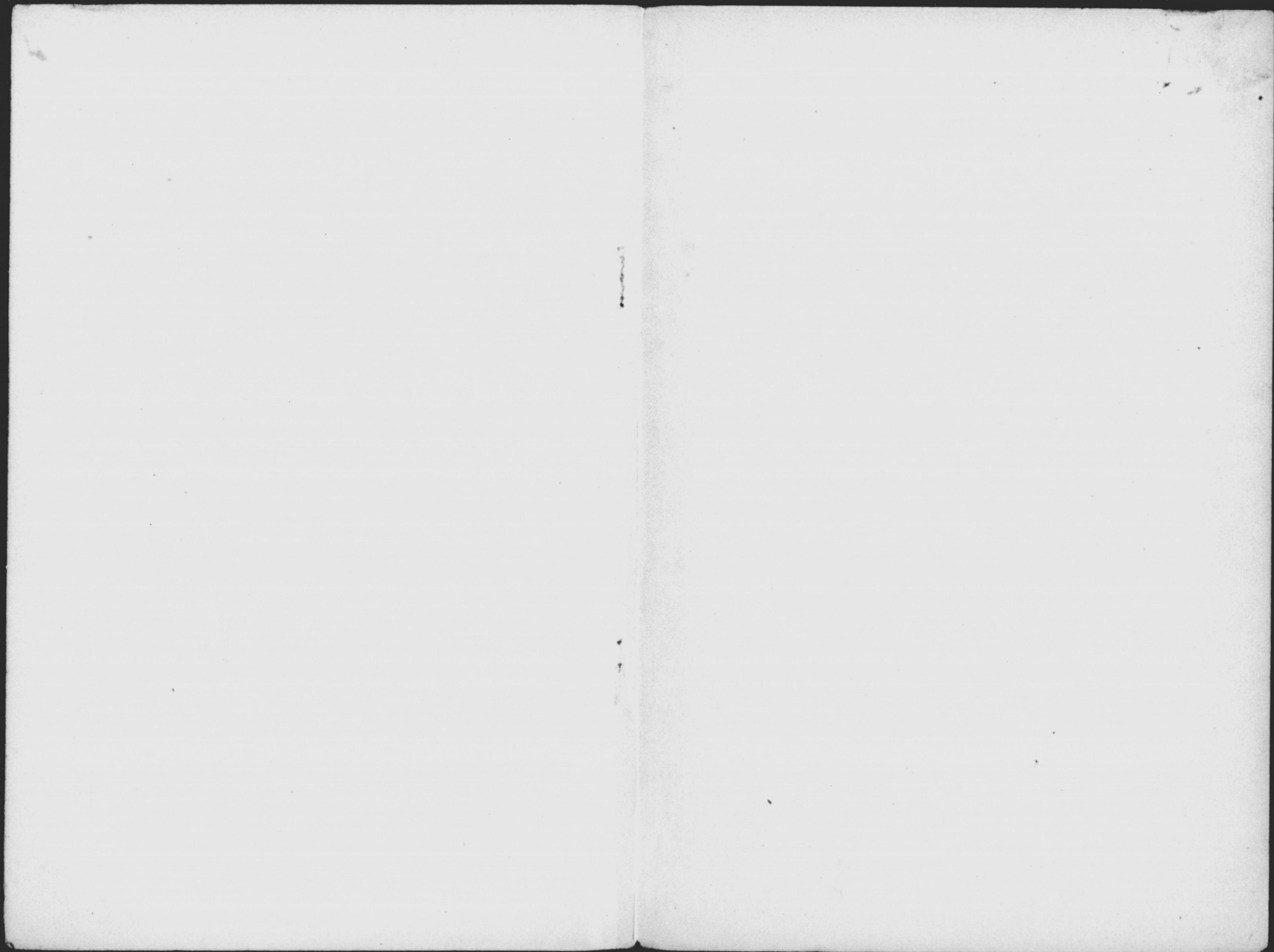
大藏財務協會仙台支部・編

大藏財務協會仙台支部

訂補7版

昭13

AEB



397
2564

序

本書ハ國稅事務取扱方ニ關シ市町村當務者ノ便宜ノ爲メ東北財務協會ニ於テ發刊、版ヲ重ヌルコト六版ニ及ヒタルモノナルカ昭和十年十月之カ版權一
切ヲ本協會ニ於テ繼承シ今般其ノ後ノ關係法令ノ改廢手續ノ變更ニ伴フ各部

分ニ對シ改訂ヲ施シ第七版ヲ頒布セントス

本書ハ雷ニ市町村當務者ノ參考トナルニトドマラス地主、土地調査人其
他ニ對シテモ煩瑣ナル地租事務ヲ中心トシテ資スル所多大ナルヘキコトヲ信
シ敢テ江湖ニ推獎スル次第ナリ

昭和十三年一月

財團大藏財務協會





はし が き

一 本書ハ専ラ實務家ノ手引タラシメントスルニアルヲ以テ、實務ニ遠サカレル學說、理論等ノ記述ヲ避ケ、執務上須要ナル事項ノミヲ簡明ヲ旨トシテ解説、記述セリ。

二 諸帳簿及書類ノ書式ニ付テハ法令ニ定メアルモノハ之ニ依リ、其ノ定メナキモノハ仙臺稅務監督局所定ノモノヲ掲載セリ。

市町村國稅事務便覽目次

第一編 地租事務

第一章 土地ノ種類	一
第二章 土地ノ異動	四
第一節 有租地及無租地ノ轉換	四
一 有租地成	四
二 無租地成	六
三 開拓減租年期	八
四 埋立免租年期	一〇
第二節 分筆及合筆	三
一分筆	三
二分筆	五
第三節 開墾	六
第四節 地目變換及地類變換	一〇

一	地目變換及地類變換	一〇
二	地目變換減租年期	一一
第五節	災害免地租	二二
第三章	荒地免租	二四
第四章	自作農地免租	二七
第五章	造林地免租	二九
第六章	誤、謬訂正	三二
第七章	住所氏名ノ異動	三四
第八章	納稅管理人	三五
第九章	土地臺帳謄本	三六
第十章	申請、申告義務	三七
第十一章	罰則其他	三七
第十二章	土地ノ測量	三七
第十三章	貸賃價格ノ設定及修正	三八
第十四章	地租ニ關スル申請、申告	三九
		四二

第一節	申請、申告期限一覽表	四二
第二節	申請、申告書式	四二
第十五章	地租事務整理	四九
第一節	通則	七九
第二節	土地臺帳	八二
第三節	地租名寄帳	九一
第四節	有租地集計簿	九六
第五節	地租圖	一〇一
第六節	地租徵收及納額報告	一〇一
第七節	書類編纂	一〇五
第二編	相續開始原因報告事務	一〇七
第三編	徵收事務	一〇九
第一章	市町村ニ於ケル國稅徵收ノ責任及其ノ責任ノ免除	一〇九
第二章	市町村ニ於ケル徵收ノ手續	一一一

- 第一節 政府ノ會計年度及歲入金ノ所屬年度 一一一
- 第二節 國稅徵收手續ノ開始 一一二
- 第三節 納 稅 告 知 一一五
- 第四節 税金ノ領收及保管 一二〇
- 第五節 税金ノ送付 一二八
- 第六節 滯 納 報 告 一三五
- 第七節 諸帳簿整理 一三八
- 第八節 雜 件 一四七
 - 一 施設スヘキ事項 一四七
 - 二 注意スヘキ事項 一五〇
- 第三章 市町村交付金其ノ他歲出金支拂 一五三
 - 第一節 市町村交付金 一五三
 - 第二節 地租名寄帳整理補助 一五五
 - 第三節 所得資料調書交付金 一五五
 - 第四節 租稅調查委員選舉立會人日當 一五七

- 第五節 歲出金支拂手續一斑 一五七
- 第六節 拂 戻 金 一五八
- 第四章 監督及協議ニ關スル注意要項 一六一

第四編

- 第一章 貸貸價格改訂 一六五
 - 第一節 通 則 一六五
 - 第二節 土地臺帳副本ノ整理 一七一
 - 第三節 地租名寄帳ノ整理 一七七

附 錄

- 支那事變ニ因ル地租輕減 一
- 市町村徵收國稅納期限月別一覽 九

市町村國稅事務便覽

第一編 地租事務

第一章 土地ノ種類

土地ニ國有地、御料地及民有地ノ區別アリ、國有地及御料地ニ付テハ地租及地方稅ヲ課セサルモノニシテ國稅事務ニ殆ト關係ナキヲ以テ茲ニ説明セス。

一 民有地下ハ國有地及御料地ニ屬セサル土地ノ全部ヲ謂フモノニシテ地租其ノ他ノ公課ヲ課スルモノト之ヲ課セサルモノトアリ、其ノ之ヲ課スルモノシ有租地ト謂ヒ之ヲ課セサルモノヲ無租地ト稱ス。

有租地ハ之ヲ區別シテ左ノ二類ト爲ス(地租法第六條第一項)

第一類地 田、畑、宅地、鹽田、鑛泉地

第二類地 池沼、山林、牧場、原野、雜種地

二 無租地

一 無租地ニハ地租法ニ依ルモノト其ノ他ノ法律ニ依ルモノトアリ。

Table of contents with vertical text and page numbers (e.g., 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百).

二 地租法ニ於テ無租地 定メタルモノ左ノ如シ。

但シ該土地カ有料借地ナルトキハ免租セス(地租法第二條)。

(一) 國、府縣、市町村其ノ他勅令ヲ以テ指定スル公共團體カ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地

(二) 府縣、市町村其ノ他勅令ヲ以テ指定スル公共團體カ公用又ハ公共ノ用ニ供スヘキモノト定メタル其ノ所有地但シ其ノ定メタル日ヨリ一年内ニ公用又ハ公共ノ用ニ供セサルモノヲ除ク

(參照) 勅令ノ指定ニ依ル公共團體ノ種類左ノ如シ(地租法施行規則第一條)。

イ 府縣組合、市町村組合、町村組合、市町村内ノ區、北海道地方費

ロ 市町村學校組合、町村學校組合、學區

ハ 水利組合、水利組合聯合會、北海道士功組合

(三) 府縣社地、鄉村社地、招魂社地

(四) 墳墓地

(五) 公衆用道路、鐵道用地、軌道用地、運河用地

(六) 用惡水路、溜池、堤塘、井溝

(七) 保安林

三 無租地ノ地目ハ府縣社地、鄉村社地、招魂社地、墳墓地、公衆用道路、鐵道用地、軌道用地、運河用

地、用惡水路、溜池、堤塘、井溝、保安林ニ付テハ各其ノ區別ニ依リ其ノ他ノ土地ニ付テハ其ノ現況ニ

依リ適當ニ區別シテ之ヲ定ムルモノトス(地租法第六條第二項)。

四 其ノ他ノ法律ニ於テ無租地ト定メタルモノ左ノ如シ。

(一) 水道用地 市町村ノ住民ノ需要ニ應ジ給水ノ目的ヲ以テ布設スル水道ノ水源地、貯水池、濾水場、

唧水場及水道線路ニ要スル土地ヲ謂フ(水道條例第一條)。

水道用地ハ國稅其ノ他ノ公課ヲ免除ス(水道條例第五條)。

(二) 砂防用地 砂防用地トハ治水上砂防ノ爲砂防設備ヲ要スル土地又ハ砂防法ニ依リ治水上砂防ノ爲内

務大臣ニ於テ一定ノ行爲ヲ禁止若ハ制限スヘキ土地トシテ指定シタル土地ヲ謂フ(砂防法第二條)。

砂防用地ニ付テハ其ノ所有者又ハ納稅義務者ノ申請ニ依リ地租其ノ他ノ公課ヲ免除又ハ輕減セララル

モノトス(砂防法第一條及明治三二年勅令第三七四號第一條、第二條)。

砂防用地ニシテ地租ヲ免除セラレタルモノハ無租地トス。

(三) 私立學校用地 左ニ掲クルモノノ用ニ供スル土地ニ付テハ納稅義務者ノ申請ニ依リ其ノ地租ヲ免

除ス但シ有料借地ナルトキハ免除セス(私立學校用地免租ニ關スル法律第一條)。

イ 私立ノ幼稚園、小學校、中學校、高等女學校、實業學校、專門學校、高等學校及大學。

ロ 前號ニ提ケサル私立學校ニシテ大藏大臣ニ於テ指定シタルモノ。

私立學校用地トシテ地租ヲ免除スヘキ土地ハ校舍及寄宿舎、圖書館其ノ他保育又ハ教育上必要ナル附屬建物ノ敷地並運動場、實習用地其ノ他直接ニ保育又ハ教育ノ用ニ供スルモノニ限ル但シ收益ヲ生スル土地ニ付テハ大藏大臣ハ免租スヘキ區域ヲ制限スルコトヲ得ルモノトス(第二條)。

(四) 公共用飛行場 公共ノ用ニ供スル飛行場ノ用地ニ付テハ納稅義務者ノ申請ニ依リ其ノ地租ヲ免除ス但シ一時ノ使用ニ供スルモノ又ハ有料借地ノモノニ付テハ免租セサルモノトス(航空法第三八條)。

(五) 國立公園 國立公園内ノ特別地域内ノ山林ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ地租其ノ他ノ公課ヲ免除セラレルモノナルモ未タ地租免除ニ關スル勅令ノ發布ナシ(國立公園法第八條)。

第二章 土地ノ異動

第一節 有租地及無租地ノ轉換

一 有租地 成

一 有租地成 有租地成トハ國有地若ハ御料地ノ拂下、讓與又ハ無租地ノ使用廢止等ニ依リ地租ヲ課セサル土地カ地租ヲ課スル土地ト爲リタルモノヲ謂フ。

二 地番 國有地ノ拂下、讓與等ニ依リ新ニ土地臺帳ニ登錄スヘキ土地ヲ生シタルトキハ當該地番地域(大字毎ニ起番セルモノハ其ノ大字又小字毎ニ起番セルモノハ其ノ小字トス)ノ最終番ヲ追ヒ順次其ノ

次番ヲ附スルモノトス但シ最終番ノ次番ヲ付スルカ爲該土地ト接續地トノ地番カ著シク隔絶シ取扱上不便ナル場合ノ如キニ在リテハ土地分筆ノ例ニ準シ接續地ノ地番ニ符號ヲ付シ其ノ土地ノ地番ト爲スモ妨ナキモノトス。又從來國有地、民有地トヲ通シテ地番ヲ付セルモノニ付テハ元番號ヲ以テ其ノ土地ノ地番トスルモノトス(地租法第一六條)。

三 地目 新ニ土地臺帳ニ登錄スヘキ土地ヲ生シタルトキハ直ニ其ノ地目ヲ設定ス。又土地臺帳ニ登錄セラレタル無租地カ有租地ト爲リタルトキハ直ニ其ノ地目ヲ修正スルモノトス(地租法第一七條)。

四 地積 新ニ土地臺帳ニ登錄スヘキ土地ヲ生シタルトキハ直ニ測量シテ其ノ地積ヲ定ム。又土地臺帳ニ登錄セラレタル無租地カ有租地ト爲リタルトキハ直ニ其ノ地積ヲ改測ス但シ其ノ地積ニ異動ナト認ムルトキハ之ヲ省畧スルコトヲ得ルモノトス(地租法第一八條)。

五 賃貸價格 無租地カ有租地ト爲リタルトキハ其ノ地ノ現況ニ依リ直ニ賃貸價格ヲ設定ス但シ開拓減租年期許可ノ申請アル土地ノ賃貸價格ハ現況ニ依ラス開拓前ノ土地ニ相當スル賃貸價格ヲ定ムルモノトス

(地租法第二四條)

六 地租 賃貸價格ヲ設定シタルトキハ其ノ設定シタル年ノ翌年分ヨリ地租ヲ徵收スルモノトス(地租法第二六條第一項)。

七 申告 無租地カ有租地ト爲リタルトキハ土地所有者ハ三十日内ニ稅務署長ニ申告スルモノトス(地租法第一五條)。

有租地成ノ申告ヲ要スル場合ヲ舉クレハ左ノ如シ

(一) 國有地若ハ御料地ノ拂下、讓與等ニ依リ有租地ト爲リタルトキ。

(二) 公用又ハ公共ノ用ニ供シ免租セラレタル土地ニシテ其ノ供用ヲ廢止シタルトキ又ハ無料借地ヲ有料借地ニ變更シタルトキ。

(三) 公用又ハ公共ノ用ニ供スヘキモノト定メ免租セラレタル土地ニシテ一年內ニ公用若ハ公共ノ用ニ供セサルトキ。

(四) 府縣社地、鄉村社地、招魂社地、墳墓地、公衆用道路、鐵道用地、軌道用地、運河用地、用惡水路、溜池、堤塘、井溝、水道用地、私立學校用地、公共用飛行場ノ供用ヲ廢止シタルトキ又ハ水道用地以外ノ無料借地ヲ有料借地ニ變更シタルトキ。

(五) 保安林、砂防用地ハ免租セラレタルモノヲ解除セラレタルトキ。

八 申告 前號(四)乃至(五)ノ場合ニ於テ異動地ノ地積カ原地ノ地積ト同一ナラサルトキハ測量圖ノ添付ヲ要スルモノトス(地租法施行規則第六條第二項)。

二 無租地成

一 無租地成 無租地成トハ地租ヲ課スル土地カ地租ヲ課セサル土地ト爲リタルモノヲ謂フ。

一二 國有地成 有租地カ國有地ト爲リタルトキハ大体民有無租地成ノ例ニ準シテ取扱フモノトス。

ス三 地目 有租地カ無租地ト爲リタルトキハ直ニ其ノ地目ヲ修正スルモノトス(地租法第一七條)。

四 地租 有租地カ無租地ト爲リタルトキハ其ノ申告ヲ要スルモノニ付テハ其ノ申告アリタル後ニ開始スル納期ヨリ、又申告ヲ要セサルモノニ付テハ稅務署長カ其ノ事實ヲ認メタル後ニ開始スル納期ヨリ地租ヲ徵收セサルモノトス(地租法第二七條)。

五 申告 有租地カ無租地ト爲リタルトキハ土地所有者ハ三十日內ニ稅務署長ニ申告スルモノトス但シ之ニ關シ豫メ政府ノ許可ヲ受ケ若ハ申告ヲ爲シタルモノ又ハ官公署ニ於テ公示シタルモノニ付テハ申告スルニ及ハサルモノトス(地租法第一五條)。

無租地成ノ申告ヲ要セサル場合ヲ舉クハ左ノ如シ。

(一) 墳墓地成

(二) 公立學校用地成

(三) 神社境内地成

(四) 保安林成

(五) 河川敷地(河川法第二條ニ依ルモノ)

六 申請、砂防用地、私立學校用地、公共用飛行場用地ニ付地租ノ免除ヲ受ケムトスル者ハ稅務署長ニ申請スルモノトス(砂防法第十一條ノ地租其ノ他ノ公課減免ニ關スル件第三條、大正八年大藏省令第三三號私立學校用地免租ニ關スル法律施行方ノ件、昭和二年六月大藏省令第一七號航空法第三八條ノ規定ニ依リ公共ノ用ニ供スル飛行場用地ノ地租免除施行方ノ件)。

三 開拓減租年期

- 一 開拓地 開拓地トハ國有財務法第二十一條ノ規定ニ依リ賣拂又ハ讓與ノ豫約ヲ爲シタル土地ニシテ開拓ノ事業成功ニ因リ賣拂又ハ讓與ヲ受ケ有租地ト爲リタルモノヲ謂フ(地租法第一九條)。
- 二 年期 開拓地ニハ土地所有者ノ申請ニ依リ有租地ト爲リタル年及其ノ翌年ヨリ二十年ノ開拓減租年期ヲ許可ス、其ノ年期滿了スルモ尙地味成熟セサル土地ニ付テハ更二十年ノ年期延長ヲ許可スルコトヲ得ルモノトス(地租法第一九條)。
- 三 年期 年期中荒地免租年期ヲ許可セラレタルトキハ其ノ期間中ハ開拓減租年期ノ進行ヲ止ムルモノトス(地租法第五九條)。
- 四 年期 年期中地味成熟シタル場合ニ於テハ稅務署長ニ申請シ殘年期ヲ拋棄スルコトヲ得ルモノニシテ此ノ場合ニ於テハ年期滿了ノモノト同様ニ取扱ハルルモノトス。
- 五 年期 年期中ニ於テ地類變換ヲ爲シタルトキハ開拓減租年期ハ消滅ス(地租法第二二條)。
- 六 地番 開拓地ノ地番ノ定メ方ハ有租地成ニ同シ。
- 七 地目 地目ハ現況ニ依リ開拓セル第一類地ノ地目ヲ付スルモノトス(地租法第一七條)。
- 八 地目 年期中ニ地目變換又ハ地類變換シタルトキハ直ニ其ノ地目ヲ修正スルモノトス(地租法第二二條)。
- 九 地積 開拓減租年期ノ滿了ニ因リ賃貸價格ヲ修正スル場合ニ於テハ原則トシテ地積ノ改測ヲ要セサルモノトス但シ必要アリト認ムルトキハ其ノ地積ヲ改測ス(地租法第二五條)。

一〇 賃貸價格 開拓減租年期地ニ付テハ有租地ト爲リタルトキ直ニ原地相當ノ賃貸價格ヲ設定シ開拓減租年期ノ滿了スル年ニ於テ其ノ賃貸價格ヲ修正スルモノトス(地租法第二四條)。

一一 賃貸價格 年期中ニ於テ地目變換ヲ爲シタルトキハ其ノ地目ヲ修正スルモ其ノ賃貸價格ハ之ヲ修正セサルモノトス(地租法第二二條)。

一二 賃貸價格 年期中ニ於テ地類變換ヲ爲シタルトキハ直ニ其ノ賃貸價格ヲ修正スルモノトス(地租法第二二條)。

一三 賃貸價格 開拓減租年期地ニ付テハ年期ノ滿了スル年ニ於テ賃貸價格ヲ修正スルモノトス。又年期ヲ拋棄シタルモノニ付テハ年期滿了ノモノニ準シ直ニ賃貸價格ヲ修正スルモノトス(地租法第二四條)。

一四 賃貸價格 開拓地ニシテ開拓減租年期ヲ請ハサルモノニ付テハ普通ノ有租地成ト同様ニ取扱ハルルモノニシテ現況ニ依リ直ニ賃貸價格ヲ設定スルモノトス(地租法第二二條、四條第一項)。

一五 地租 開拓減租年期中ハ其ノ原地(開拓前ノ土地)相當ノ賃貸價格ニ依リ地租ヲ徵收スルモノトス(地租法第一項、九條第一項)。

一六 地租 年期中地目變換又ハ地類變換シタルトキハ其ノ地目ヲ修正シタル年ノ翌年分ヨリ變換地目ニ依リ地租ヲ徵收スルモノトス(地租法第五三條)。

一七 地租 年期ノ滿了ニ因リ賃貸價格ヲ修正シタル土地ニ付テハ其ノ修正ヲ爲シタル年ノ翌年分ヨリ修

正賃貸價格ニ依リ地租ヲ徵收スルモノトス(地租法第二、六條第二項)。

一八 地租 年期中地類變換(即チ年期中消滅ノモノ)ニ因リ地目又ハ賃貸價格ヲ修正シタルトキハ其ノ修正ヲ爲シタル年ノ翌年分ヨリ修正地目又ハ修正賃貸價格ニ依リ地租ヲ徵收スルモノトス(地租法第五三條)。

一九 申請 開拓減租年期ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ有租地ト爲リタル日ヨリ六十日以内ニ、又年期延長ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ年期ノ滿了スル年ノ六月三十日迄ニ稅務署長ニ申請スルノトス(地租法第二一條)。

二〇 申告 年期中ニ於テ地目變換又ハ地類變換ヲ爲シタルトキハ土地所有者ハ三十日以内ニ稅務署長ニ申告スルモノトス(地租法第四五條)。

二一 申告 開拓減租年期地ニ付テハ土地所有者ハ年期ノ滿了スル年ノ六月三十日迄ニ年期滿了申告書ヲ稅務署長ニ提出スルモノトス(地租法第二三條)。

二二 申告 年期ノ滿了ニ因リ賃貸價格ノ修正ヲ要スル場合ニ於テ地積ノ改測ヲ爲ササルモノニ付テハ申告書ニ測量圖ノ添付ヲ要セサルモ必要ト認め改測シタルモノニ在リテハ測量圖ノ添付ヲ要スルモノトス(地租法施行規則第六條)。

四 埋立免租年期

一 埋立地 埋立地トハ國有財産法第二十一條ノ規定ニ依リ賣拂又ハ讓與ノ豫約ヲ爲シタル土地ニシテ埋立(干拓ヲ含ム)ノ事業成功ニ因リ賣拂又ハ讓與ヲ受ケ有租地ト爲リタルモノ又ハ公有水面埋立法第

二十四條若ハ第五十條ノ規定ニ依リ埋立地ノ所有權ヲ取得シ有租地ト爲リタルモノヲ謂フ(地租法第二、〇條第一項)。

二 年期 埋立地ニ付テハ土地所有者ノ申請ニ依リ有租地ト爲リタル年及其ノ翌年ヨリ六十年ノ埋立免租年期ヲ許可ス。其ノ年期滿了スルモ尙地味成熟セサル土地ニ付テハ更二十年ノ年期延長ヲ許可スルコトヲ得ルモノトス(地租法第二〇條)。

三 年期 年期中ニ於テ荒地免租年期ノ許可ヲ受ケタルトキハ其ノ期間中ハ埋立免租年期ノ進行ヲ止ムルモノトス(地租法第五九條)。

四 年期 年期中地味成熟シタル場合ニ於テハ稅務署長ニ申請シテ殘年期ヲ拋棄スルコトヲ得ルモノニシテ此ノ場合ニ於テハ年期滿了ノモノト同様ニ取扱ハルルモノトス。

五 地番 埋立地ノ地番ノ定メ方ハ有租地成ニ同シ。

六 地目 地目ハ現況ニ依リ設定スルモノトス(地租法第一七條)。

七 地目 年期中ニ於テ地目變換、地類變換又ハ開墾ニ該當スル土地ノ異動アルモ、地目變換、地類變換又ハ開墾ナキモノト看做シ免租年期ノ滿了スル年ニ於テ其ノ地目ヲ修正スルモノトス(地租法第二、二條第三項)。

八 地積 埋立免租年期ノ滿了ニ因リ賃貸價格ヲ設定スル場合ハ原則トシテ地積ノ改測ヲ要セサルモノトス但シ必要アリト認めルトキハ其ノ地積ヲ改測ス(地租法第二五條)。

九 賃貸價格 埋立免租年期地ニ付テハ年期中ハ賃貸價格ヲ定メス年期ノ滿了スル年ニ於テ賃貸價格ヲ

設定スルモノトス。又年期ヲ拋棄シタルモノニ付テハ年期満了ノモノニ準シ直ニ賃貸價格ヲ設定スルモノトス(地租法第二四條)。

一〇 賃貸價格 埋立地ニシテ埋立免租年期ヲ請ハサルモノニ付テハ普通ノ有租地成ト同様ニ取扱ハルルモノニシテ現況ニ依リ直ニ賃貸價格ヲ設定スルモノトス(地租法第二四條第一項)。

一一 地租 賃貸價格ヲ設定シタル年ノ翌年分ヨリ地租ヲ徴收スルモノトス(地租法第二六條第一項)。

一二 申請 埋立免租年期ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ有租地ト爲リタル日ヨ六十日以内ニ、又年期延長ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ年期ノ満了スル年ノ六月三十日迄ニ稅務署長ニ申請スルモノトス(地租法第二一條)。

一三 申告 埋立免租年期地ニ付テハ土地所有者ハ年期ノ満了スル年ノ六月三十日迄ニ年期満了申告書ヲ稅務署長ニ提出スルモノトス(地租法第二三條)。

一四 申告 埋立免租年期ノ満了ニ因リ賃貸價格ノ設定ヲ要スル場合ニ於テ地積ノ改測ヲ爲ササルモノニ付テハ申告書ニ測量圖ノ添付ヲ要セサルモ必要ト認メ改測シタルモノニ在リテハ測量圖ノ添付ヲ要スルモノトス(地租法施行規則第六條)。

第二節 分筆 及 合筆

一分 筆

一 分筆 分筆トハ一筆ノ土地ヲ數筆ノ土地ト爲スヲ謂フ(地租法第二八條)。

二 職權分筆 分筆ハ土地所有者ノ申告ニ依リ之ヲ爲スモノナルモ一筆ノ土地ノ一部カ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ申告ナキ場合ニ於テモ稅務署長ハ其ノ土地ヲ分筆スルモノトス(地租法第三〇條)。

(一) 別地目ト爲ルトキ

(二) 無租地カ有租地ト爲ルトキ

(三) 所有者ヲ異ニスルトキ

(四) 質權又ハ百年ヨリ長キ存續期間ノ定アル地上權ノ目的ト爲ルトキ

(五) 地番區域ヲ異ニスルトキ

三 外書地ノ分筆 土臺帳中一筆ノ外書ト爲セル墳墓地其ノ他別地目ト爲スヘキモノハ當該土地異動ノ時々之ヲ分筆スルモノトス。

四 地番 分筆地ノ地番ハ分筆前ノ地番ニ一、二、三等ノ如ク符號ヲ附シ之ヲ定ムルモノトス但シ符號ノアル土地ヲ分筆シタルモノニ付テハ其ノ一筆ニハ從來ノ符號ヲ存シ他ノ各筆ニハ其ノ最終ノ符號ヲ追ヒ順次符號ヲ附シテ定ムルモノトス。又戶籍番ノ關係等特別ノ事情ニ依リ土地所有者ヨリ請求アルトキハ適宜ノ地番ヲ定ムルモ妨ナキモノトス(地租法第三一條)。

五 等級 分筆地ニ付テハ分筆前ノ土地ト同一等級ヲ附スルモノトス但シ分筆各筆ノ地位ニ優劣アル爲各筆ノ假定賃貸價格ヲ算出シ之ニ依リ元賃貸價格ヲ按分計算シタルモノニ付テハ等級ヲ附モサルモノトス。

六 地積 分筆地ノ地積ハ一方(三筆以上ニ分筆ノ場合ハ一筆ヲ除キタル他ノ各筆)ヲ測量シ之ヲ元地積ヨリ控除シタルモノノ殘額ヲ以テ他ノ一方ノ地積ト爲スモ妨ナキモノトス。又必要ニ依リ分筆地ノ双方ヲ測量シタル場合ハ之ニ依リ其ノ地積ヲ定ムヘキモノニシテ測量ニ因ル地積ノ増減額ニ付テハ分筆ニ因ル増減トシテ整理スルコトヲ得ルモノナルモ其ノ増減額ノ著シキモノニ在リテハ先ツ分筆前ノ土地ニ付地積誤謬訂正ノ手續ヲ爲スヘキモノトス。

七 賃貸價格

分筆地ニ對スル賃貸價格ハ左記各號ニ依リ之ヲ配分スルモノトス(地租法第三條第一項)。

- (一) 分筆各筆ノ地位情況相等シキ分筆地ニ付テハ分筆地ノ地積ニ應シテ元賃貸價格ヲ按分計算ス。
- (二) 前號ノ場合ニ於テ地積ニ異動ナク且制限附ノ土地ニアラサルモノニ付テハ分筆地ノ一方(三筆以上ニ分筆ノ場合ハ一筆ヲ除キタル他ノ各筆)ノ地積ニ等級相當金額ヲ乘シテ其ノ土地ノ賃貸價格トシ(單位四捨五入)之ヲ元賃貸價格ヨリ控除シ其ノ殘額ヲ以テ他ノ一方ノ賃貸價格ト爲スモ妨ナキモノトス。
- (三) 分筆各筆ノ地位、情況ノ異ナル分筆地ニ對スル賃貸價格ノ配分ハ類地比準ノ方法ニ依リ分筆各筆ノ假定賃貸價格ヲ算出シ之ニ依リ元賃貸價格ヲ按分計算スルモノトス。
- (四) 分筆地ノ賃貸價格ハ田畑ノ畦畔、石塚等ヲ控除セル殘地積ニ付テハ計算スルモノトス。
- (五) 前各號ノ場合ニ於テ分筆筆數ニ一錢ヲ乘シタル金額カ元賃貸價格ト同額ノモノ又ハ元賃貸價格ヲ超過スルモノニ在リテハ分筆各筆ノ賃貸價格ヲ各一錢トス。

(六) 分筆地ニ對スル賃貸價格ノ配分ニ付テハ地積ニ異動アルモノト雖元賃貸價格ニ増減ナカラシムルモノトス但シ前號ニ依リ定メタル各筆賃貸價格ノ合計額カ元賃貸價格ヨリ増加スルモノニ在リテハ此ノ限ニアラス。

八 申告

分筆ヲ爲サントスルトキハ土地所有者ハ之ヲ稅務署長ニ申告スルモノトス(地租法第二九條)。

九 申告

分筆ノ申告書ニハ測量圖ヲ添付スヘキモノナルモ稅務署長ニ於テ必要ト認ムルモノノ外分筆境界線ニ對シ屈曲點ヲ基點トシタル間數ヲ記入セル地形圖ヲ以テ之ニ替フルモ妨ナキモノトス。

二 台 筆

一 別筆ト爲シ置クノ必要ナキモノハ成ルヘク合筆シテ一筆トスルヲ便宜トス但シ左 各號ノ一ニ該當スル土地ハ合筆スルコトヲ得サルモノトス。

- (一) 接續セサル土地又ハ接續スルモ字區域ヲ異ニスル土地
- (二) 地目(小地目ヲ含マス)ヲ異ニスル土地
- (三) 所有者又ハ納稅義務者ヲ異ニスル土地
- (四) 地租ニ關スル年期ヲ有スル土地ト之ヲ有セサル土地
- (五) 地租ニ關スル年期ノ種類又ハ年期ヲ異ニスル土地
- (六) 耕地整理減租年期ヲ有スル土地ニシテ整理施行地區ヲ異ニスル土地

(七) 砂防法ニ依ル地租軽減地ト普通地

二 地番 合筆シタル土地ニ付テハ合筆前ノ地番中ノ首位ノモノヲ以テ其ノ地番ト爲スモノトス但シ戸籍番ノ關係等特別ノ事情ニ依リ土地所有者ヨリ請求アルトキハ適宜ノ地番ヲ定ムルモ妨ナキモノトス(地租法第三條三項)。

三 等級 等級ノ異ナル土地ヲ合筆シタルトキハ合筆前ノ各等級ヲ併存セシムルモノトス。

四 地積 合筆ヲ爲シタルトキハ合筆前ノ各筆ノ地積ヲ合算シタルモノヲ以テ其ノ地積ト爲スモノトス(地租法第三條第二項)。

五 賃貸價格 合筆ヲ爲シタルトキハ合筆前ノ各筆ノ賃貸價格ヲ合算シタルモノヲ以テ其ノ賃貸價格ト爲スモノトス(地租法第三條第二項)。

六 申告 合筆ヲ爲サムトスルトキハ土地所有者ハ之ヲ稅務署長ニ申告スルモノトス(地租法第二九條)。

第三節 開墾

一 開墾 開墾ト稱スルハ第二類地ヲ第一類地ト爲スヲ謂フ(地租法第三四條)。

二 年期 開墾ニ着手シタル土地ニ付テハ土地所有者ノ申請ニ依リ開墾着手ノ年及其ノ翌年ヨリ二十年ノ開墾減租年期ヲ許可ス但シ地類變換ヲ爲シタル後五年内ニ開墾ニ着手シタル土地ニ付テハ之ヲ許可セサルモノトス(地租法第三條第一項)。

三 年期 二十年内ニ成功シ能ハサル開墾地ニ付テハ土地所有者ノ申請ニ依リ開墾着手ノ年及其ノ翌年ヨリ四十年ノ開墾減租年期ヲ許可スルモノトス(地租法第三條第二項)。

四 年期 四十年ノ開墾減租年期ヲ許可セラレタル土地ニシテ其ノ年期滿了スルモ尙地味成熟セサル土地ニ付テハ更ニ十年内ノ年期延長ヲ許可スルコトヲ得ルモノトス(地租法第三條第三項)。

五 年期 宅地又ハ鐵泉地ト爲ス開墾地ニ付テハ其ノ情況ニ依リ稅務署長ハ開墾減租年期ヲ短縮スルコトヲ得ルモノトス(地租法第三條第四項)。

六 年期 年期中ニ於テ荒地免租年期ヲ許可セラレタルトキハ其ノ期間中ハ開墾減租年期ハ其ノ進行ヲ止ムルモノトス(地租法第五條第一項)。

七 年期 年期中地味成熟シタル場合ニ於テハ稅務署長ニ申請シテ殘年期ヲ拋棄スルコトヲ得ルモノトスシテ此ノ場合ニ於テハ年期滿了ノモノト同様ニ取扱ハルルモノトトス。

八 年期 年期中ニ於テ其ノ原地ニ付地目變換シタルトキ又ハ其ノ成功地ニ付地類變換ヲ爲シタルトキハ開墾減租年期ハ消滅スルモノトス(地租法第三條第八條第二項)。

九 地目 開墾成功シタルトキハ開墾減租年期中ナルト否トヲ問ハス直ニ其ノ地目ヲ修正スルモノトス(地租法第四〇條)。

一〇 地目 開墾減租年期中ニ於テ開墾成功シタルトキハ賃貸價格ハ修正セサルモ其ノ地目ハ之ヲ修正ス

ルモノトス。其ノ地目ヲ修正シタル土地ヲ更ニ地目變換シタル場合亦同シ(地租法第三、八條第一項)。

一一 地目 開墾減租年期中ニ於テ其ノ原地ニ付地目變換ヲ爲シタルトキ又ハ其ノ成功地ニ付地類變換ヲ爲シタルトキハ直ニ其ノ地目ヲ修正スルモノトス(地租法第三、八條第二項)。

一二 地積 開墾ニ因リ賃貸價格ヲ修正スル場合ニ於テハ地積ノ改測ヲ要スルモノトス(地租法第四、二條)。

一三 賃貸價格 開墾地ニシテ減租年期中申請セサルモノニ付テハ開墾成功シタルトキ直ニ其ノ賃貸價格ヲ修正スルモノトス(地租法第四、一條第一項)。

一四 賃貸價格 開墾減租年期中ニ付テハ其ノ年期中滿了スル年ニ於テ其ノ賃貸價格ヲ修正スルモノニシテ年期中抛棄シタルモノニ付テハ年期中滿了ノモノニ準シ直ニ賃貸價格ヲ修正スルモノトス但シ年期中滿了スルモノ尙開墾成功セサル土地ニ付テハ開墾成功シタルトキ直ニ其ノ賃貸價格ヲ修正スルモノトス(地租法第四、一條第二項)。

一五 賃貸價格 年期中ニ於テ開墾成功シタルトキ又ハ其ノ成功地ニ付地目變換ヲ爲シタルトキハ其ノ地目ヲ修正スルモノ其ノ賃貸價格ハ之ヲ修正セサルモノトス(地租法第三、八條第一項)。

一六 賃貸價格 年期中ニ於テ其ノ原地ニ付地目變換ヲ爲シタルトキ又ハ其ノ成功地ニ付地類變換ヲ爲シタルトキハ直ニ其ノ賃貸價格ヲ修正スルモノトス(地租法第三、八條第二項)。

一七 地租 年期中ハ原地(開墾前ノ土地)相當ノ賃貸價格ニ依リ地租ヲ徵收スルモノトス(地租法第三、六條第一項)。

一八 地租 年期中滿了ニ因リ地目又ハ賃貸價格ヲ修正シタル土地ニ付テハ其ノ修正ヲ爲シタル年ノ翌年分ヨリ修正地目又ハ修正賃貸價格ニ依リ地租ヲ徵收スルモノトス(地租法第三、四條)。

一九 地租 年期中開墾成功ニ因リ其ノ地目ヲ修正シタル土地又ハ其ノ成功地ニ付更ニ地目變換ヲ爲シタル爲地目ヲ修正シタル土地ニ付テハ其ノ修正ヲ爲シタル年ノ翌年分ヨリ修正地目ニ依リ地租ヲ徵收スルモノトス(地租法第三、四條)。

二〇 地租 年期中其ノ原地ニ付地目變換ヲ爲シ又ハ其ノ成功地ニ付地類變換ヲ爲シタルニ因リ地目又ハ賃貸價格ノ修正ヲ爲シタルトキ(即チ年期中消滅ノモノ)ハ其ノ修正ヲ爲シタル年ノ翌年分ヨリ修正地目又ハ修正賃貸價格ニ依リ地租ヲ徵收スルモノトス(地租法第三、八條第二項)。

二一 申請 開墾減租年期中許可ヲ受ケムトスル者ハ開墾着手ノ日ヨリ三十日以内ニ、又年期中延長ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ年期中滿了スル年ノ六月三十日迄ニ稅務署長ニ申請スルモノトス(地租法第三、七條)。

二二 申告 開墾成功シタルトキハ土地所有者ハ三十日以内ニ之ヲ稅務署長ニ申告スルモノトス(地租法第三、五條)。

二三 申告 年期中ニ於テ地目變換又ハ地類變換ヲ爲シタルトキハ土地所有者ハ三十日以内ニ之ヲ稅務署長ニ申告スルモノトス(地租法第四、五條)。

二四 申告 開墾減租年期中許可ヲ受ケタル土地ニ付開墾ノ豫定地目ヲ變更シ又ハ開墾ヲ廢止シタルトキハ土地所有者ハ遲滯ナク之ヲ稅務署長ニ申告スルモノトス(地租法施行規則第八條)。

二五 申告 開墾減租年期地ニ付テハ土地所有者ハ年期ノ滿了スル年ノ六月三十日迄ニ年期滿了申告書ヲ
稅務署長ニ提出スルモノトス(地租法第三九條)。

二六 申告 開墾ニ因リ賃貸價格ノ修正ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ申告書ニ地積ノ測量圖ヲ添付スルモノ
トス(地租法施行規則第六條)。

第四節 地目變換及地類變換

一 地目變換及地類變換

一 地目變換及地類變換 地目變換トハ第一類地中又ハ第二類地中ノ各地目ヲ變更スルヲ謂ヒ地類變換ト
ハ第一類地ヲ第二類地ト爲スヲ謂フ(地租法第四四條)。

二 地目 地目變換又ハ地類變換ヲ爲シタルトキハ直ニ其ノ地目ヲ修正スルモノトス(地租法第五〇條)。

三 地積 地目變換又ハ地類變換ニ因リ賃貸價格ヲ修正スル場合ハ原則トシテ地積ノ改測ヲ要セサルモノ
トス但シ必要アリト認ムルトキハ其ノ地積ヲ改測ス(地租法第五二條)。

四 賃貸價格 地目變換又ハ地類變換ヲ爲シタルトキハ地目變換減租年期地ヲ除クノ外直ニ其ノ賃貸價格
ヲ修正スルモノトス(地租法第五一條第一項)。

五 地租 地目又ハ賃貸價格ヲ修正シタル土地ニ付テハ其ノ修正ヲ爲シタル年ノ翌年分ヨリ修正地目又ハ
修正賃貸價格ニ依リ地租ヲ徵收スルモノトス(地租法第五三條)。

六 申告 地目變換又ハ地類變換ヲ爲シタルトキハ土地所有者ハ三十日內ニ稅務署長ニ申告スルモノトス
(地租法第四五條)。

七 申告 地目變換又ハ地類變換ニ因リ賃貸價格ノ修正ヲ要スル場合ニ於テ地積ノ改測ヲ爲ササルモノニ
在リテハ測量圖ノ添付ヲ要セサルモ必要ト認メ改測シタルモノニ付テハ測量圖ノ添付ヲ要スルモノトス
(地租法施行規則第六條)。

二 地目變換減租年期

一 年期 二十年内ニ成功シ能ハサル地目變換地ニ付テハ土地所有者ノ申請ニ依リ地目變換着手ノ年及
其ノ翌年ヨリ四十年ノ地目變換減租年期ヲ許可スルモノトス(地租法第四六條第一項)。

二 年期 前號ノ年期滿了スルモ尙地味成熟セサル土地ニ付テハ更ニ二十年内ノ年期延長ヲ許可スルコト
ヲ得ルモノトス(地租法第四六條第二項)。

三 年期 宅地又ハ鑛泉地ニ變換スル土地ニ付テハ其ノ清況ニ依リ稅務署長ハ地目變換減租年期ヲ短縮
スルコトヲ得ルモノトス(地租法第四六條第三項)。

四 年期 年期中ニ於テ荒地免租年期ヲ許可セラレタルトキハ其ノ期間中ハ地目變換減租年期ハ其ノ進
行ヲ止ムルモノトス(地租法第五九條第一項)。

五 年期 年期中地味成熟シタル場合ニ於テハ稅務署長ニ申請シテ殘年期ヲ拋棄スルコトヲ得ルモノニ

シテ此ノ場合ニ於テハ年期満了ノモノト同様ニ取扱ハルルモノトス。

六 年期 年期中ニ於テ地類變換ヲ爲シタルトキハ地目變換減租年期ハ消滅スルモノトス(地租法第四八條第一項)。

七 地目 年期中其ノ原地又ハ變換地ニ付地目變換シタルトキハ賃貸價格ハ修正セサルモ其ノ地目ハ之ヲ修正スルモノトス(地租法第四八條第一項)。

八 地目 地目變換又ハ地類變換ヲ爲シタルトキハ地目變換減租年期中ナルト否トヲ問ハス直ニ其ノ地目ヲ修正スルモノトス(地租法第五〇條)。

九 地積 地目變換ニ因リ賃貸價格ヲ修正スル場合ニ於テハ原則トシテ地積ノ改測ヲ要セサルモノトス但シ必要アリト認ムルトキハ其ノ地積ヲ改測ス(地租法第五二條)。

一〇 賃貸價格 地目變換減租年期地ニ付テハ其ノ年期ノ満了スル年ニ於テ其ノ賃貸價格ヲ修正スルモノニシテ年期ヲ拋棄シタルモノニ付テハ年期満了ノモノニ準シ直ニ其ノ賃貸價格ヲ修正スルモノトス但シ年期満了スルモ尙地目變換セサル土地ニ付テハ地目變換シタルトキ直ニ其ノ賃貸價格ヲ修正スルモノトス(地租法第五一條第二項)。

一一 賃貸價格 年期中ニ於テ其ノ原地又ハ變換地ニ付地目變換ヲ爲シタルトキハ其ノ地目ヲ修正スルモ其ノ賃貸價格ハ之ヲ修正セサルモノトス(地租法第四八條)。

一二 賃貸價格 年期中ニ於テ地類變換ヲ爲シタルトキハ直ニ其ノ賃貸價格ヲ修正スルモノトス(地租法第四八條第二項)。

一三 地租 年期中ハ原地(變換前ノ土地)相當ノ賃貸價格ニ依リ地租ヲ徵收ス(地租法第四六條)。

一四 地租 年期ノ満了ニ因リ地目又ハ賃貸價格ヲ修正シタル土地ニ付テハ其ノ修正ヲ爲シタル年ノ翌年分ヨリ修正地目又ハ修正賃貸價格ニ依リ地租ヲ徵收スルモノトス(地租法第五三條)。

一五 地租 年期中ニ於テ其ノ原地又ハ變換地ニ付地目變換ヲ爲シタル爲地目ヲ修正シタル土地ニ付テハ其ノ修正ヲ爲シタル年ノ翌年分ヨリ修正地目ニ依リ地租ヲ徵收スルモノトス(地租法第五三條)。

一六 地租 年期中地類變換ヲ爲シタルニ因リ地目又ハ賃貸價格ヲ修正シタルトキ(即チ年期消滅ノモノ)ハ其ノ修正ヲ爲シタル年ノ翌年分ヨリ修正地目又ハ修正賃貸價格ニ依リ地租ヲ徵收ス(地租法第五三條)。

一七 申請 地目變換減租年期ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ地目變換着手ノ日ヨリ三十日內ニ、又年期延長ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ年期ノ満了ス年ノ六月三十日迄ニ稅務署長ニ申請スルモノトス(地租法第四十條)。

一八 申告 年期中ニ於テ地目變換又ハ地類變換ヲ爲シタルトキハ土地所有者ハ三十日內ニ之ヲ稅務署長ニ申告スルモノトス(地租法第四五條)。

一九 申告 地目變換減租年期ノ許可ヲ受ケタル土地ニ付變換ノ豫定地目ヲ變更シ又ハ變換ヲ廢止シタルトキハ土地所有者ハ遲滯ナク之ヲ稅務署長ニ申告スルモノトス(地租法施行規則第八條)。

二〇 申告 地目變換減租年期地ニ付テハ土地所有者ハ年期ノ滿了スル年ノ六月三十日迄ニ年期滿了申告書ヲ稅務署長ニ提出スルモノトス(地租法第四九條)。

二一 申告 年期ノ滿了ニ因リ又ハ年期中ニ於テ地類變換ヲ爲シタル爲賃貸價格ノ修正ヲ要スル場合ニ於テ地積ノ改測ヲ爲ササルモノニ付テハ測量圖ノ添付ヲ要セサルモ必要ト認メ改測シタルモノニ在リテハ測量圖ノ添付ヲ要スルモノトス(地租法施行規則第六條)。

第五節 荒地免租

一 荒地 荒地トハ災害ニ因リ地形ヲ變シ又ハ作土ヲ損傷シタル土地ヲ謂フモノトス(地租法第五四條)。

二 年期 荒地ニ付テハ納稅義務者ノ申請ニ依リ荒地ト爲リタル年及其ノ翌年ヨリ十五年內ノ荒地免租年期ヲ許可スルモノトス(地租法第五五條第一項)。

三 年期 荒地免租年期滿了スルモ尙荒地ノ形狀ヲ存スルモノニ付テハ納稅義務者ノ申請ニ依リ更ニ十五年內ノ年期延長ヲ許可スルモノトス(地租法第五五條第二項)。

四 年期 前號ノ年期延長ハ海、湖又ハ河川ノ狀況ト爲リタル荒地ニ付テハ二十年內トス(地租法第五五條第三項)。

五 再荒 荒地免租年期中ノ土地カ再ヒ荒地ト爲リタルトキハ新ニ荒地ト爲リタルモノト同様ノ取扱ヲ爲スモノニシテ再荒ニ因リ荒地免租年期ノ許可ヲ受ケタルトキハ前ノ年期ハ消滅スルモノトス(地租法第五八條)。

六 年期 荒地免租年期延長ハ前後ヲ通算シ制限年數ニ達スル迄ハ幾回之ヲ許可スルモ差支ナキモノトス。

ス。

七 海、湖又ハ河川ノ狀況ト爲リタル荒地ニシテ延長年期カ滿了スルモ尙海、湖、河川ノ狀況ニ在ルモノハ地租法ノ適用ニ付テハ海、湖又ハ河川ト爲リタルモノト看做スモノトス(地租法第五五條第三項)。

八 年期 荒地免租年期ハ稅務署長ニ申請シテ殘年期ヲ拋棄スルコトヲ得ルモノニシテ此ノ場合ニ於テハ年期滿了ノモノト同様ニ取扱ハルルモノトス。

九 地目 荒地免租年期中ニ於テ地目變換、地類變換又ハ開墾ニ該當スル土地異動アルモ地目變換、地類變換又ハ開墾ナキモノト看做サルルモノニシテ此ノ場合ニ於テハ免租年期ノ滿了スル年ニ於テ其ノ地目ヲ修正スルモノトス(地租法第六〇條)。

一〇 地積 荒地免租年期ノ滿了ニ因リ賃貸價格ノ設定ヲ爲ス場合ハ原則トシテ地積ノ改測ヲ要セサルモノトス但シ必要アリト認ムルトキハ其ノ地積ヲ改測ス(地租法第六三條)。

一一 賃貸價格 荒地免租年期地ニ付テハ其ノ年期ノ滿了スル年ニ於テ其ノ賃貸價格ヲ設定スルモノニシテ年期ヲ拋棄シタルモノニ付テハ年期滿了ノモノニ準シ直ニ其ノ賃貸價格ヲ設定スルモノトス(地租法第六二條)。

六二。

一二 賃貸價格 荒地免租年期地ニ付テハ其ノ年期ノ滿了スル年ニ於テ現況ニ依リ其ノ賃貸價格ヲ設定スヘキモノナルモ減租又ハ免租年期中ノ土地ニ對シ荒地免租年期ヲ許可シタルモノニ付テハ例外トシテ

之ニ依ラサルモノトス。

一三 地租 荒地免租年期地ニ付テハ免租年期ノ申請アリタル後ニ開始スル納期ヨリ地租ヲ徴收セサルモノトス(地租法第五七七條)。

一四 地租 荒地免租年期ノ滿了ニ因リ貸賃價格ヲ設定シタル土地ニ付テハ其ノ設定ヲ爲シタル年ノ翌年分ヨリ地租ヲ徴收スルモノトス(地租法第六四條)。

一五 申請 荒地免租年期ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ稅務署長ニ申請スルモノトス(地租法第五〇條第一項)。

一六 申請 荒地免租年期延長ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ年期ノ滿了スル年ノ六月三十日迄ニ稅務署長ニ申請スルモノトス(地租法第五〇條第二項)。

一七 申告 荒地免租年期地ニ付テハ納稅義務者ハ年期ノ滿了スル年ノ六月三十日迄ニ年期滿了申告書ヲ稅務署長ニ提出スルモノトス(地租法第六一條)。

一八 申告 年期滿了ニ至リ海、湖又ハ河川ト爲リタルモノト看做サルル土地ニ付テハ年期ノ滿了スル年ノ六月三十日迄ニ海、湖又ハ河川成申告書ヲ稅務署長ニ提出スルモノトス。

一九 申告 荒地免租年期ノ滿了ニ因リ貸賃價格ノ設定ヲ要スル場合ニ於テ地積ノ改測ヲ爲ササルモノニ付テハ申告書ニ測量圖ノ添付ヲ要セサルモ必要ト認め改測シタルモノニ在リテハ測量圖ノ添付ヲ要スルモノトス(地租法施行規則第六條)。

第三章 災害地免租

一 災害地免租 災害地免租トハ北海道又ハ府縣ノ全部又ハ一部ニ亘ル災害又ハ天候不順ニ因リ收穫皆無ニ歸シタル田畑ノ地租ニ付納稅義務者ノ申請ニ依リ其ノ年分地租ニ限リ免除スルモノヲ謂フ(地租法第六五條)。

二 地目變換若ハ開墾成功ノ申告アリタル土地又ハ耕地整理工事完了シ賃賃價格配賦ノ申出アリタル土地ニシテ未タ土地臺帳ヲ更正セサルモノニ付テハ其ノ成功地目カ田畑ナルトキハ土地臺帳面ノ地目ノ如何ニ拘ラス原地(變換又ハ開墾前ノ土地)又ハ換地ニ相當スル從前ノ土地ノ地租ヲ免除スルモノトス(地租法第六六條及地租法施行規則第一一條)。

三 耕地整理地區内ノ土地ニシテ前號ニ該當スルモノノ免租額ハ左記ニ依リ計算スルモノトス。

(一) 換地ノ全部ニ被害アリタルトキハ從前ノ土地ノ現在地租全額

(二) 換地ノ一部ニ被害アリタルトキハ換地ノ全部ニ對スル被害土地ノ賃賃價格(配賦セラレヘキ)ノ割合ニ依リ免租スヘキ地租ノ基本タルヘキ賃賃價格ヲ算出シ之ニ對スル地租額ニ依ル

四 耕地整理地ニシテ工事完了未済ノモノ又ハ工事完了セルモ賃賃價格配賦ノ申出ナキモノノ地區内ニ於ケル收穫皆無地ニ付テハ土地臺帳ニ掲ケタル地目カ田又ハ畑ニシテ現況地目モ田又ハ畑ナルモノニ

限り免租スヘキモノニシテ土地臺帳所掲ノ土地一筆ヲ單位トシ被害ノ地積カ其ノ七割以上ノモノナルトキハ土地臺帳所掲ノ土地ニ付其ノ地租ヲ免除スルモノトス。

五 災害地地租免除ヲ受ケムトスル者ハ被害現狀ノ存スル間ニ於テ其ノ事實ヲ明ニシテ稅務署長ニ申請スルモノトス(地租法第六七條)。

六 災害地免租ノ申請ヲ爲ス者ハ稅務署長ノ承認ヲ受クル迄收穫皆無ノ事實ヲ證スルニ足ルヘキ作毛ノ存置ヲ要スルモノニシテ作毛ノ存置方ハ便宜一田區(畦畔ヲ以テ區劃セラレタル一區域)毎ニ三株ツツ十字形ニ之ヲ存置スルモ妨ナキモノトス(地租法施行規則第一〇條)。

七 災害地免租ノ申請アリタルトキハ被害ノ調査中其ノ年分地租ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得ルモノトス(地租法第六八條)。

八 收穫皆無ニ因リ免除スヘキ地租ハ收穫皆無ト爲リタル年分ノ地租トス。

九 收穫皆無ニ因リ免除シタル地租ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ之ヲ控除セサルモノトス(地租法第六九條)。

一〇 收穫皆無ノ年中ニ於テ數次納稅義務者ニ異動アリタル土地ノ免租ハ申請者ニ對シ處分ノ指令ヲ爲シ過納地租アルトキハ事實納稅シタル者ニ之ヲ還付スルモノトス。

第四章 自作農地免租

一 自作農地免租 田畑地租ノ納期開始ノ時ニ於テ納稅義務者(法人ヲ除ク)ノ住所地市町村及隣接市町村内ニ於ケル田畑賃賃價格ノ合計金額カ其ノ同居家族ノ分ト合算シ二百圓未滿ナルトキハ納稅義務者ノ申請ニ依リ其ノ田畑ノ當該納期分ノ地租ヲ免除セラルルモノトス但シ小作ニ付シタル田畑ノ地租ニ付テハ免除セサルモノトス(地租法第七〇條第一項)。

二 民法施行前ヨリ引續キ存スル永小作權ニ付其ノ設定ノ當時舊來ノ慣行ニ依リテ小作料支拂ノ外當該田畑ノ地租ノ全額ヲ永小作權者ニ於テ負擔スルコトヲ約シタル田畑ニ付テハ永小作權者ヲ所有者ト看做シ地租法第七〇條第一項ノ規定ヲ適用スルモノトス(地租法第七〇條第二項)。

三 自作農地免租ハ私人ニ於テ納付スヘキ地租ニ限ラルルモノナルヲ以テ私法人タルト公法人タルトヲ問ハス法人ノ納付スヘキ地租ニ付テハ地租免除ノ規定ノ適用ナキモノニシテ神社及寺院ニ付テモ亦法人ト認メ免除規定ヲ適用セサルモノトス。

四 地租法第七〇條ノ規定ニ該當スルヤ否ヤハ田畑地租ノ各納期初日ノ現在ニ依ルモノトス。

五 小作ニ付シタル田畑ナリヤ否ヤノ判定ハ左記ニ依ルモノトス。

(一) 自作地ト認ムヘキモノ。

イ 土地所有者相互ニ田畑ヲ交換シテ耕作スルモノ但シ小作ニ付シタル事實アルモノハ此ノ限ニ在ラス。

ロ 他地方ニ一時出稼等ヲ爲シ所有田畑ハ其ノ家族ヲシテ耕作セシムルモノ。

ハ 土地臺帳所掲ノ地目カ田畑ニシテ其ノ現況モ亦田畑ナルモ自作セス小作ニモ付セサルモノ。

ニ 荒地ノ現況ニアル小作ニ付セサル田畑ニシテ荒地免租ノ申請ナキモノ。

(二) 小作地ト認ムヘキモノ

イ 一筆ノ一部ヲ小作ニ付シタルモノ。

六 田畑ノ區分ハ土地臺帳ニ掲ケタル地目ニ依ルモノナルモ田畑以外ノ地目ノ現況ニアルモノニ付テハ自作農地免租ノ規定ヲ適用セサルモノトス。

七 市町村間ニ河、海又ハ湖沼ヲ挾ミ境界ノ不明ナル場合ニ於テハ自作シ得ル程度ノ近距離ナルトキハ隣接市町村トシテ取扱フモノトス。

八 田畑賃貸價格合計額ノ計算ニ付テハ左記ニ依ルモノトス。

(一) 災害地免租ノ土地及地租法第七十三條但書ニ依リ地租ヲ徴收セサル土地ノ賃貸價格ハ之ヲ算入シタルモノニ依ルコト。

(二) 永小作地ト其ノ永小作權者ノ所有地トハ之ヲ合算シタルモノニ依ルコト。

(三) 前號ノ永小作地ハ其ノ土地所有者ノ田畑賃貸價格合計額ノ計算ニ付テモ之ヲ算入スルコト。

(四) 其ノ年(免除スヘキ地租ノ年分)賃貸價格ノ設定又ハ修正ヲ爲シ翌年ヨリ地租ヲ徴收スヘキモノニ對スル賃貸價格ニ付テハ之ヲ加除セサルモノニ依ルコト。

九 共有地ニ對スル取扱ニ付テハ左記ニ依ルモノトス。

(一) 他ノ土地トハ區分シ共有地ノミニ付別箇ニ地租法第七十條ノ規定ヲ適用スルコト。

(二) 同一共有者ノ共有スル田畑(共有者ノ全部カ同シキ場合)ハ之ヲ合算シ共有者ノ一人ニテモ異ナル場合ハ之ヲ合算セサルコト。

(三) 共有者ノ全部カ同居ノ家族ナル場合ハ前二號ニ依ラス共有地以外ノ田畑ト合算スルコト。

(四) 共有者ノ一人ニ於テ自作スルモノハ之ヲ自作地ト看做スコト。

(五) 共有者ノ一人カ法人ナル場合又ハ共有者ノ全部若ハ一部カ同一市町村内ニ住所ヲ有セサル場合ニ於テハ其ノ共有地ニ付テハ地租法第七十條ノ規定ヲ適用セサルコト。

一〇 自作農地ニ付地租ノ免除ヲ受ケムトスル者ハ毎年三月中ニ住所地市町村ヲ經由シテ稅務署長ニ申請スルモノトス(地租法第七一條第一項)。

一一 申請期間後新ニ地租免除ノ要件ヲ具備スルニ至リタル田畑ニ付テハ次ノ納期開始前ニ於テ免除ノ申請ヲ爲スコトヲ得ルモノトス(地租法第七一條第二項)。

- 一二 前二號ノ申請書ハ便宜市町村ニ於テ留置保管スルモノトス。
- 一三 永小作權者ニシテ其ノ永小作地ニ付自作農地免租ノ規定ノ適用ヲ受ケムトスル者ハ毎年三月中ニ左ノ事項ヲ田畑所在ノ市町村長ニ申告スルモノトス(地租法施行規則第一二條第一項)。
 - (一) 永小作權ノ目的タル田畑ノ所在、地番、地目、地積及賃貸價格
 - (二) 田畑所有者ノ住所及氏名
 - (三) 永小作權設定ノ年月日
- 一四 前號ノ申告期間經過後新ニ地租免除ノ要件ヲ具備スルニ至リタル場合ハ次ノ納期開始迄ニ其ノ申告ヲ爲スコトヲ得ルモノトス(地租法施行規則第一二條第二項)。
- 一五 市町村長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ前二號ノ申告ヲ爲シタル者ニ對シ永小作權ノ設定ヲ證スヘキ證書其ノ他必要ナル書類ノ提示又ハ提出ヲ求ムルコトヲ得ルモノトス(地租法施行規則第一三條)。

第五章 造林地免租

- 一 造林地免租 造林地免租トハ森林法施行以前ヨリ荒廢ニ屬シタル森林ニ付新ニ造林シタルトキ又ハ原野、山岳若ハ荒蕪地ニ新ニ造林シタルトキ納稅義務者ノ申請ニ依リ其ノ造林シタル部分ニ對シ一定ノ期間地租ノ免除ヲ受クルモノヲ謂フ(森林法第一二條)。

- 二 造林地免租年期 造林地免租年期ハ造林ヲ爲シタル年ヨリ起算シ三十年以内ニシテ造林ノ難易、植栽樹種、地味ノ良否、交通ノ便否等ヲ斟酌シテ概畧左記ノ標準ニ依リ年期ヲ定ムルモノトス(明治四一年大藏省令(訓令及同年農商務省令))。
 - 一 喬林ヲ仕立ツル目的ヲ以テ植樹シタルモノハ十五年以上三十年以内
 - 二 中林ヲ仕立ツル目的ヲ以テ植樹シタルモノハ十年以上二十年内
 - 三 矮林ヲ仕立ツル目的ヲ以テ植樹シタルモノハ十年以内
 - 四 前各號ノ外利用ヲ目的トセサル植樹ニアリテハ三十年以内
 - 三 年期 一筆地ノ造林地ニ林種ノ異ナル植樹ヲ爲シタルモノニシテ林種別ニ造林免租年期ヲ異ナラシムルノ必要アルモノニ付テハ年期ノ異ナル毎二分筆セシムルモノトス但シ納稅義務者ヨリ年期區分ヲ申請セサルモノニ在リテハ林種毎ニ年期ヲ算出シタルモノノ平均ニ依リ年期ヲ定ムルモ妨ナキモノトス。

- 四 土地臺帳ノ地目カ山林以外ノ原野又ハ其ノ他ノ地目ヲ有スルモノニ付造林地免租年期ヲ申請スル場合ハ先ツ山林ニ變換ノ手續ヲ爲スモノトス。

- 五 地租 造林地免租年期ヲ許可セラレタル土地ノ地租ハ稅務署ニ於テ申請書ヲ收受シタル後ニ開始スル納期分ヨリ地租ヲ免除セラルルモノトス。

- 六 申請 造林地免租年期ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ稅務署長ニ申請スルモノトス(明治四一年大藏省令第一號)。

七 造林地免租年期満了ノ場合ノ取扱ニ付テハ地租法中荒地免租ニ關スル規定ヲ準用セララルモノトス
(地租法第七七條)。

第六章 誤謬訂正

- 一 土地臺帳又ハ地圖ノ記載事項ニ誤謬アルコトヲ發見シ之ヲ訂正セムトスルトキハ證憑ヲ添ヘ稅務署長ニ申請シテ許可ヲ受クルモノトス。
- 二 土地所有者又ハ納稅義務者ノ住所氏名ノ誤謬訂正申請書ニハ證憑トシテ左ノ書類ヲ添付スルモノトス。
 - (一) 既登記ノ土地ニ付テハ其ノ登記濟證
 - (二) 未登記ノ土地ニ付テハ戶籍謄本又ハ抄本
 - (三) 其ノ他誤謬ノ事實ヲ確認シ得ヘキ書類
- 三 地積ノ誤謬訂正ハ土地所有者ノ申請ニ基キ土地臺帳登録地積ニ對シ左記ノ差異アルモノニ限り之ヲ訂正スルモノトス但シ特別ノ事情アルモノニ付テハ此ノ限りニ在ラス。
 - 宅地、鑛泉地 土地臺帳登録地積ノ百分ノ五以上
 - 宅地、鑛泉地以外ノ第一類地 同 百分ノ十以上
 - 第二類地 同 百分ノ二十以上



- 四 地積誤謬訂正ヲ申請スルトキハ隣接地主ノ連署又ハ承諾書ヲ、其ノ御料地、國有地又ハ公有地ト接続スルモノニ付テハ其ノ境界ニ關スル關係官公署ノ證明書ヲ要スルモノトス。
- 五 地積ノ誤謬訂正ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ土地ノ賃貸價格カ地積ノ比例ニ依リ算出シタルモノナルトキハ同時ニ其ノ賃貸價格ヲモ訂正スルモノトス。
- 六 地積ノ誤謬訂正ニ依リ賃貸價格ヲ訂正シタルモノニ付テハ既往地租ヲ追徴又ハ還付スルモノトス。
- 七 地圖ノ誤謬ニシテ境界線ニ關係アルモノハ關係地主ノ全部ニテ連署申請シ若シ御料地、國有地ノ境界ニ關係アルモノハ當該主務官廳ノ證明ヲ要スルモノトス

第七章 住所氏名ノ異動

- 一 土地臺帳ニ登録セラレタル土地所有者、質權者又ハ地上權者ノ住所ニ異動ヲ生シタルトキ又ハ其ノ氏名又ハ名稱ヲ改メタルトキハ遲滞ナク之ヲ稅務署長ニ申告スルモノトス(地租法施行規則第三條)。
- 二 前號ノ申告書ニハ戶籍抄本又ハ名稱ヲ改メタルコトヲ證スル書面ヲ添付スルモノトス。

第八章 納稅管理人

- 一 地租ノ納稅義務者其ノ土地所在ノ市町村内ニ現住セサルトキハ地租ニ關スル事項ヲ處理セシムル爲其

ノ市町村内ニ現任スル者ニ就キ納税管理人ヲ定メ連署ヲ以テ當該市町村長ニ申告スルモノトス(地租法第七九條)

三六

第九章 土地臺帳贍本

- 一 土地臺帳贍本ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ土地一筆ニ付手数料十錢ニ相當スル收入印紙ヲ貼付シ稅務署長ニ交付請求書ヲ提出スルモノトス但シ手数料ニ相當スル收入印紙ヲ提出シ口頭ヲ以テ請求スルトヲ得(地租法施行規則第四條)
- 二 土地臺帳贍本ノ交付ニ付テハ官廳ヨリ請求スルモノニ付テモ手数料ヲ要スルモノトス。
- 三 土地臺帳贍本ハ送付ニ要スル郵便切手ヲ提供シテ其ノ郵送ヲ求ムルコトヲ得ルモノトス(地租法施行規則第四條第三項)
- 四 國有地又ハ御料地ノ拂下又ハ讓與ニ係ル土地ニシテ未登記ノモノニ付テハ土地臺帳贍本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得サルモノトス(地租法施行規則第四條第四項)
- 五 海面埋立地ノ如キ埋立出願人ヨリ保存登記ノ手續ヲ爲スモノニ付テハ前號ニ依ラス未登記ノモノト雖土地臺帳贍本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス。

第十章 申請、申告義務

- 一 土地所有者ニ變更アリタル場合ニ於テハ舊所有者カ爲スヘカリシ申告ハ所有者ノ變更アリタル日ヨリ三十日內ニ新所有者ヨリ之ヲ爲スヘキモノトス(地租法第八〇條)
- 二 土地所有者ヨリ爲スヘキ申告又ハ申請ハ質權ノ目的タル土地又ハ百年ヨリ長キ存續期間ノ定アル地上權ノ目的タル土地ニ付テハ土地臺帳ニ登録セラレタル質權者又ハ地上權者ヨリ之ヲ爲スコトヲ得ルモノトス(地租法第八一條)

第十一章 罰則 其ノ他

- 一 地租法ニ依リ申告ヲ爲スヘキ義務ヲ有スル者其ノ申告ヲ爲ササルトキハ五十圓以下ノ過料ニ處セラレルモノトス(地租法第八二條第一項)
- 二 詐僞其ノ他不正ノ行爲ニ依リ地租ヲ遁脱シタル者ハ其ノ遁脱シタル税金ノ五倍ニ相當スル罰金又ハ科料ニ處セラレ直ニ其ノ地租ヲ追徴セラルルモノトス但シ自首シタル者又ハ稅務署長ニ申出テタル者ハ其ノ罪ヲ問ハス(地租法第八三條)
- 三 地租法ニ依リ申告ヲ爲スヘキ義務ヲ有スル者其ノ申告ヲ爲サス仍テ既納地租ニ不足額アルトキハ直ニ

三七

之ヲ追徴セラルルモノトス(地租法第八四條)。

四 稅務署長又ハ其ノ代理官ハ土地ノ檢査ヲ爲シ又ハ土地ノ所有者、質權者、地上權者其ノ他利害關係人ニ對シ必要ノ事項ヲ質問スルコトヲ得ルモノトス(地租法第八六條第一項)。

五 前號ノ場合ニ於テ土地ノ檢査ヲ拒ミ又ハ之ヲ妨ケタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處セラルルモノトス(地租法第八六條第二項)。

第十二章 土地ノ測量

一 地積ハ地租法第七條ノ規定(メートル法ニ依ル計算)ニ拘ラス當分ノ内左記ニ依リ之ヲ定ムルモノトス(地租法第一百條)。

(一) 宅地及鑛泉地ノ地積ハ六尺平方ヲ坪、坪ノ十分ノ一ヲ合、合ノ十分ノ一ヲ勺トシテ之ヲ定メ勺未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツ。

(二) 宅地及鑛泉地以外ノ土地ノ地積ハ六尺平方ヲ步、三十步ヲ畝、十畝ヲ段、十段ヲ町トシテ之ヲ定メ步未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツ但シ一筆ノ地積一步未滿ナルモノニ付テハ步ノ十分ノ一ヲ合、合ノ十分ノ一ヲ勺トシテ之ヲ定メ勺未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツ。

二 土地ノ測量ハ測板式測量法ニ依リ尙左記ニ依ルモノトス。

(一) 測量ニハ曲尺ヲ用ヒ一間ノ十分ノ一(六寸)ヲ分、分ノ十分ノ一(六分)ヲ厘トス。

(二) 境界線ヨリ水平面ニ測量シ畦畔等ノ類ハ之ヲ本地ニ量入スルコト。

(三) 畦畔、石塚等所得ヲ生セサル部分ハ便宜ノ方法ヲ以テ長サ及幅ヲ測量シ其ノ地積ヲ計算スルコト。

第十三章 賃賃價格ノ設定及修正

一 賃賃價格ハ貸主カ公課、修繕費其ノ他土地ノ維持ニ必要ナル經費ヲ負擔スル條件ヲ以テ之ヲ賃賃スル場合ニ於テ貸主カ收得スヘキ一年分ノ金額ニ依リ之ヲ定ムルモノトス(地租法第八條第二項)。

二 土地ノ異動ニ因リ賃賃價格ヲ設定シ又ハ修正スル必要アルトキハ類地ノ賃賃價格ニ比準シ其ノ土地ノ品位及情況ニ應シテ之ヲ定ムルモノトス(地租法第九條第二項)。

三 賃賃價格ノ設定又ハ修正ヲ爲ス場合ニ於テハ左記各號ニ該當セサル土地中成ルヘク近傍ノ類地ヲ比準地トシテ之ト同一等級ヲ定ムルモノトス但シ比準地ノ等級ヲ其ノ儘採用スルヲ不適當ト認ムルトキハ其ノ土地ノ品位及情況ニ應シ適當ト認ムル等級ヲ定ムルモノトス。

(一) 各種ノ減租年期ヲ有スル土地。

(二) 耕地整理法第十六條ノ規定ニ依ル配當金ヲ有スル土地。

(三) 砂防法ニ依ル地租輕減地。

- (四) 分筆地ニシテ分筆各筆ノ地位ニ優劣アル爲既定等級ノ消滅シタル土地。
 - (五) 合筆地ニシテ合筆元地ノ等級ヲ異ニスル土地。
 - (六) 制限附ノ土地但シ設定又ハ修正地ノ周圍ノ土地カ總テ制限附ノ土地ナル場ハ此限ニ在ラス。
 - (七) 賃貸價格ノ設定又ハ修正ヲ爲ス場合ハ等級相當金額ヲ設定又ハ修正地ノ地積ニ乘シテ其ノ賃貸價格ヲ定ムルモノトス但シ鑛泉地ニ付テハ等級相當金額ヲ以テ直ニ設定又ハ修正地ノ賃貸價格トス。
- 比準地カ制限附ノ土地ナルトキハ比準地ノ一反步當又ハ一坪當金額(厘位未)ヲ求メ之ヲ設定又ハ修正地ノ地積ニ乘シテ其ノ賃貸價格ヲ定ムルモノトス但シ鑛泉地ニ付テハ比準地ノ金額ヲ以テ直ニ設定又ハ修正地ノ賃貸價格トス。
- 前二項ノ場合ニ於テ田畑ニ畦畔、石塚等ノ存スルモノニ在リテハ之ニ相當スル地積ヲ控除シタル殘地積ニ對シ賃貸價格ヲ計算スルモノトス。
- 前各號ニ依リ算出シタル賃貸價格ハ厘位ヲ切捨テ錢位ニ止ムルモノトス但シ賃貸價格ノ全額カ一錢未滿ナルトキハ之ヲ一錢トス。

土地賃貸價格等級表 (宅地ハ坪當、鑛泉地ハ一筆當其ノ他ハ一段步當)

一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一
四〇	三五	三〇	二六	二三	二〇	一八	一六	一四	一二	一〇	九	八	七	六	五
三二	三二	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七
二六	二三	二〇	一八	一六	一四	一二	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二
四八	四七	四六	四五	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八	三七	三六	三五	三四	三三
一、八〇〇	一、六〇〇	一、四〇〇	一、二〇〇	一、〇〇〇	九〇〇	八〇〇	七〇〇	六五〇	六〇〇	五五〇	五〇〇	四五〇	四〇〇	三五〇	三〇〇
六四	六三	六二	六一	六〇	五九	五八	五七	五六	五五	五四	五三	五二	五一	五〇	四九
六、〇〇〇	五、七〇〇	五、四〇〇	五、一〇〇	四、八〇〇	四、五〇〇	四、二〇〇	三、九〇〇	三、六〇〇	三、三〇〇	三、〇〇〇	二、八〇〇	二、六〇〇	二、四〇〇	二、二〇〇	二、〇〇〇
八〇	七九	七八	七七	七六	七五	七四	七三	七二	七一	七〇	六九	六八	六七	六六	六五
二〇、〇〇〇	一八、〇〇〇	一六、〇〇〇	一五、〇〇〇	一四、〇〇〇	一三、〇〇〇	一二、〇〇〇	一一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	九、五〇〇	九、〇〇〇	八、五〇〇	八、〇〇〇	七、五〇〇	七、〇〇〇	六、五〇〇
九六	九五	九四	九三	九二	九一	九〇	八九	八八	八七	八六	八五	八四	八三	八二	八一
六五、〇〇〇	六〇、〇〇〇	五七、〇〇〇	五四、〇〇〇	五一、〇〇〇	四八、〇〇〇	四五、〇〇〇	四二、〇〇〇	三九、〇〇〇	三六、〇〇〇	三三、〇〇〇	三〇、〇〇〇	二八、〇〇〇	二六、〇〇〇	二四、〇〇〇	二二、〇〇〇
一一	一一	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
一九〇、〇〇〇	一八〇、〇〇〇	一七〇、〇〇〇	一六〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	一四〇、〇〇〇	一三〇、〇〇〇	一二〇、〇〇〇	一一〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	九五、〇〇〇	九〇、〇〇〇	八五、〇〇〇	八〇、〇〇〇	七五、〇〇〇	七〇、〇〇〇

一一三	二〇〇,〇〇〇	一一六	二六〇,〇〇〇	一一九	三〇〇,〇〇〇	一二三	三八〇,〇〇〇	一二五	五〇〇,〇〇〇	一二八	五〇〇,〇〇〇	一三一	九〇〇,〇〇〇
一一四	二一〇,〇〇〇	一二七	二八〇,〇〇〇	一二〇	三四〇,〇〇〇	一二三	四〇〇,〇〇〇	一二六	五〇〇,〇〇〇	一二九	五〇〇,〇〇〇	一三二	一,〇〇〇,〇〇〇
一一五	二四〇,〇〇〇	一二八	三〇〇,〇〇〇	一二二	三六〇,〇〇〇	一二四	四五〇,〇〇〇	一二七	六〇〇,〇〇〇	一二〇	八〇〇,〇〇〇	一三一	一,〇〇〇,〇〇〇

備考

年額百圓以上八十圓ヲ、二百圓以上八十圓ヲ、四百圓以上八十圓ヲ、七百圓以上八十圓ヲ、千圓以上八十圓ヲ増ス毎ニ各一級ヲ進ムルモノトス。

第十四章 地租ニ關スル申請、申告

第一節 申請、申告期限一覽表

申請、申告事項	期	限
有租地成申告	三十日	内
開拓減租年期申請	六十日	内
同 年期延長申請	六月三十日	迄
同 年期滿了申告	六月三十日	迄
同 埋立免租年期申請	六月三十日	迄
同 年期延長申請	六月三十日	迄

同 年期滿了申告	六月三十日	迄
無租地成申告	三十日	内
土地分筆申告	其ノ時々々	
土地合筆申告	其ノ時々々	
開墾成功申告	三十日	内
開墾減租年期申請	三十日	内
同 年期延長申請	六月三十日	迄
同 年期滿了申告	六月三十日	迄
開墾廢止申告	其ノ時々々	
開墾豫定地目變更申告	其ノ時々々	
地目變換申告	三十日	内
地目變換減租年期申請	三十日	内
同 年期延長申請	六月三十日	迄
同 年期滿了申告	六月三十日	迄
地目變換廢止申告	其ノ時々々	
地目變換豫定地目變更申告	其ノ時々々	
地類變換申告	三十日	内
荒地免租年期申請	其ノ時々々	
再荒地免租年期申請	其ノ時々々	
荒地免租年期延長申請	六月三十日	迄

同 年期滿了申告
 災害收穫皆無地租免除申請
 自作農地地租免除申請
 永小作地申告
 造林地免租年期申請
 同 年期滿了申告
 地積測量誤謬訂正申請
 地圖誤謬訂正申請
 土地臺帳住所氏名誤謬訂正申請
 土地臺帳住所氏名異動申告
 納稅管理人申告
 土地臺帳謄本交付請求

六月三十日迄
 其ノ時々
 三月 中
 三月 中
 其ノ時々
 六月三十日迄
 其ノ時々
 其ノ時々
 其ノ時々
 其ノ時々
 其ノ時々
 其ノ時々

四四

第二節 申請、申告書式

目次

- 第一號 有租地成申告書
- 第二號 無租地成申告書
- 第三號 開拓減租年期申請書
- 第四號 埋立免租年期申請書

- 第五號 土地分筆申告書
- 第六號 土地合筆申告書
- 第七號 地目(地類)變換申告書
- 第八號 地目變換(開墾)減租年期申請書
- 第九號 地目變換減租年期(開墾、開拓減租年期又、埋立免租年期)延長申請書
- 第一〇號 開墾減租年期(開拓、地目變換減租年期又、埋立免租年期)滿了申告書
- 第一一號 開墾成功申告書
- 第一二號 開墾(地目變換)廢止申告書
- 第一三號 開墾(地目變換)豫定地目變更申告書
- 第一四號 荒地(造林地)免租年期申請書
- 第一五號 再荒地免租年期申請書
- 第一六號 荒地免租年期延長申請書
- 第一七號 荒地(造林)地免租年期滿了申告書
- 第一八號 地積測量誤謬訂正申請書
- 第一九號 地圖誤謬訂正申請書

- 第二〇號 土地臺帳住所(氏名)誤謬訂正申請書
- 第二一號 土地臺帳住所(氏名)異動申告書
- 第二二號 災害收穫皆無地地租免除申請書
- 第二三號 納稅管理人申告書
- 第二四號 自作農地地租免除申請書
- 第二五號 永小作地申告書
- 第二六號 土地臺帳謄本交付請求書
- 第二七號 申請、申告書ニ添付スヘキ測量圖
- 第二八號 土地分筆申告書ニ添付スヘキ地形圖

(附)

- 一 共有地ニ係ル申請、申告ハ共有者連署スルモノトス。
- 二 法人又ハ無能力者ニ係ル申請、申告ニ在リテハ法定代理人ヨリ之ヲ爲スモノトス。
- 三 社寺有地ニ係ル申請、申告ニ在リテハ社司又ハ住職ノ外檀家又ハ信徒總代三名以上連署スルモノトス。
- 四 土地臺帳記載ノ所有者又ハ納稅義務者カ死亡シタルモノナル爲相續人ヨリ申請、申告ヲ爲スモノニ在リテハ「亡何某相續人」ト肩書スルモノトス。

五 土地所有者以外ノ者ヨリ申請、申告スルモノニ在リテハ「質權者」又ハ「地上權者」ト肩書シテ土地所有者欄ニ之ヲ併記スルモノトス。

六 申請、申告書ノ用紙ハ半紙判ヲ用ヒ上部ニ約二寸ノ餘白ヲ存スルヲ便トス。

七 申請、申告書類ニハ其ノ餘白ニ測量者及書類調製者署名捺印スルモノトス。

第一號

昭和何年何月何日

何郡(市)何町(村)大字何番地

四八

何稅務署長殿

有租地成申告書

何郡(市)町(村)大字何

(△印朱書)

約餘白
二寸

同以下

地割	地番	地目	積	賃格	等級	比準地	摘	要	土地所有者 氏名又ハ名稱
何	三ノ三 △國有地	畑	二九二八	八二	五八 同字番如 天級=比準	何年何月何日使用	廢止	氏名印	氏名印
何	三 △國有地	畑	二〇二八	一	四二〇 天級=比準	何年何月何日使用	何年何月何日使用	氏名印	氏名印
何	畑	畑	一〇二八	四四五	五八 同字番如 天級=比準	何年何月何日使用	何年何月何日使用	氏名印	氏名印

右申告候也

第二號

昭和何年何月何日

何郡(市)何町(村)大字何番地

何稅務署長殿

氏名外何名

無租地成申告書

何郡(市)町(村)大字何

(△印朱書)

字(地割)	地番	地目	積	賃格	摘	要	土地所有者 氏名稱
何	一四 △外畦田	田	五〇〇	△ 一三〇〇	何年何月何日工事着手	氏名印	氏名印
何	五〇 △國有地	國有地	七〇〇	一	何年何月何日工事着手	氏名印	氏名印
何	地學校敷	學校敷	七〇〇	一	何年何月何日工事着手	何町長印	何町長印
何	一△宅地	宅地	八七五	△ 一七五二	何年何月何日工事着手	何町長印	何町長印
何	地鐵道用	鐵道用	三七	一	何年何月何日工事着手	何町長印	何町長印

右申告候也

備考

一 借地ナルトキハ無料借地ナルコトヲ證スル書面ヲ添付スルモノトス

四九

第三號

昭和何年何月何日

何稅務署長殿

開拓減租年期申請書

何郡(市)町(村)大字何 (別紙測量圖添付) (△印朱書)

何郡(市)町(村)大字何何番地 氏名外何名

字(地割)	地番	地目	地積	價賃	價格賃	摘	要	年期	又土地所有者氏名稱
何	△三	△山林	△三五〇〇〇		二四七	△昭和何年何月何日豫約開墾拂下	自何年至何年	氏名印	
同	△三九	△山林	△七〇〇〇〇		同上	同上	自何年至何年	氏名印	
同	△田	(△田) (△山林)	七〇〇〇〇	四五	同上	同上	自何年至何年	氏名印	

右申請候也

第四號

昭和何年何月何日

何稅務署長殿

埋立免租年期申請書

何郡(市)町(村)大字何 (別紙測量圖添付) (△印朱書)

何郡(市)町(村)大字何何番地 氏名外何名

字(地割)	地番	地目	地積	摘	要	年期	又土地所有者氏名稱
何	△六	畑	一五七八二五	昭和何年何月何日埋立(干拓)竣功認可	自何年至何年	氏名印	
同	△九	宅地	二六四三七	同	同	氏名印	
同	△田	田	三四五〇三	同	同	氏名印	

右申請候也

第五號

昭和何年何月何日

何稅務署長殿

土地分筆申告書

何郡(市)何町(村)大字何番地

氏名外何名

五二

(地形圖添付)

(△印朱書)

字(地割)	地番	地目	地	積	賃貸價格	等級	摘	要	氏名	印
何	△五	△畑		△七〇九				昭和何年迄荒地免租年期	氏名	印
	五ノ一			〇三〇六						
	五ノ二			〇四〇三						
何	△三ノ三	△山	△外畦畔	△一〇〇〇 △〇三〇五	△四〇〇	△三			氏名	印
	一三ノ三		△内畦畔	〇一〇〇 〇一〇〇	一九二	△三				
	一三ノ四		同	〇九二五 一九	三〇八	△三	地積二十五歩増			

右申告候也

備考

(一)左記事項ハ摘要欄ニ記載スルモノトス
 (二)宅地ノ分筆ニシテ固有地番ヲ存スルノ必要アルモノハ其ノ事由
 (三)分筆地ニ優劣アル爲賃貸價格ニ差等ヲ付シタルトキハ其ノ賃貸價格計算ノ方法
 分筆ヲ必要トスル事由

第六號

昭和何年何月何日

何稅務署長殿

土地合筆申告書

何郡(市)何町(村)大字何番地

氏名外何名

何郡(市)何町(村)大字何

(△印朱書)

字(地割)	地番	地目	地	積	賃貸價格	等級	摘	要	氏名	印
何	△六	△宅地		△一五五	△三七五〇	△三				
	△七	△同		△八七〇	△二六二〇	△三				
	△二	△同		△三三五	△一〇五〇	△三				
	六			二四七〇	△四二〇	△三			氏名	印
何	△五	△田	△外畦畔	△一三三二 △〇〇二二	△三二〇〇	△五			氏名	印
	△番	△同	△同	△〇七四 △〇〇〇九	△三三〇〇	△四				
	五		△内畦畔	二二二五 〇〇〇〇	△六五〇	△四	地積一畝歩増		氏名	印

右申告候也

備考

宅地ノ合筆ニシテ合筆前ノ首位ノ地番以外ノ地番ヲ存スル必要アルモノハ其事由ヲ摘要欄ニ記載スルモノトス

五三

第七號

昭和何年何月何日

何稅務署長殿

地目(地類)變換申告書

何郡(市)何町(村)大字何番地

氏名外何名

五四

字(地割)	地番	地目	積	賃貸價格	等	比準地	摘要	土地所有者
何	△五	畑	△三二七	△二五九	等	△	昭和何年迄耕地整理減租年期	氏名又ハ名稱
	△內							
	五ノ二	畑	△七〇〇	△八六四				
		宅地	二二〇	三二八		三九字何番三	昭和何年何月何日變換	氏名印
			六			六九級ニ比準	殘地	
	五ノ一	畑	〇五七	七二八				
何	△二〇五	畑	△三三五	△二五八				
		田	二四一八	七六八		八六全字何番六	何年何月何日變換	氏名印
			一〇〇			別紙測量ノ通	昭和何年迄開拓減租年期	
何	△一〇	畑	△五〇〇	△一三七		八級ニ比準	何年何月何日變換	氏名印
			七五〇					
		宅地	〇〇〇	一三七				

右申告候也

第八號

昭和何年何月何日

何稅務署長殿

地目變換(開墾)減租年期申請書

何郡(市)何町(村)大字何

何郡(市)何町(村)大字何番地

氏名外何名

字(地割)	地番	地目	積	賃貸價格	變換豫定	年期	土地所有者
何	二五	畑	〇五二〇	八二六	田	何年何月何日下事着手至何年何月何日	氏名又ハ名稱
同	二六	同	〇八〇五	一四三	同		氏名印
同	三〇	同	〇三二八	五〇四	同		氏名印

右申請候也
備考

一 二十年内ノ開墾減租年期ニ在リテハ事業計畫ノ添付ヲ要セサルモノトス

(別紙) 事業計畫ノ概要

一 工事着手及完了豫定年月

摘要	堰堤工事	溜池工事	水路工事	開田工事	何	竣功
工事着手	何年何月	何年何月	何年何月	何年何月	何	何
工事完了	何年何月	何年何月	何年何月	何年何月	何	何

二 工事費概算

摘要	金額	計	算	ノ	基礎
開田(畑)費					
堰堤費					
水路費					
借入金利息					
何々					
計					

三 變換地ノ收益豫定計算

摘要	原		變換		摘要
	基本	單價	基本	單價	
收入金					原地畑何反歩
支出金					變換地田何反歩
公課					
種子肥料代					
何々					
純益計					
差引増加純益金					

備考 一 收入金ハ小作料ニ依リ之ヲ計算スルモノトス

第九號

昭和何年何月何日

何郡(市)何町(村)大字何何番地

何稅務署長殿

氏名 外 何名

地目變換減租年期 (開墾、開拓減租年期) 延長申請書

何郡(市)何町(村)大字何 (土地ノ狀況別紙ノ通)

字(地割)	地番	地目	地積	賃貸價格	元年期	延長年期	土地所有者氏名稱
何	二五	田	〇五五	一六三	何年	自何年至何年	氏名印
同	二六	同	〇八五	三六	同	同	氏名印
同	二七	同	〇三八	一〇八	同	同	氏名印

右申告候也

(別紙) 備考 一 埋立免租年期地ニ付テハ賃貸價格ナキモノナルヲ以テ記載ヲ要セサルモノトス
變換(開墾、開拓埋立)地ノ狀況

(一) 事業進行ノ狀況	
(二) 地味成熟ノ程度	
(三) 收穫量又ハ賃貸料	
(四) 其ノ他參考トナルヘキ事項	

第一〇號

昭和何年何月何日

何稅務署長殿

開墾減租年期(開拓、地目變換減租年期)又八埋立免租年期)滿了申告書

(別紙測量圖添付)

何郡(市)町(村)大字何

(△印朱書)

何郡(市)町(村)大字何何番地

五八

氏名外何名

字(地割)	地番	地目	地積	賃格	等級	比準地	摘要	土地所有者氏名稱
何	△三	△草原	△五〇八	△一八二	八二	全字二〇番八	△昭和何年着手	氏名印
何	△二	△草原	△一〇四六	△五二	△一八	全字二〇番八	△昭和何年着手	氏名印
何	△二	△草原	△四〇九	△二二	五八	全字二六番五	△昭和何年着手	氏名印
何	△二	△草原	△四〇九	△二二	四二〇	九級=比準	殘地(廢止)	氏名印
何	△二	△草原	△六二七	△三	一八	全字一五番七	△昭和何年着手	氏名印
何	△二	△草原	△二二八	△一六	七〇	全字一五番七	△昭和何年着手	氏名印

右申告候也

第一一號

昭和何年何月何日

何稅務署長殿

開墾成功申告書

何郡(市)町(村)大字何何番地

氏名外何名

何郡(市)町(村)大字何

(△印朱書)

字(地割)	地番	地目	地積	賃格	等級	比準地	摘要	土地所有者氏名稱
何	△五〇	△山林	△五二五	△八			△昭和何年迄開墾減租年期	氏名印
何	△二	△草原	△二四〇六	△五	△一八		△開墾減租年期地ニアラス	氏名印
何	△二	△草原	△四二九	△二			昭和何年何月何日着手	氏名印
何	△二	△草原	△四二九	△二			別紙測量圖添付昭和何年何月何日成功	氏名印
何	△二	△草原	△六二七	△三〇	一八		殘地	氏名印

右申告候也

第一二號

昭和何年何月何日

何稅務署長殿

開墾地目變換廢止申告書

何郡(市)町(村)大字何何番地

氏名外何名

六〇

字(地割)	地番	地目	地積	賃貸價格	摘要	土地所有者氏名稱
何	二五	山林	二五五	四三	何年年期滿了	氏名印
同	三〇	同	五八三	八九	同	氏名印
同	三原	野	〇七五	二同	同	氏名印

右申告候也

何郡(市)町(村)大字何

第一三號

昭和何年何月何日

何稅務署長殿

開墾(地目變換)豫定地目變更申告書

何郡(市)町(村)大字何何番地

氏名外何名

字(地割)	地番	地目	地積	開墾豫定地目	變更地目	摘要	土地所有者氏名稱
何	五〇	山林	五二五	畑	宅地	何年年期滿了	氏名印
同	二六	原野	一〇四六	田	畑	同	氏名印
同	三〇	同	五〇八	同	同	同	氏名印

右申告候也

何郡(市)町(村)大字何

第一四號

昭和何年何月何日

何稅務署長殿

荒地(造林地)免租年期申請書

何郡(市)町(村)大字何番地

氏名外何名

字(地割)	地番	地目	地積	賃格	賃格	摘要	年期	土地所有者氏名稱
何	三七二	畑	〇七二九	二六	昭 和 何 年 何 月 何 日	昭 和 何 年 何 月 何 日	自 何 年	氏 名 印
同	三七二	同	一五〇〇	三三	同	石 砂 入	自 何 年	氏 名 印
同	三九五	同	一八〇九	二〇〇	同	川 缺	自 何 年	氏 名 印

右申請候也

備考

造林地ノ場合ニ於テハ摘要欄ニ植樹ノ時及其ノ種類ヲ記載スルモノトス

第一五號

昭和何年何月何日

何稅務署長殿

再荒地免租年期申請書

何郡(市)町(村)大字何番地

氏名外何名

字(地割)	地番	地目	地積	元年期	再荒年期	摘要	土地所有者氏名稱
何	三七二	畑	〇七二九	至自 何何 年何 年何 月何 日	自 何 年	何 年 何 月 何 日	氏 名 印
同	三七二	同	一五〇〇	同	同	何 川 洪 水 川 缺	氏 名 印
同	三九五	同	一八〇九	同	同	川 缺	氏 名 印

右申請候也

何郡(市)町(村)大字何

第一六號

昭和何年何月何日

何稅務署長殿

荒地免租年期延長申請書

何郡(市)町(村)大字何番地

氏名外何名

字(地割)	地番	地目	地積	賃格	等級	比準地	摘要	土地所有者氏名稱
何	三七二	畑	〇二九	〇七九	自自自	石砂入免租	自何年	氏名印
同	三七二	同	一五〇	同	同	河ヶ年延長	至何年	氏名印
同	三五五	同	一八九	同	同	川缺免租	同	氏名印

右申請候也

何郡(市)町(村)大字何

第一七號

昭和何年何月何日

何稅務署長殿

荒地(造林地)免租年期滿了申告書

何郡(市)町(村)大字何番地

氏名外何名

字(地割)	地番	地目	地積	賃格	等級	比準地	摘要	土地所有者氏名稱
何	△二五	△畑	△二八	△	△	△	△昭和何年年期滿了	氏名又ハ名稱
同	△二六	△外畦畔	△一〇七	△	△	△	△昭和何年年期滿了	氏名印
同	二五ノ一	畑	二六二	九八四	六四	同字二四番		氏名印
同	二五ノ二	△畑	△二〇六	△	△	△		
同	二五ノ二	内畦畔	二〇六	二六八	八二	同字二〇番		
同	二五ノ二	内畦畔	一〇〇	二六八	八二	同字二〇番		
同	二五ノ二	内畦畔	一〇〇	二六八	八二	同字二〇番		

何郡(市)町(村)大字何

(△印朱書)

同	一五	田	〇五〇〇					△自何年至何年免租年期 自何年至何年期延長	氏名印
川			〇五〇〇						

右申告候也

第一八號

昭和何年何月何日

何稅務署長殿

何郡(市)町(村)大字何何番地

氏名印

地積測量誤謬訂正申請書 (別紙測量圖添付)

何郡(市)町(村)大字何 (△印朱書)

字(地割)	地番	地目	地積	賃貸價格	等級	摘要
何	一五	田 外畦畔	△〇七二七 三三	△二七六五	△ 八六	
		内畦畔	一三二八	四二五		明治何年測量誤謬 (何々)
何	八〇	山林	△三五〇六 三三	△六四五	△ 四八	
			三七六八	六七七		同 上 (何々)

右誤謬發見候ニ付墨書ノ通り訂正相成度申請候也

右ノ土地ニ對スル境界ニ付異議無之候也

隣地主氏名印
同 氏名印

第一九號

昭和何年何月何日

何稅務署長殿

地圖誤謬訂正申請書

何郡(市)町(村)大字何

何郡(市)町(村)大字何何番地

氏名外何名

字(地割)	地番	地目	摘要	土地所有者氏名稱
何	一	田	何々ノ際何々ニ依リ誤謬	氏名印
何	二	同	同	氏名印
同	三	同	同	氏名印

右ノ土地ニ對スル字限地圖ハ別紙甲圖ノ通相成居候處實地ハ乙圖ノ通ニ付御訂正相成度申請候也

備考

- 一 甲圖(誤謬圖)乙圖(訂正圖)ヲ添付スルモノトス
- 二 境界線ノ訂正ヲ要スル土地ノ所有者ハ總テ申請人トナルモノトス

第二〇號

昭和何年何月何日

何稅務署長殿

土地臺帳住所(氏名)誤謬訂正申請書(戸籍謄本又ハ何々ヲ添付)

何郡(市)町(村)大字何何番地

氏名印

誤謬ノ住所(氏名)

何々々

訂正ノ住所(氏名)

何々々

誤謬ノ原因

何

々

郡市町村	大字	字(地割)	地番	郡市町村	大字	字	地番
何郡(市)町(村)	何	何	二五	何郡(市)町(村)	何	何	三五
同	同	同	二七	同	同	同	三九
同	同	同	二六				

右誤謬訂正相成度申請候也

第二一號

昭和何年何月何日

何稅務署長殿

何郡(市)町(村)大字何何番地

氏名印

土地臺帳住所(氏名)異動申告書(戸籍謄本又ハ何々)添附

舊住所(舊氏名) 何々
轉住所(改名) 何々

同	同	何郡(市)町(村)	郡市町村	大字	字(地割)	地	番	郡市町村	大字	字(地割)	地	番
同	同	何	何	何	何	何	二	何郡(市)町(村)	何	何	何	六
同	同	同	同	同	同	同	三	同	同	同	同	七
同	同	同	同	同	同	同	四	同	同	同	同	三

右申告條也

第二二號

昭和何年何月何日

何稅務署長殿

何郡(市)町(村)大字何何番地

氏名外何名

災害收穫皆無地々租免除申請書

何郡(市)町(村)大字何

字(地割)	地番	地目	地積	賃格	作毛ノ種類	摘	要	土地所有者又ハ納稅義務者
何	三	田	〇七八	二〇九	中稻 尾三號	何月何日何川出水シ 浸水何日ニ涉リ稻腐蝕ス		氏名印
同	三	同	〇九三	二五〇	晚關山	旱害ニ依リ枯死ス		氏名印
同	四	畑	二〇二	一四五	大豆	天候不順ニ依リ結實セズ		氏名印
何	一〇	同	〇五二	七〇三	稗			氏名印

右申請候也

第二三號

納稅管理人申告書

私儀何市(町)(村)内ニ於ケル土地ニ付地租ニ關スル事務ヲ處理セシムル爲何某ヲ納稅管理人ト定メ候ニ付連署ヲ以テ及申告候也

年 月 日

納稅義務者 住 所 氏

番 地

名 印

納稅管理人 住 所 氏

番 地 名 印

何市(町)(村)長何某殿

第二四號

昭和何年何月何日

何稅務署長殿

自作農地々租免除申請書

氏名外何名

何郡(市)町(村)大字何

何	同	何	何
五	二	一	一
畑	畑	田	田
〇二一〇	五〇〇	七六九	〇七一九
三三五	三三五	九八七	二六八
		一〇	
		八	
某		ナシ	某
氏	氏	氏	氏
名印	名印	名印	名印

右申請候也

備考

一 住所ハ土地所在ノ市町村ト異ナルトキニ限リ記載スルモノトス

二 其ノ市町村ニ有スル田畑ノ全部ニ付申請ヲ爲ス場合ハ各筆ノ記載ヲ省略シ地番欄ニ全部ト標記シ田、畑毎ニ其ノ合計地積、賃賃價格、筆數ヲ記載スルモノトス

三 所有者以外ノ納稅義務者ヨリ申請スルトキハ「質權者」「地上權者」ト育書シ又永小作權者ヨリ申請スルモノニ在リテハ申請書ヲ別紙ニ調製シ「永小作權者」ト肩書スルノ外左記事項ヲ餘白ニ附記スルモノトス

(イ) 所有者ノ住所氏名

(ロ) 永小作權設定ノ年月日

第二五號

永小作地申告書

何郡(市)町(村)大字何何番地

氏名印

昭和何年何月何日

何市(町)(村)長殿

何郡(市)町(村)大字何

字(地割)	地番	地目	地積	賃價格	永小作權設定年月日	土地所有者
何	三	田	七八	二〇九	明治二十六年三月十五日	何郡何村某
同	四	田	九〇三	二五〇三	同	同
同	五	畑	一〇一一	一四四五	同	同

右申告候也



第二六號

昭和何年何月何日

何稅務署長殿

土地臺帳謄本交付請求書

何郡(市)町(村)大字何何番地

氏名印

七六

			郡市町村大字	(地割)字	地番	郡市町村大字	(地割)字	地番

右謄本交付相成度請求候也

第二七號

申請、申告書ニ添付スヘキ測量圖

地目變換(何々)測量圖

字何五番ノ二

一宅地

二〇坪

六合一勺

四二、二二五

二除

二二〇、六一

(一筆ノ一部分)

異動ノ例

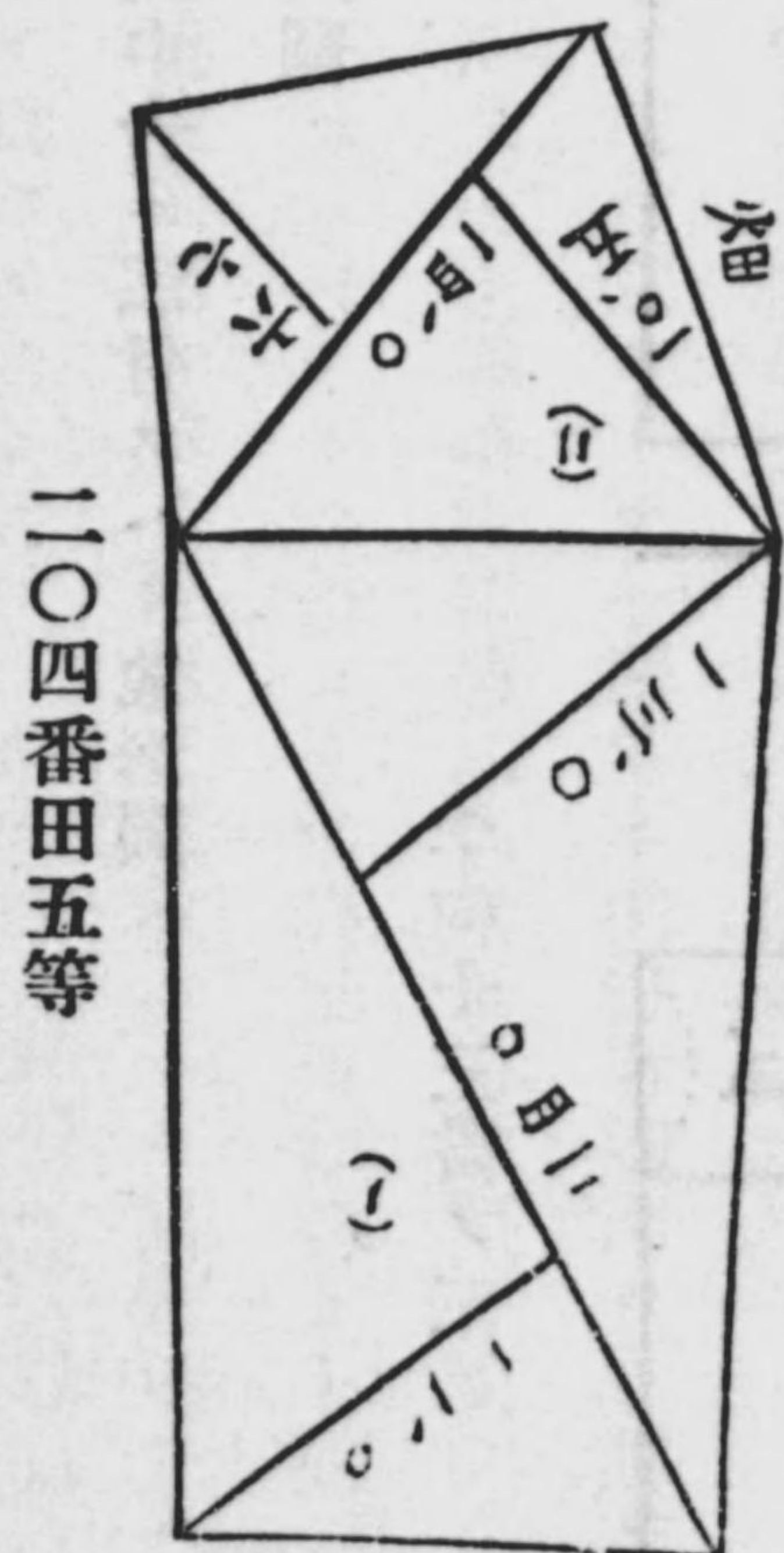
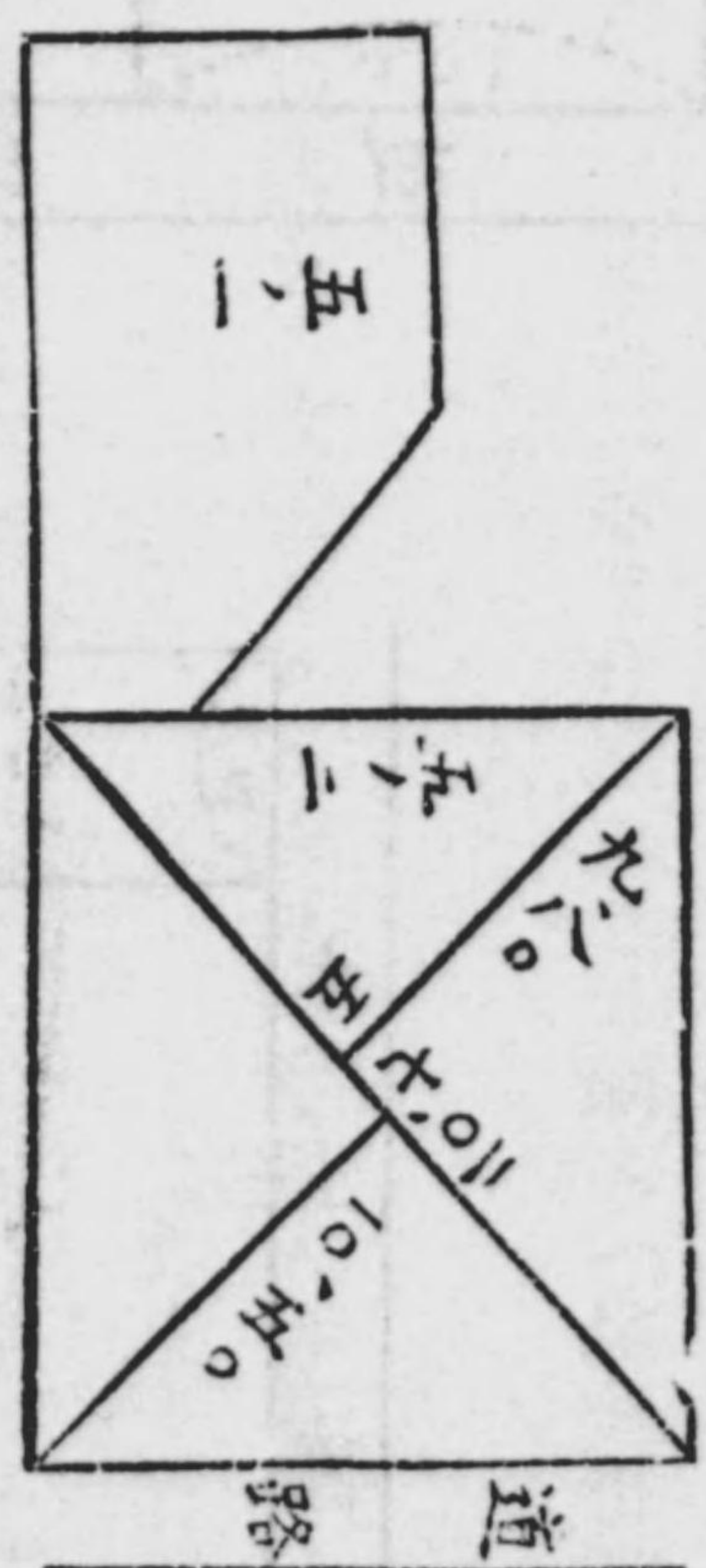
字何

二〇五番

一田

内畦畔一〇〇步

(全筆異動ノ例)



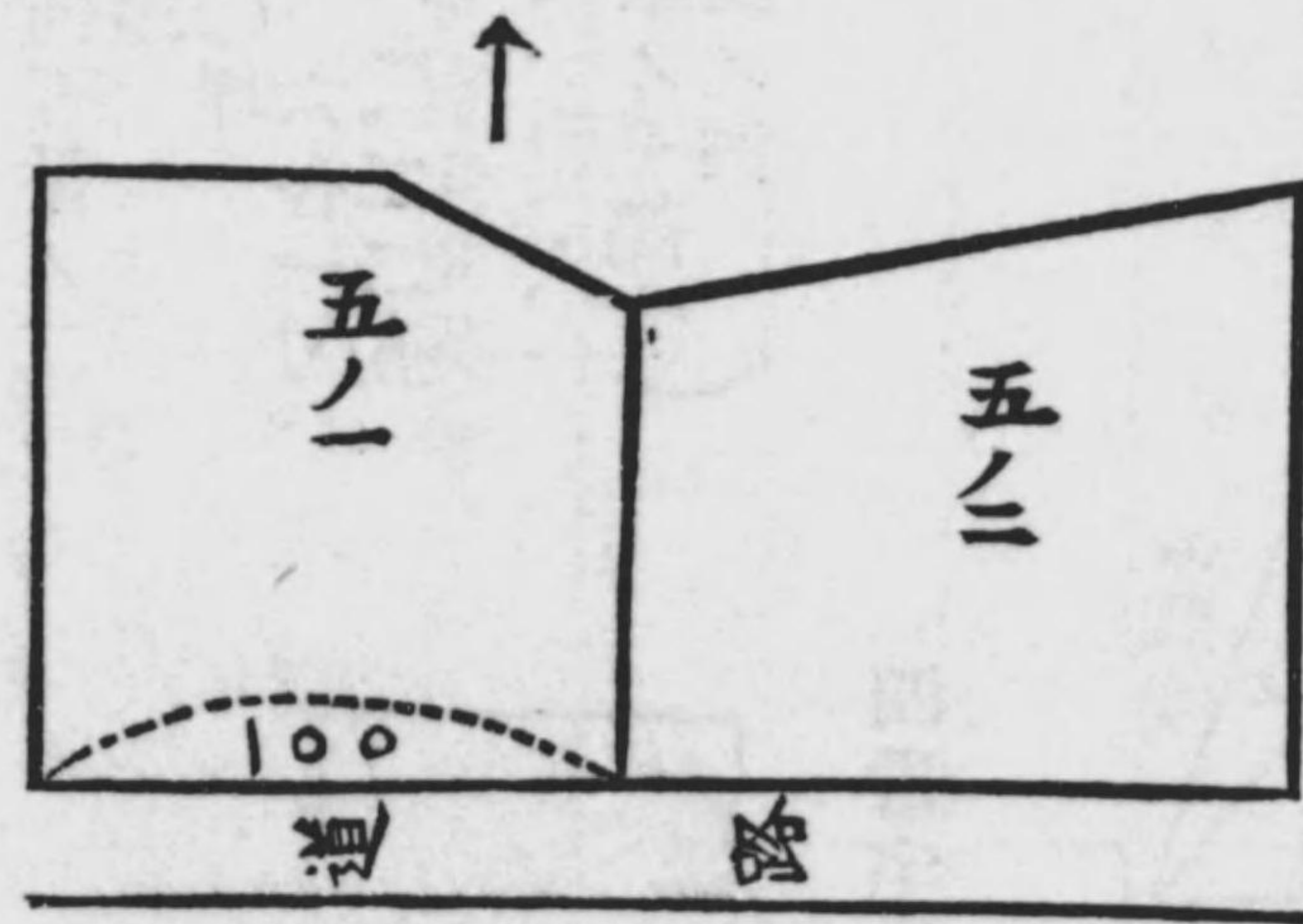
地積	長	長	畦畔	計
七〇	一七	二八	二五	五七
〇	五	一四	四〇	六〇
〇	間	六〇	八〇	八〇
〇	〇	八〇	〇〇	〇〇
三〇	幅	幅	幅	幅
〇	一	二	二	二
〇	分	分	分	分

七七

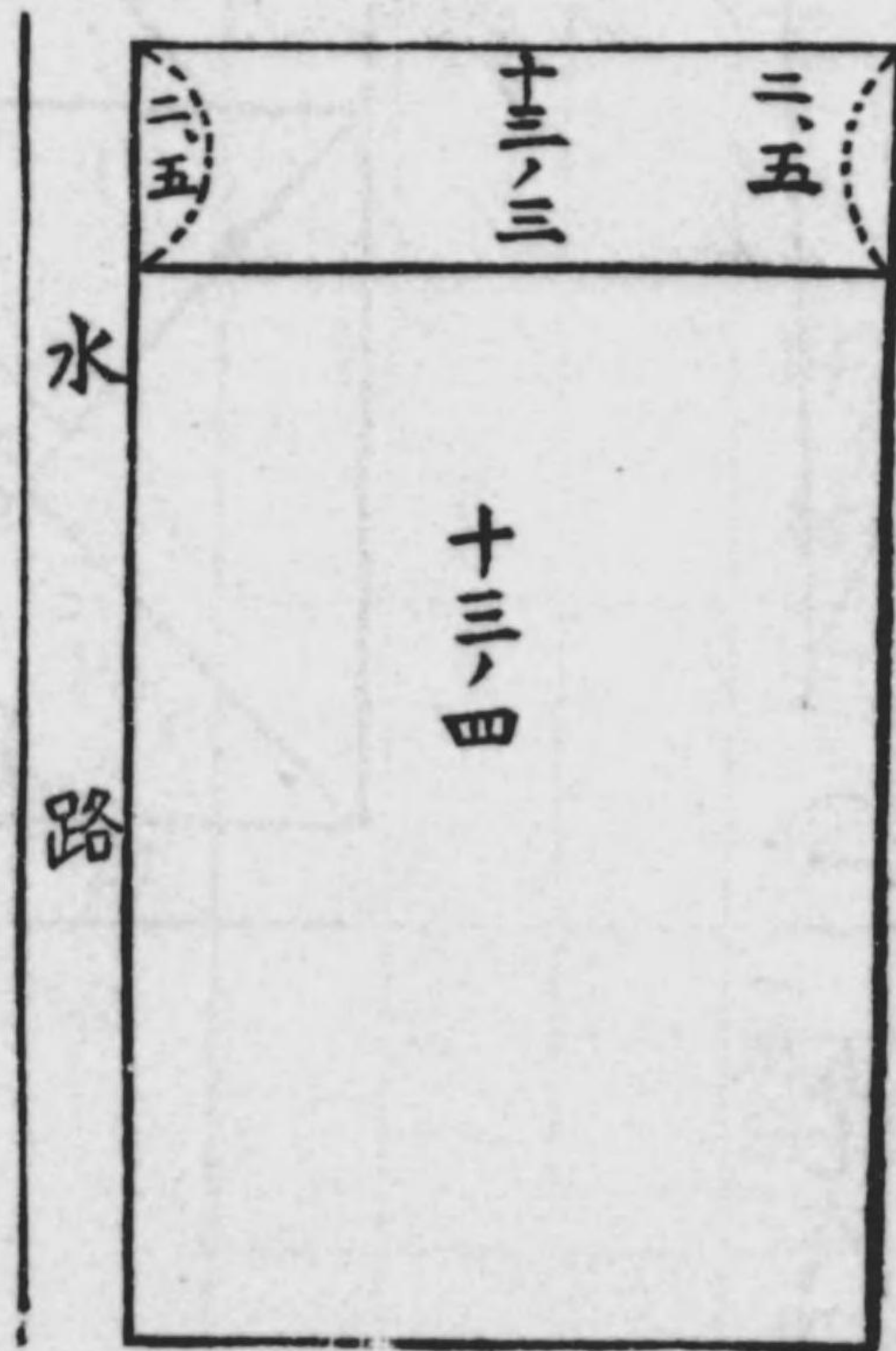
土地分筆申告ニ添付スヘキ地形圖

分筆地形圖

字何五番



字何十三番ノ三



備考 分割スヘキ一方ノ土地ノ境界點ノ間數ヲ記載スマモノス但シ境界點カ屈曲等ニ依リ明カナル場合ハ之カ記入ヲ要セス

第十五章 地租事務整理

第一節 通則

- 一 地租ニ關スル申請、申告書ハ成ルヘク正副二通ヲ作成セシメ副本ハ地元市町村ニ於テ保存シ正本ハ地元市町村ヲ經由スルモノトス。
- 二 市町村ニ於テ地租ニ關スル申請、申告書ヲ收受シタルトキハ左記ノ事項ニ付調査ヲ爲シタル上遲滞ナク之ヲ稅務署ニ送付スルモノトス。
 - (一) 申請、申告書ニ記載ノ事項ヲ土地臺帳及字限地圖ニ照査シ符合ヲ認ムルコト。
 - (二) 申請、申告ハ第二章以下ニ記述セル取扱方ニ適合セルモノナリヤ否ヤヲ調査スルコト。
 - (三) 書類ノ調製ハ所定ノ様式ニ適合セリヤ否ヤヲ調査スルコト。
 - (四) 申請、申告書ヲ稅務署ニ送付スルトキハ欄外ニ主務者認印シテ調査済ナルコトヲ證スルモノトス。
- 三 稅務署ヨリ土地異動通知又ハ土地臺帳住所氏名異動通知等ヲ受ケタルトキハ速ニ土地臺帳、地租名寄帳及字限地圖ヲ加除訂正スルモノトス但シ土地異動通知書ノ上部ニ「翌年組替」ノ印ヲ押捺セルモノ（翌年ヨリ設定又ハ修正賃賃價格ニ依リ地租ヲ徵收スヘキ異動地）ノ地租名寄帳ノ加除ハ其ノ年分納期ノ全部終了後ニ於テ之ヲ爲スモノトス。

- 五 納税管理人の申告ヲ受ケタルトキハ速ニ之ヲ地租名寄帳ノ當該欄ニ記載スルモノトス。
- 六 稅務署ヨリ登記濟通知書ノ送付ヲ受ケタルトキハ速ニ土地臺帳及地租名寄帳ヲ加除訂正スルモノトス但シ臺帳ニ符合セス記入未濟ノ印ヲ押捺セルモノハ不符合ノ爲稅務署ヨリ登記所ニ照會セルモノナルヲ以テ別ニ照覆シタル書類ノ送付アル迄之ヲ訂正セサルモノトス。
- 七 登記濟通知ニシテ一部符合セサル部分アルモ登記物件ヲ推定シ得ラルルモノハ其ノ儘之ヲ訂正スルモ差支ナキ取扱ナルヲ以テ其ノ旨稅務署ヨリ符箋アルモノニ付テハ其ノ儘之ニ依リ訂正スルモノトス但シ新所有者ノ住所氏名等ニ誤謬アリト認めラルルモノアルトキハ其ノ旨直ニ稅務署ニ照會スルモノトス。
- 八 登記濟通知ニシテ相續人ニ於テ未登記土地ノ所有權保存登記ヲ爲シタルモノナルトキハ之ニ依リ所有權移轉ノ整理ヲ爲スモノトス。
- 九 土地臺帳、地租名寄帳及字限地圖等ノ整理ヲ爲シタルトキハ關係書類ノ餘白ニ其ノ旨記載ノ上取扱者ニ於テ認印ヲ爲シ整理ノ既未濟ヲ明瞭ナラシムルモノトス。
- 一〇 土地臺帳及地租名寄帳ノ整理ヲ爲シタルトキハ必ス校合及檢算ヲ施シ其ノ正確ヲ期スルモノトス。
- 一一 土地臺帳及地租名寄帳ハ整理ノ確實ヲ期スル爲毎年一月一日現在額ヲ調査シ之ヲ稅務署ニ報告スルモノトス。
- 一二 自作農地免租ニ關スル住所地市町村又ハ隣接市町村ニ對スル通知ハ左記ニ依ルモノトス。

- (一) 市町村ハ其ノ市町村内ニ於ケル田畑ニ付地租ヲ納ムヘキ者(地租法第七十條第二項ノ規定ニ依リ所有者ト看做サレタル永小作權者ヲ含ム)ノ住所カ隣接市町村内ニ在ルトキハ各人別田畑ノ賃貸價格合計金額ヲ毎年三月中ニ住所地市町村ニ通知スルモノトス(地租法施行規則 第一六條第一項)。
- (二) 前號ノ通知ヲ爲シタル後田畑地租ノ各納期開始迄ニ通知事項ニ異動ヲ生シタルトキハ直ニ之ヲ住所地市町村ニ通知スルモノトス(地租法施行規則 第一六條第二項)。
- (三) 前二號ニ依ル通知ニハ同一人ノ所有地ト永小作地トハ其ノ賃貸價格合計金額ヲ記載シ永小作地ノ賃貸價格ハ其ノ旨ヲ表示シ内書スルモノトス。
- (四) 市町村ハ隣接市町村内ノ田畑ニ付地租法第七十一條ノ申請ヲ受ケタル場合ニ於テ申請者ノ住所地市町村及隣接市町村内ニ於ケル田畑賃貸價格ノ合計金額カ其ノ同居家族ノ分ト合算シ二百圓未満ナルトキハ其ノ旨ヲ田畑所在ノ市町村ニ通知スルモノトス(地租法施行規則 第一七條第一項)。
- (五) 前號ノ通知後田畑地租ノ各納期開始迄ニ通知事項ニ異動ヲ生シタルトキハ之ヲ田畑所在ノ市町村ニ通知スルモノトス(地租法施行規則 第一七條第二項)。
- (六) 前二號ニ依ル通知ニハ各人別ニ當該田畑ノ各筆ノ番號及地目ヲ記載スルモノトス但シ當該土地所在ノ市町村内ニ於ケル申請者ノ所有田畑ノ全部ニ付申請アリタル場合ハ各筆ノ記載ヲ省畧シ氏名ノミヲ通知スルモ妨ナキモノトス。

二 開拓若ハ開墾減租年期中又ハ地目變換減租年期中ニ於テ宅地ニ成功又ハ變換シタル土地ニ付テハ元地積ヲ坪數ニ換算シタルモノヲ宅地ノ地積トシテ登載スルモノトス

三 地積、賃貸價格及等級ハ一、二、三、三〇等ノ如ク記載スルモノトス

四 宅地ノ地積ハ反位ヲ千坪位トシテ記載シ合勺ノ端數ハ坪數ノ左傍ニ記載スルモノトス

五 土地ニ異動アリタルトキハ左ノ例示ニ依リ異動元地ノ沿革欄(各種年期ノ許可及同延長ニ付テハ現在地ノ沿革欄)ニ其ノ事項ヲ記載スルモノトス但シ各種免租年期ノ許可、同年期延長ノ事項ニ付テハ朱書スルモノトス

(一) 有 租 地 成

昭和 年 月 日 拂下(何々)

昭和 年 月 日 地目及賃貸價格設定

昭和 年 月 日 何々使用廢止(告示保安林解除)(何々)

昭和 年 月 日 地目修正及賃貸價格設定

(二) 無 租 地 成

昭和 年 月 日 除租

昭和 年 月 日 填墓地成(何々)

昭和 年 月 日 除租及地目修正

昭和 年 月 日 用途變更

昭和 年 月 日 地目修正

昭和 年 月 日 許可昭和 年 拂下地目及賃貸價格設定

昭和 年 月 日 許可昭和 年 迄開拓減租年期

昭和 年 月 日 許可昭和 年 迄開拓減租年期延長

昭和 年 月 日 地目變換地目修正

(三) 開 拓 減 租 年 期 地

昭和 年 月 日 地類變換地目及賃貸價格修正開拓減租年期消滅

昭和 年 月 日 開拓減租年期滿了(拋棄)賃貸價格修正(地目及賃貸價格修正)

昭和 年 月 日 許可昭和 年 埋立竣功認可(拂下)地目設定

(四) 埋 立 免 租 年 期 地

昭和 年 月 日 埋立免租年期

昭和 年 月 日 許可昭和 年 迄埋立免租年期延長

昭和 年 月 日 埋立免租年期滿了(拋棄)地目修正及賃貸價格設定(賃貸價格設定)

昭和 年 月 日 開墾成功地目及賃貸價格修正(耕地整理減租年期消滅)

昭和 年 月 日 無申告開墾成功地目及賃貸價格修正(耕地整理減租年期消滅)

昭和 年 月 日 許可田(畑)ニ開墾

昭和 年 着 手昭和 年 迄開墾減租年期

昭和 年 月 日 許可昭和 年 迄開墾減租年期延長

昭和 年 月 日 申告開墾豫定地目ヲ田(畑)ニ變更

昭和 年 月 申告開墾豫定地目ヲ宅地(鑛泉地)ニ變更

昭和 年 月 日 開墾減租年期短縮昭和 年 迄

昭和 年 月 日 地目變換地目及賃貸價格修正開墾減租年期消滅(耕地整理減租年期消滅)

(五) 開 墾 地

(二) 土地合筆

昭和年月 日何番ト合筆

(一) 造林免租年期地

昭和年月 日許可昭和年ヨリ昭和年迄造林免租年期満了(拋棄)貸賃價格設定

(三) 誤謬訂正

昭和年月 日許可地積(地番)地目(貸賃價格)誤謬訂正不許可

昭和年月 日地積(地圖)誤謬訂正不許可

昭和年月 日許可昭和年拂下(埋立竣功認可)

昭和年月 迄耕地整理開拓(埋立)免租年期

昭和年月 日許可昭和年迄耕地整理開拓(埋立)免租年期延長

昭和年月 日申告耕地整理

昭和年月 日工事完了(貸賃價格配賦ヲ要セス)

昭和年月 日貸賃價格配賦ニ付別紙ニ掲記ス

昭和年月 日許可昭和年工事着手昭和年迄耕地整理開墾減租年期

昭和年月 日許可昭和年工事完了

昭和年月 迄耕地整理地目變換減租年期

昭和年月 日貸賃價格配賦

昭和年月 迄耕地整理減租年期

昭和年月 迄耕地整理法第十六條ニ依ル配當金 錢

(三) 耕地整理地

昭和年月 日耕地整理法第十六條ノ三ニ依ル期間満了貸賃價格修正

六 各種年期中ノ土地ヲ分筆シタルトキハ分筆地ノ土地臺帳沿革欄ニ其ノ年期(停止中ノ年期共)ニ關スル記載事項ヲ移記スルモノトス

前項ノ場合ニ於テ繼續シテ二回以上上期ノ延長ヲ許可シタル土地ニ付テハ現ニ有スル延長年期ノ外前ニ許可シタル年期延長ニ關スル事項ヲモ之ヲ移記スルモノトス

七 地目、地積及貸賃價格ヲ次欄又ハ別紙ニ改記シタルトキハ朱ノ二線ヲ以テ地目欄ヨリ外歩名稱欄ニ懸ケテ異動元地ヲ抹消スルモノトス

八 國有地、御料地ノ拂下、讓與又ハ下渡ニ係ル土地ニ付テハ^{所有}者氏名又ハ名稱欄ノ初メニ國有地又ハ御料地タリシ當時ノ主管廳名ヲ登載シ次欄ニ拂下、讓與又ハ下渡ヲ受ケタル者ノ氏名ヲ登載スルモノトス

九 共有者三名ヲ超ユルモノ又ハ共有持分ヲ異ニスルモノニ付テハ土地臺帳ノ^{所有}者氏名又ハ名稱欄ニハ何某外何名ト記載シ別ニ共有者氏名表ヲ添附シ各相當欄ヲ調理スルモノトス

一〇 住所ノ記載ニ付テハ土地所在ノ縣内ニシテ他郡市ノモノハ其ノ縣名ヲ省キ同郡内ニシテ他町村ノモノハ郡名ヲ省キ同市町村ノモノハ縣郡市町村大字、字番地ヲ記載スルニ及ハサルモノトス

一一 市町村、大字又ハ字名ヲ改稱シ又ハ其ノ區域ニ變更アリタル場合ハ關係土地臺帳卷首ノ

「田」ノ部	納稅義務者住所及氏名又ハ名稱ノ住所及氏名	納稅管理人	異動及現在額	大字	地目	地積	賃貸價格	地租	摘要	同		何年一月一日現在額		何年何月何日現在額		
										何	何	何	何	何	何	
					荒地成 [△]	二〇三	二四二〇			同	何年何月何日	何年何月何日	何	何	何	何
						五〇六	二四八四			同	何年何月何日	何年何月何日	何	何	何	何
						六四〇九	一三九〇四				△何月何日許可					
						△二〇三	△二四二〇				△何月何日許可					
						二七九	五二天				何月何日畑ヨリ					
						七九五	一七〇〇									

備考

- 一 所定ノ書式ト異リタル書式ニ依リ調製セムトスルトキハ稅務署長ノ承認ヲ受クルコトヲ要スルモノトス
- 二 異動年月日ハ登記濟通知ニ依ルモノハ其ノ登記濟年月日、稅務署ノ異動通知ニ依ルモノハ其ノ日付ヲ記載スルモノトス。

- 三 納稅義務者ニシテ其ノ土地所在ト同府縣内ノモノハ其ノ府縣名、同郡市内ノモノハ其ノ郡市名、同町村内ノモノハ其ノ町村名ノ記載ヲ省略スルモノトス。
- 四 納稅管理人ノ申告アリタルトキハ當該欄ニ之ヲ記載スルモノトス但シ從前ノ書式ニ依ルモノハ納稅義務者ノ左傍ニ納稅管理人ト肩書シテ其ノ住所氏名ヲ朱記スルモノトス。
- 五 家督相續若ハ遺產相續又ハ改姓名等ノトキハ便宜之ヲ更正スルモノトス。
- 六 地目ノ欄ハ雜地中ノ毎地目ヲ記載シ雜地以外ノモノニ付テハ其ノ記載ヲ省略スルモノトス。
- 七 地租ノ欄ハ現在額ヲ整理スル場合ニ於テノミ調理スルモノトス。
- 八 賣買等其ノ他異動ニ依ルモノニ付テハ増ノモノハ黑書シ減ノモノハ朱書スルモノトス。
- 九 各科目毎ニ末尾ニ地積、賃貸價格及地租ノ合計ヲ附スルモノトス。
- 一〇 災害地地租免除ニ係ルモノニ付テハ一筆毎ノ記載ヲ省略シ現在額ノ摘要欄ニ其ノ賃貸價格合計額ヲ記載シテ之ヲ現在額ヨリ控除シタル殘額ニ依リ地租ヲ算出スルモノトス。
- 一一 前號ノ土地ニシテ所有權移轉シタル場合ハ普通ノ加除例ニ依リ整理シタル上前號ノ現在額ヲ整理スルモノトス。
- 一二 自作農地免租ノ田畑ニ付テハ各筆毎ノ摘要欄ニ「自作」ト朱書スルモノトス但シ同一人ノ田又ハ細ノ全部ニ付地租ヲ徵收セサル場合ハ各筆毎ノ記載ヲ省略スルモ妨ナシ。
- 一三 永小作地ニシテ自作農地免租ノ規定ニ該當シ地租ヲ徵收セサル田畑ニ付テハ前號ニ準シ「永小作地」ト朱書整理スルモノトス。
- 一四 地租法第七十三條但書ニ該當スル賃貸價格ノ合計額一圓未満ノモノニ付テハ現在額ノ摘要欄ニ「賃貸價格一圓未満ニ付地租不徵收」ト朱記スルモノトス。
- 一五 前三號ノモノニシテ之ニ該當セサルニ至リタルトキハ各其ノ記載事項ヲ抹消スルモノトス。

ス。

- 一六 自作農地免租ノ田畑アルトキハ現在額ノ次ニ「不徵收額」ノ欄ヲ設ケ其ノ地積、賃賃價格ノ合計額ヲ朱記シ更ニ其ノ次ニ差引額ノ行ヲ設ケ整理スルモノトス。
- 一七 毎冊ノ巻首ニ納稅義務者ノ索引ヲ附スルモノトス。
- 一八 自作農地免租ニ關スル田畑賃賃價格二百圓未滿ナリヤ否ヤノ調査ニ付テハ別ニ左記書式ノ帳簿ヲ設ケ整理スルモノトス。

何市町村大字何番地 (△印ハ朱書トス)

何ノ誰 其ノ同居家族ノ分

摘要	市町村名	田畑賃價格			合計	事故欄
		戸主(世帯主)	家族誰	家族誰		
	自村	50.00			50.00	一部申請
	甲村	10.00			10.00	
	乙村		110.00	50.00	160.00	
	丙村	40.00			40.00	内何圓永小作地
	丁村			110.00	110.00	家族誰分永小作地

何月何日 現在高	減		増	計	何月何日買得
	乙村	丁村	自村		
			50.00	100.00	
				110.00	
				50.00	
				110.00	
				110.00	
				190.00	
				190.00	

備考

- 一 住所地市町村及其ノ隣接市町村内ノ田畑賃賃價格ノ合計金額二百圓未滿ナリヤ否ヤハ本簿ニ依リ調査スルモノトス。
- 二 前號ノ調査ハ自作農地免租ノ申請アリタル者ノミニ付調査スルモノトス。
- 三 同一人ニシテ其ノ住所地及隣接市町村内ニ於ケル田畑ノ一部ニ付自作農地免租ノ申請ヲ爲セルモノニ付テハ事故欄ニ其ノ旨記載スルモノトス。
- 四 納期開始十五日前ノ現在額ヲ掲ケ其ノ後異動ヲ生シタルモノニ付テハ其ノ時々加除スルモノトス。
- 五 本簿ハ連年繼續使用スルモノトス。

第四節 有租地集計簿

- 一 有租地集計簿ハ所定ノ書式ニ依リ之ヲ調製スルモノトス。
- 二 有租地集計簿ハ各地目毎ニ口座ヲ設ケ地租名寄帳ノ合計額ニ依リ之ヲ整理スルモノトス（従前ノ地租名寄帳集計簿ト同シ）。
- 三 有租地集計簿ニハ賣買ノ如キ納稅義務者相互ノ異動ニ止マリ全市町村ノ地目毎合計額ニ増減ナキモノニ付テハ之ヲ記載セサルモノトス。
- 四 納期毎ニ地租名寄帳ノ現在額ヲ整理シタルトキハ之ヲ集計シテ本簿ノ現在額ト對照調査スルモノトス。

有租地集計簿

(△印ハ朱書)

田(何々)ノ部		摘要	地積	賃貸價格	筆數	事
昭和七年一月一日現在	九四九七二九		二五七、三七九	一八、三三六		
地目變換	四六〇八		一五二〇		九畑ヨリ六年八月賃貸價格修正	
地類變換	△四二五	△五七三〇	△六	△原野へ六年八月賃貸價格修正		
開墾成功	三二五	三〇〇〇			一山林ヨリ六年十月賃貸價格修正	

故

同	〇三三五	九二〇	一	原野ヨリ六年十月地目修正
有租地成	五〇〇三	二二〇四	五	溜池使用廢止六年十月賃貸價格設定
荒地免租年期滿了	〇二二	四五六	一	六年十月賃貸價格設定
同	〇二二	五六五	一	畑ヨリ六年十月賃貸價格設定
開拓減租年期滿了	〇二五	二〇四八	三	六年十月賃貸價格修正
同	二三四一八	五六三〇四	二	畑ヨリ六年十月賃貸價格修正
埋立免租年期滿了	八二九〇八	二四六三三〇	六	六年十月賃貸價格設定
耕地整理竣功	一六八〇三			六年十月賃貸價格配賦
昭和七年三月卅一日現在	九八三三二	二六〇、三七八	一八、三五七	
分筆			三	四月通知
國有地成	△〇一〇三	△三六四	△一	△二月通知
荒地成	△四〇一〇	△九六八〇	△八	△七年五月許可ノ通知ヲ受ク
無租地成	△〇一〇〇	△二四〇〇	△一	△六月墓地成ノ通知ヲ受ク

分筆	開墾貸賃價格修正	荒地	誤謬訂正	合筆	昭和七年十二月十七日現在	國有地成	昭和八年一月一日現在	無租地成	分筆	開墾貸賃價格修正	昭和八年一月十七日現在
	二〇三三	〇〇〇六	二六〇六		九六八二八六	△一九〇五	九七七九二	△二〇〇〇		三三二	九七八二二
	三四	七六八	六二八		二六〇三九一〇三	△一〇七三	二六〇三八〇〇	△六〇〇〇		二五七四	二六〇三四六〇四
	三七七月通知	一畑ヨリ無申告開墾七年十一月通知	丈量誤謬十一月許可ノ通知ヲ受ク	△二十一月通知	二八三六〇	△四△十二月通知	二八三五六	△二十一月用悪水路成ノ通知ヲ受ク	五一月通知	三山林ヨリ無申告開墾六年十一月通知	二八三六二

分筆	無租地成	昭和八年三月三十一日現在	分筆	無租地成	知昭和八年二月十四日現在	分筆	國有地成	合筆	昭和八年二月一日現在	無租地成	昭和八年四月十六日現在
	△〇七四	九七八五七		△二〇〇〇	九七七七七		△一〇〇〇		九七八六〇七	△二五〇五	九七七七三
	△一七二六	二六〇三三八〇八		△四八〇	二六〇三二八八		△二四〇〇		二六〇三三六八	△一九一六	二六〇三〇九二
	△二△四月幕地成ノ通知ヲ受ク	二八三五〇		△一△三月公立學校敷地成ノ通知ヲ受ク	二八三四八		△二△二月通知	△二△二月通知	二八三四八	△二△一月鐵道用地成ノ通知ヲ受ク	二八三五〇
	二四月通知	二三月通知		一畑ヨリ無申告變換八年二月通知	二二月通知		二二月通知		二二月通知		二四月通知

△無租地成	△〇六四	△一五二六	△一	△四月公立學校敷地成ノ通知ヲ受ク
昭和八年五月一日現在	九七七〇九	二六〇二九五七六	一八三四九	

備考

- 一 翌年分有租地集計簿ヲ毎年一月初ニ於テ作成シ其ノ年處理シタル異動ニシテ翌年分地租ヨリ關係スルモノハ最初ノ一行ヲ空欄トシ次行ヨリ順次掲載スルモノトス
- 二 前號空欄ト爲セル最初ノ一行ニハ其ノ年度初ニ於テ前年分有租地集計簿ノ會計年度末現在額ヲ一月一日現在額トシテ掲載スルモノトス
- 三 一月一日以降三月三十一日迄ニ處理シタル異動ニシテ前年分以前ノ地租ニ關係スルモノハ之ヲ前年分有租地集計簿ニ掲載整理スルモノトス
- 四 四月中ノ異動ニシテ前年分田租ノ第四期ニ關係スルモノハ前年分及本年分有租地集計簿ニ掲載スルモノトス
- 五 法令ニ依リ地租ノ徵收ヲ猶豫シ又ハ地租法第六十五條、第七十條、第七十三條ニ依リ地租ヲ免除シ又ハ徵收セザルモノニ付テハ當該納期分現在ノ事故欄ニ其ノ賃貸價格及其ノ旨ヲ掲載スルモノトス
- 六 現在額ハ每納期開始十五日前、每納期開始ノ日及其ノ他必要ノトキニ於テ之ヲ附スルモノトス但シ前整理後異動ナキトキハ重ネテ現在額ヲ附スルコトヲ要セス

第五節 地 圖

- 一 地圖ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ訂正スルモノトス。
 - (一) 字名又ハ字區域ノ變更アリタルトキ。
 - (二) 地番ノ設定又ハ變更アリタルトキ。
 - (三) 土地ノ分筆又ハ合併アリタルトキ。
 - (四) 地目ノ設定又ハ變更アリタルトキ。
 - (五) 等級ノ變更アリタルトキ。
 - (六) 地圖ノ誤謬訂正ヲ許可セララルトキ。
- 二 地圖ノ訂正ハ異動地ノ圖形ノ貼紙ヲ施シテ之ヲ爲スモノトス但シ地圖ノ鮮明ヲ缺カサル限リ分筆ニ付テハ黒線ヲ以テ新境界線ヲ劃シ合筆ニ付テハ境界線ヲ朱點ヲ以テ抹消シ又地番、地目及等級等ノ訂正ニ付テハ朱抹黒書シテ訂正スルモ妨ナシ。
- 三 一筆ノ區割狹少ニシテ訂正事項ヲ記載シ難キ場合ハ之ニ符號ヲ附シ餘白ニ訂正事項ノ記載ヲ爲スモノトス。
- 四 地圖ハ市町村ノ書類ノミニ依リ訂正シ難キ場合少カラサルヲ以テ時々稅務署ノ書類又ハ地圖ト照合シ整理ノ確實ヲ期スルモノトス。

第六節 地租徴収及納額報告

一 地租ノ稅率ハ百分ノ三、八トシテ毎年左ノ納期ニ於テ之ヲ徴收スルモノトス(地租法第一〇條及第一一條)

(一) 宅地租

第一期	其ノ年七月一日ヨリ三十一日限	年期ノ二分ノ一
第二期	翌年一月一日ヨリ三十一日限	年額ノ二分ノ一

(二) 田租

第一期	翌年一月一日ヨリ三十一日限	年額ノ四分ノ一
第二期	翌年二月一日ヨリ末日限	年額ノ四分ノ一
第三期	翌年三月一日ヨリ三十一日限	年額ノ四分ノ一
第四期	翌年五月一日ヨリ三十一日限	年額ノ四分ノ一

(三) 其ノ他

第一期	其ノ年九月一日ヨリ三十日限	年額ノ二分ノ一
第二期	其ノ年十一月一日ヨリ三十日限	年額ノ二分ノ一

二 地租ハ左ニ掲クル者ヨリ之ヲ徴收スルモノトス(地租法第一二條)

(一) 質權ノ目的タル土地ニ付テハ質權者

(二) 百年ヨリ長キ存續期間ノ定アル地上權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者

(三) 其ノ他ノ土地ニ付テハ土地所有者

茲ニ質權者、地上權者、土地所有者ト稱スルハ納期開始ノ時ニ於テ土地臺帳ニ質權者、地上權者、土地所有者トシテ登録セラレタル者ヲ謂フモノトス。

三 地租ハ各納稅義務者ニ付同一市町村内ニ於ケル同一地目(田、畑、宅地以外ノ土地ハ之ヲ同一地目ノ土地ト看做ス)ノ納期開始當日ニ於ケル賃貸價格ノ合計金額ニ依リ算出シテ之ヲ徴收スルモノトス但シ賃貸價格ノ合計金額カ一回ニ滿タサルトキハ地租ヲ徴收セス(地租法第七三條)

四 地租算出上一錢未滿ノ端數アルトキハ左ノ如ク取扱フモノトス(國庫出納金端數計算法第一條及第二條)

(一) 賃貸價格ニ稅率ヲ乘シ算出シタル地租額ニ一錢未滿ノ端數アルトキハ其ノ端數ハ之ヲ切捨ツルモノトス。

(二) 右ニ依リ定マリタル年額地租ヲ更ニ各納期毎ニ分割算出シタル場合ニ於テ分割金額ニ一錢未滿ノ端數アルトキハ之ヲ切捨ツルモノトス但シ其ノ分割金額カ一錢未滿ナルトキハ之ヲ一錢トス。

五 一人別地租ノ算出ヲ了シタルトキハ之ヲ賃貸價格ノ市町村合計額ニ稅率ヲ乘シタルモノト對比シ若シ著シキ差違アルトキハ一人別算出ニ誤謬ナキヤニ付精査ヲ遂ケ其ノ正確ヲ期スルモノトス。

六 市町村ハ地租ノ納期毎ニ其ノ納期開始前十五日迄ニ賃貸價格、地租ノ總額、其ノ納期ニ於ケル納額、

自作農地免租ニ係ルモノ及賃貸價格ノ合計金額一圓未満ノモノヲ所定ノ書式ニ依リ稅務署長ニ報告スルモノトス。

七 前號ノ報告後納期開始迄ニ報告事項ニ異動ヲ生シタルトキハ直ニ其ノ異動額ヲ稅務署長ニ報告スルモノトス(地租法第七四條及第七五條)

八 納期經過後ニ於テ徵收地租額ニ過不足アルコトヲ發見シタルモノニ付テハ次ノ納期ニ於テ差引徵收スルコトヲ得サルモノナルヲ以テ此場合ハ稅務署長ニ其ノ旨ヲ報告シ之ニ對スル通知ヲ受ケタル後相當處理スルモノトス。

地租納額報告書

年 月 日提出

租第 期分地租納額「異動」報告書

何市町村長

摘	要	賃賃價格總額	地租總額	納	額	人	員
月	日現在額						

右ノ外自作農地免租ニ係ルモノ及賃貸價格一圓未満ノモノ左ノ如シ

摘	要	賃賃價格總額	人	員
自作農地免租ニ係ルモノ				
賃貸價格ノ合計金額一圓未満ノモノ				

備考

- 一 田租、畑租、宅地租及雜地租ニ區分シテ調製スルモノトス。
- 二 地租納額報告ノ賃貸價格總額及地租總額ハ地租名寄帳ノ合計額ヲ掲ケ當該納期分ノ納額ハ國稅收納簿ノ合計額ヲ記載スルモノトス但シ自作農地免租ニ係ルモノ、賃貸價格ノ合計金額一圓未満ノモノ及災害地地租免除ノモノノ賃貸價格ハ之ヲ控除シタルモノニ依ルモノトス。
- 三 前號賃貸價格總額ト但書該當ノ賃貸價格トノ合計ハ有租地集計簿ノ現在額ニ符合スルヤ否念查スルモノトス。
- 四 異動報告書ニハ異動額(増ハ墨減ハ赤書)及異動ノ事由ヲ記載スルモノトス。
- 五 本書式ト異リタル書式ニ依リ調製セムトスルトキハ稅務署長ノ承認ヲ受クルコトヲ要スルモノトス。

第七節 書類編纂

一 地租ニ關スル書類ハ左ノ如ク類別シテ編纂スルヲ便宜トス。

(一) 地租ニ關スル例規書類(地租事務取扱上例規ト爲ルヘキ達、通牒、照會等ノ類)

- (一) 土地異動書類(申請、申告書ノ副本及納税管理人申告ノ類)
 - (二) 自作農地免租ニ關スル申請、申告書類(自作農地免租ニ關スル申請書類及永小作地ノ申告書類)
 - (三) 自作農地免租ニ關スル通知書類(自作農地免租ニ關スル隣接市町村又ハ住所市町村ヨリノ通知書類)
 - (四) 土地異動通知書(土地及納税義務者住所氏名ノ異動ニ關スル一切ノ通知書)
 - (五) 土地登記済通知書(不符合ノ爲照覆シタル書類ヲ含ム)
 - (六) 地租納額報告書類(地租納額報告ノ原議書類及納額報告符合セサル爲照覆シタル書類)
 - (七) 地租ニ關スル往復書類(前各號ニ該當セサル照會、通牒其ノ他ノ往復書類)
 - (八) 地租ニ關スル參考書類(土地臺帳又ハ地租名寄帳照合ノ際誤謬發見シタルモノノ書拔其ノ他集計下調材料等後日ノ參考ト爲ルヘキ一切ノ書類)
 - (九) 地租納額報告書類ハ會計年度ニ依リ其ノ他ハ曆年ニ依リ編纂スルモノトス但シ紙數ノ少キモノ及例規書類、參考書類等ハ成ルヘク數年分ヲ合綴シ置クヲ可トス。
- 三 一ノ(一)(五)(六)(九)ニ付テハ永年保存ヲ要スルモノトス。

第二編 相續開始原因報告事務

- 一 市町村長左ノ事項ニ關スル届書ヲ受理シタルトキハ之ヲ稅務署長ニ報告スルモノトス(相續稅法第一二條)
 - 一 死亡又ハ失踪
 - 二 戸主ノ隱居又ハ國籍喪失
 - 三 戸主カ婚姻又ハ養子縁組ノ取消ニ因リ其ノ家ヲ去リタルコト
 - 四 入夫婚姻ニ因リ女戸主カ戸主權ヲ喪失シタルコト
 - 五 戸主タル入夫ノ離婚
- 二 前號ノ相續開始原因報告ハ一ヶ月分ヲ取纏メ翌月ニ至リ速ニ之ヲ提出スルモノトス。
- 三 市町村長分家ノ届書ヲ受理シタルトキハ前號ニ準シ之ヲ稅務署長ニ報告スルモノトス。
- 四 前各號ニ依ル報告ハ左記書式ニ依ルヲ便トス。

年 月 日

何稅務署長殿

何市町村長

一〇八

相續開始原因報告書

發生日	相續開始原因	種類番號	本籍地	寄留地	戶主ノ柄	氏名	推定家督相續人
							續柄名

備考

- 一 種類番號ハ戶籍受附帳ニ依リ之ヲ記入スルモノトス。
- 二 死亡、失踪及隱居ニ付テハ各種類番號カ連續シ(本籍人ト非本籍人ト各別ニ)欠號ヲ生ゼサル等ノモノナルヲ以テ注意スルモノトス。
- 三 被相續人カ土地、建物等ノ財産ヲ有スルモノナルトキハ別ニ財産調書ヲ作成シテ添付スルモノトス。
- 四 家族ノ死亡又ハ失踪ニ係ルモノニシテ有財産ノモノニ付テハ遺産相續人ノ續柄及氏名ヲ推定家督相續人ノ欄ニ記載スルモノトス。
- 五 非本籍人ニ付テハ欄外上部ニ非本籍人ト表示スルモノトス。
- 六 分家ノ報告ニ付テハ本籍地、寄留地ノ欄ニ本家及分家ノ本籍地ヲ記載スルモノトス但シ別ニ分家報告ノ書式ヲ協定シアルモノニ付テハ其ノ様式ニ依ルモノトス。
- 七 朝鮮ニ於テ相續開始シタルモノアルトキハ其ノ相續開始地ヲ附記スルモノトス。

第三編 徵收事務

第一章 市町村ニ於ケル國稅徵收ノ責任及其ノ責任ノ免除

- 一 市町村ハ國稅徵收法第五條第一項及同法施行規則第一條ノ二ノ規定ニ基キ左ノ國稅ヲ徵收シ其ノ税金ヲ國庫ニ送付スルノ責任ヲ負フモノトス。
 - (一) 其ノ市町村内ノ地租
 - (二) 第三種ノ所得ニ係ル所得稅
 - (三) 個人營業收益稅
 - (四) 乙種資本利子稅
 - (五) 個人臨時利得稅
 - (六) 第三種所得稅ヲ納ムル者ノ所得特別稅
 - (七) 個人ノ臨時利得特別稅
- 二 市町村ハ前項ノ責任ヲ完ウセンカ爲法令ニハ規定スル所ナシト雖納稅者ノ納稅上及市町村ニ於ケル徵稅上ノ便宜ニ稽ヘ尙其ノ部内ノ風習民情ニ鑑ミ適切ナル施設方法ヲ講シ納人ヲシテ納期內ニ任意ニ納付ヲ爲サシメ以テ全部ノ徵收ヲ了シ努メテ滯納ノ弊ナカラシムルコトニ注意スヘキモノトス。
- 三 市町村ハ避クヘカラサル災害ニ因ルノ外國庫ニ對シ既收稅金送付ノ責任ヲ有スルモノニシテ若シ保管

上ノ注意ヲ怠リ税金ヲ亡失スルコトアラムカ吏員ノ非行ニ基クト他人ノ不法行爲等ニ因ルトヲ問ハス其ノ責任ヲ免ルルコトヲ得サルモノトス。

避クヘカラサル災害トハ事實ニ付テ決定スル外ナキモ役場内ニ於テ保管中盜難ニ罹リタル場合ニ於テ縱令完全ナル器具ニ藏置シ且保管者ヲ置クモ盜賊ノ侵入ヲ覺知セサルカ如キ又送納ノ途中盜難ニ罹リタルカ如キ尙水災ニ遭ヒタル場合ニ於テモ税金ノ保護ニ任スルノ餘裕アリタルニ拘ラス之ヲ亡失シタルカ如キ苟モ其ノ間ニ過失怠慢アレハ避クヘカラサル災害トハ看ルヲ得サルヘキヲ以テ税金ノ保管ニハ十分ノ注意ヲ拂フコトヲ必要トス。

四 市町村ハ避クヘカラサル災害ニ因リ既收ノ税金ヲ失ヒタルトキハ其ノ事實ヲ證明シテ大藏大臣ニ税金送付ノ責任ノ免除ヲ請フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ地方長官ヲ經由シテ申請書ヲ提出スヘキモノトス。
(國稅徵收法第八條)
(同施行規則第六條)

申請上必要事項及其ノ他ノ參考事項ヲ舉クレハ概ネ左ノ如シ

- (一) 亡失ハ全ク避クヘカラサル災害ニ因ルモノナルコトヲ證明スルコトヲ要スルヲ以テ申請書ニハ十分信憑ヲ置クニ足ルノ事實理由等ヲ詳悉スルコトヲ要ス。
- (二) 責任ヲ免除スヘキモノニ非スト決定セラレタルトキハ速ニ相當ノ方法ヲ以テ辨償ノ上國庫ニ送付スヘキモノトス
- (三) 責任免否ニ關スル大藏大臣ノ決定ニ付テハ市町村ハ訴願又ハ行政訴訟等ニ依リ不服ヲ訴フルコトヲ得サルモノトス。

第二章 市町村ニ於ケル徵收手續

第一節 政府ノ會計年度及歲入金ノ所屬年度

一 政府ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ルモノトス(會計法第一條)。

二 毎年度所屬歲入金ヲ日本銀行ニ於テ受入ルルハ翌年度四月三十日限ナルモ市町村又ハ之ニ準スヘキモノヨリ其ノ收納シタル歲入金ヲ送付スルトキハ五月三十一日迄受入ヲ爲シ得ルモノトス(會計規則第五條)。

イ 納税人ヨリ領收シ得ル期間 翌年度四月三十日限

稅務署長ノ納額通知書發行カ三月三十一日以前ニ係ルモノナルトキハ指定納期日カ翌年度四月中ニ在ル場合ト雖市町村ハ當該年度所屬(納額通知書ニ記載シタル年度)ノ税金トシテ納稅告知書ヲ發付シ指定期日迄ニ領收スヘキモノトス。

ロ 市町村ヨリ送納シ得ル期間 翌年度五月三十一日限

前項ニ依リ四月中ニ市町村ノ領收シタル税金ニ限リ五月中ハ當該年度所屬(納額通知書ニ記載シタル年度)ノ歲入トシテ日本銀行ニ送納シ得ルモノナルヲ以テ送納ニ際シテハ所屬年度ヲ誤ラサル様注意スヘキモノトス。

尙右ノ場合ニ於テ郵便局ニ拂込ム場合ニ於テハ成ルヘク四月中ニ拂込ヲ了スヘキモノトス。
三 歲入ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ據ルヘキモノトス(會計規則第一條)。

第一 納期ノ一定シタル收入ハ其ノ納期末日ノ屬スル年度

第二 隨時ノ收入ニシテ納額告知書ヲ發スルモノハ納額告知書ヲ發シタル日ノ屬スル年度

第三 隨時ノ收入ニシテ納額告知書ヲ發セサルモノハ領收ヲ爲シタル日ノ屬スル年度

四 前各項規定ノ如クナルヲ以テ前年度所屬ノ田租第三期分第三種所得稅第四期分ノ如キヲ翌年度四月一日以後ニ於テ國庫ニ送付スル場合ニハ之ヲ前年度所屬トスヘク又翌年度五月ニ於テ徵收スヘキ田租前年第四期分ノ如キハ之ヲ其ノ年度所屬トスヘキモノトス尙隨時收入ノ諸稅ノ如キハ其ノ納額告知書ヲ發シタル日ノ屬スル年度ノ所屬トスヘキモノトス。歳入年度ニ付テハ稅務署長ノ發スル納額告知書ニ明記シアルモ市町村ニ於テハ稅金送付等ノ際以上ノ各規定ニ照ラシ之カ處理ヲ愆ラサルコトニ注意スルヲ必要トス。

五 市町村カ年度誤謬ノ儘送付ヲ了シタル場合ノ救濟手續トシテハ大正十一年四月大藏省訓令第三十八號ニ依リ歳入徵收官ヨリ取纏郵便局又ハ日本銀行ニ向テ訂正ノ請求ヲ爲ササルヘカラス之カ手數ハ容易ナラサルモノアルノミナラス年度閉鎖後(六月以後)ニ於テハ訂正ノ途ナキヲ以テ年度ノ記載ニ誤謬ナキヲ期スルノ要アルモノトス。

第二節 國稅徵收手續ノ開始

一 國稅ヲ徵收セムトスルトキハ稅務署長ハ市町村ニ對シ納額告知書ヲ發スルヲ以テ(國稅徵收法施行規則第二條第一項)市町

村ニ於テハ豫メ關係帳簿ヲ設備シ殊ニ地租ニ付テハ納額ノ報告ヲ爲スト共ニ納稅告知書ノ調製等相當準備ヲ爲シ置キ納額告知書ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク徵收事務ニ著手スヘキモノトス。

二 前項納額告知書中地租ノ分ハ市町村ノ納額報告ニ基キテ稅務署長之ヲ發スルモノナルヲ以テ該納額報告遲延スルトキハ納額告知モ亦從テ遲延シ爲ニ徵收着手ノ時期ヲ失スルニ至ルヘキヲ以テ市町村ハ賃貸價格、地租納額報告ヲ納期開始前十五日迄ニ報告スル様注意スヘキモノトス(地租法第七四條)。
尙左記事項注意ヲ要ス

イ 地租ハ納期開始當日ノ土地臺帳名義者ヨリ徵收スヘキモノナルヲ以テ當日迄ノ納稅義務者ノ異動ハ登記濟通知書ニ依リ地租名寄帳ヲ加除訂正スルコト。

ロ 地目、地類、變換、開墾成功等ノ爲當該納期ヨリ新地目ニ依リ地租ヲ徵收スヘキモノハ稅務署ノ異動通知書ノ納期區分ニ依リ之ヲ加除訂正スルコト。

ハ 前二號又ハ違算、賦課誤謬等ニ依リ賃貸價格、地租、納額ニ異動アル場合ハ遲滯ナク異動報告ヲ提出スルコト。

三 地租ニ付テハ納額通知書發付後(徵收猶豫等ノ場合ニハ減額通知書ヲ發スヘシト雖)ハ市町村ノ報告ニ依ル異動額ニ對シテハ更メテ増減額ノ通知書ヲ發セサルヲ以テ市町村ハ異動報告ヲ爲スト同時ニ必ス關係諸帳簿ノ整理ヲ遂ケ送納ニ際シテハ稅務署調定額ト不符合ヲ生セサル様注意スヘキモノト。

四 前項ノ外納額通知書發付後異動アリタル場合ハ稅務署長ヨリ増額ニ係ル納額通知書又ハ減額通知書ヲ發スヘキヲ以テ之ヲ受ケタル後ニ於テ諸帳簿ノ整理ヲ爲シ前項ニ準シ不符合ナキヲ期スルモノトス。

納額通知書式(國稅徵收法施行細則第二號書式)

第何號	市町村分
何年度租	稅(項)
何年何月何日限	何年何期分
大藏省主管	何稅(目)
日本銀行何店「又ハ日本銀行本店支店又ハ代理店」扱	何稅務署長
一金何程	何稅
右通知候也	昭昭和何年何日
昭昭和何年何日	官氏名 印

備考

一 同一納期ノ畑租及雜地租ハ之ヲ竝記スヘシ

二 一人別納額ノ通知ヲ要スル場合ニ於テハ一人別納額調書ヲ添付スルモノトス但シ人員少キトキハ金額ノ左傍ニ記入スルモ妨ケナシ

(注意) 一 稅務署ニ於テ送付場所ヲ郵便局ニ指定スル場合ハ日本銀行何店「又ハ日本銀行本店支店又ハ代理店」トアルヲ「何郵便局扱」ト記載スルモノトス

二 減額ノ場合ニハ減額通知書ヲ發スルモノトス

第三節 納稅告知

一 市町村ニ於テ國稅ヲ徵收スルトキハ納稅告知書ノ發付ヲ要スルハ國稅徵收法施行規則第二條第二項ニ規定スル所ニシテ其ノ順序ハ稅務署長ヨリ納額ノ通知ヲ受ケタルトキハ(一)地租ハ地租名寄帳ニ依リ(二)地租以外ノ第三種所得稅、個人營業收益稅、乙種資本利子稅及個人臨時利得稅等ハ納額通知書ノ納額ト一人別納額調書ノ金額ト符合ヲ確メ收納簿ニ記載ノ上納稅告知書ヲ調製シ納稅者又ハ納稅管理人ニ送付スヘキモノトス。

一人別納額調書ニハ第三種所得稅、個人營業收益稅、乙種資本利子稅及個人臨時利得稅ニ在リテハ當初ノ納期分通知ノ際各納期ノ納額ヲモ記載シ爾後異動アル毎ニ異動ノ通知ヲナシ各納期毎ノ調書ヲ省略スルコトアルヘキニ付市町村ニ於テハ異動通知ヲ受ケタル時々相當加除訂正ヲ爲スコトヲ要ス。

二 納稅者ハ納稅告知書ヲ受ケ始メテ納稅ノ責任ヲ生シ納稅金ノ準備ヲ爲スモノナレハ之カ發付ハ納期前必ス相當ノ期間ヲ存スヘキモノトス。

三 納稅告知書ノ送達ハ使丁又ハ郵便ニ依ルモノナレハ(國稅徵收法施行規則第十條)若シ納稅者所轄地以外ニ居住シ納稅管理人ナキカ如キ場合ニ於テハ之ヲ郵便ニ付シ送達スヘキモノトス尙納稅組合アル場合ニハ其ノ組合ノ當事者ニ、區長部落總代人等ヲシテ交付セシムル慣習アル場合ニハ區長部落總代人等ニ一括交付シ又他市町村內居住ノ納稅者ニ對シ其ノ市町村ニ囑託シテ交付スル等便宜ノ方法ニ依ルコトヲ得ヘシ。

四 納稅告知書ヲ發スル場合ニ於テ納稅人死亡シ相續人ナク又財産管理人ノ選任モナク納稅告知書ヲ受クヘキモノナキトキハ其ノ旨稅務署ニ通知シ減額ノ通知ヲ受ケテ市町村ノ徵收スヘキ税金ノ内ヨリ之ヲ除却スヘキモノトス。

五 納稅告知書送達ニ際シ他ノ市町村へ轉居シタル者、其ノ住居所ニ於テ告知書ノ受取ヲ拒ミタル者、帝國內ニ住居所アラサル者又ハ所在不明ノ者アルトキハ轉居者及所在不明者ニ付テハ直ニ移轉先又ハ所在不明トナリタル時期及其ノ狀況ヲ詳記シテ稅務署ニ通報スルト共ニ轉居者ニハ移轉先へ告知書送達ノ手續ヲ爲シ告知書ノ受取ヲ拒ミタル者、帝國內ニ住居所アラサル者及所在不明者ニハ公示送達ヲ爲スヘキモノトス(國稅徵收法第四條ノ八)。

納稅告知書ノ公示送達ヲ爲スヘキ場合ニハ納稅者ノ住居所氏名、年度、納期區分、稅目、稅額、納期日、納付場所及公示送達ヲナス事由ヲ記載シ市町村ノ揭示場其ノ他便宜ノ場所ニ公告スルモノトス尙公示送達ハ公告ノ初日ヨリ七日ヲ經過セサルトキハ其ノ效力ヲ生セサルヲ以テ公告ノ初日ヨリ納期末日迄ノ期間

カ七日ニ滿タサルトキハ納期內告知書送達不能ノ旨ヲ稅務署長ニ報告シ減額ノ通知ヲ受ケテ其ノ納期ヨリ除却スヘキモノトス。

六 前項若シ送達ノ事蹟ニシテ不確實ナランカ他日滯納處分等ノ場合其ノ效力ニ影響ヲ及ホスノ虞アルヲ以テ所在不明ノ場合ハ勿論一般ノ之カ送達ニ就テハ深甚ノ注意ヲ拂ヒ後日ニ支障ヲ貽ササル様留意スヘキモノトス。

七 納稅告知書發付後増額ヲ要スルトキハ追加告知書ヲ發付シ減額ヲ要スルトキハ更ニ納稅告知書ヲ調製シ爰ニ交付シタル告知書ト引換ヲ爲シ收納簿ニ其ノ旨附記スヘキモノトス(收納簿記)。但シ納期日ノ變更ニ依リ法定納期分ノ税金ヲ隨時收入ニ組替フヘキ場合ニハ定期ノ納額ヲ減シテ更ニ隨時收入ノ分ニ記入スヘキモノトス。

八 納稅告知書ノ調製上注意スヘキ事項概ネ左ノ如シ

- (一) 納金額ハ成ルヘク正確ニ記載シ訂正ヲ爲スヲ得サルモノトス。
- (二) 納期日ハ納期ノ末日ヲ記載スルヲ通則トスト雖市町村ハ税金ノ取纏上必要トスルトキハ納期末日ニ接近シタル適當ノ日ヲ指定スルコトヲ得ヘシ。
- (三) 納期ノ末日カ日曜其ノ他ノ公休日ニ相當スルモ其ノ末日ヲ記載スヘキモノトス而シテ實際ノ納稅ハ翌日トナルモ納稅者ハ遲滯ノ責任ヲ生セサルモノトス。

四 納付場所ハ市役所又ハ町村役場ヲ指定スルヲ通例トス但シ市町村金庫ヲ設ケタル場合ハ其ノ本金庫及支金庫ヲ又市公金ノ受拂ノ爲ニスル振替貯金特別取扱ノ方法ニ依レル場合ニ於テハ其ノ市内郵便局ヲ指定スルハ格別トス。

九 納稅告知書ニハ國稅ノミヲ記載スルヲ普通トスルモ前三年間各種ノ國稅府縣稅市町稅ヲ通シテ各納期限迄ニ完納シタル市町村ニシテ之カ併記ヲ爲スモ納人ニ苦痛ヲ與ヘサルモノト認ムル場合ニハ府縣知事ハ其ノ市町村ノ申請ニ依リ國稅ノ納稅告知書ニ府縣稅、市町村稅ノ併記ヲ認可スルコトアルヘシ(納稅告知書式備考第六號及大正二
年大藏省訓令第九號)

納稅告知書式(國稅徵收法施行
細則第三號書式)
用紙適宜

納稅告知書

第何號	何年度租	何年何期分	何市町村大字何々番地	某納
一金何程	昭 和 何 年 何 月 何 日	何年何期分	何市町村長何某	稅(目)
右何年何月何日限何役場へ納付				

領收證書

第何號	何年度租	何年何期分	何郡市何町村大字何々番地	某納
一金何程	昭 和 何 年 何 月 何 日	何年何期分	(領收者氏名) 印	稅(目)
取任印				

備考

- 一 市町村ニ於テ稅金ノ取扱上必要アルトキハ領收證書ノ外別符ヲ附スルモ妨ナシ
 - 二 同一納期ノ畑租及雜地租ハ之ヲ並記シ其ノ左傍ニ合計額ヲ掲記スルモノトス
 - 三 省 署
 - 四 省 署
 - 五 省 署
 - 六 國稅ト同一納期タル北海道地方稅、府縣稅市區町村稅ヲ併記セムトスルトキハ道廳長官又ハ府縣知事ノ認可ヲ得ルコトヲ要ス(大正二年大藏省令
第一二號ニテ追加)
- (注意)
- 一 納稅告知書ノ發付年月日及市町村長名下ノ印ハ市町村長ノ文字ノ表示セル日附印又領收年月日及領收者名下ノ印ハ收入役及領收ノ文字ヲ表示セル日附印ヲ以テ代用スルモ差支ナシ

二 納稅告知書ノ金額ヲ數字ニテ記載シ其ノ他様式ヲ變更セムトスルトキハ地方廳ヲ經由シ大藏大臣ニ申請シ其ノ認可ヲ受クヘキモノトス

第四節 税金ノ領收及保管

一 市町村ニ於ケル國稅事務ハ自治團體ノ代表機關タル市町村長ノ管掌スヘキハ勿論ナリト雖國稅金ノ出納事務ハ市制第九十七條、町村制第八十條ニ依リ收入役ニ於テ之カ取扱ヲ爲スヘキモノトス。

二 市町村ニ於テ國稅ヲ徵收シタルトキハ國稅徵收法施行規則第四條ニ依リ領收證ヲ納稅者ニ交付シ同時ニ收納簿ニ領收濟ノ記帳ヲ爲スヘキモノトス。

三 税金ハ現金ヲ以テ納付スルヲ本則トスルモノナルモ大正五年法律第十號ニ依リ證券ヲ以テ納付スルコトヲ得ルモノトス。

四 租稅其ノ他ノ歲入ノ納付ニ使用シ得ル證券ハ左ニ掲クルモノニシテ其ノ金額ヲ超過セサルモノニ限ルモノトス(但シ無記名國債證券ノ利札ニシテ資本利子稅ヲ課セラルルモノナルトキハ資本利子稅ニ相當スル金額ヲ超過スルモ差支ヘナシ)尙右證券ヲ以テ納付シ得ル歲入ノ種目等ニ付テハ制限アルモ市町村ノ徵收スヘキ國稅ニ付別ニ制限セラルルモノナク總テ證券ヲ以テ納付シ得ルモノトス。

(一) 政府ノ振出シタル小切手ハ其ノ振出日付ヨリ一箇年ヲ經過セサルモノニシテ且裏書禁止ノ旨記載ナキモノタルコト。

前項以外ノ小切手ハ左ニ掲クル銀行ニ宛テタルモノニシテ且振出人ニ於テ支拂拒絕證書ノ作成ヲ免除シタルモノナルコト。

(イ) 特別ノ法律ニ依リ設立セラレタル銀行(本店及支店)

(ロ) 手形交換所加入銀行(當該本店若ハ支店ニ限ル)

(ハ) 國庫金出納事務ノ取扱ニ付日本銀行ノ代理店タル銀行(同上)

(ニ) 道府縣本金庫ノ事務ヲ取扱フ銀行(同上)

(ホ) 朝鮮ノ道金庫、臺灣ノ州金庫、應地方廳費金取扱所又ハ關東州ノ地方費現金取扱所ノ事務ヲ取扱フ銀行(同上)

(ヘ) (ロ)乃至(ホ)ニ該當スル銀行ノ所在地ニ在ル同一銀行ノ支店

右歲入ノ納付ニ使用シ得ル小切手ニ付テハ左ノ條件アリ

一通ノ金額又ハ一口ノ歲入納付ニ使用スル合計金額百圓以上ナルトキハ支拂銀行ノ支拂保證ヲ要スルコト但シ日本銀行本支店又ハ國庫金出納事務ノ取扱ニ付日本銀行ノ代理店タル銀行ニ宛テタルモノニシテ之ヲ日本銀行ニ納付スルトキ及歲入納付ノ告知ヲ爲ス官署カ保證人又ハ擔保物アル歲入ニシテ其ノ告知額ヲ納付スルモ直ニ保證證書又ハ擔保物ノ返還ヲ要セサルモノニ付支拂保證アルコトヲ要セサル旨ノ承認ヲ與ヘタルトキニハ支拂保證ヲ要セス。

- (一) 日本銀行本支店又ハ國庫金出納事務ノ取扱ニ付日本銀行ノ代理店タル銀行(當該本店若ハ支店ニ限ル)ニ宛テタル一覽拂ノ爲替手形ニシテ無記名式又ハ記名持參人拂ノモノ但シ振出人ニ於テ少拂拒絕證書ノ作成ヲ免除シタルモノナルコトヲ要ス(本證券ハ日本銀行ニアラサレバ受領セサルモシニシテ市町村ノ取扱フヘキ範圍外ナリ)
- (二) 無記名國債證券ノ利札ニシテ支拂期ノ到達シタルモノ但シ資本利子税法第五條第一號ノ規定ニ依リ資本利子税ヲ課セラレサルモノハ市町村ニ於テ納人ヨリハ受理スルコトヲ得ス
- (三) 宮内省ノ支拂命令又ハ保管金引出切符ニシテ納人ノ爲發行シタルモノ
- (四) 郵便通常爲替證書ニシテ歳入ヲ納付スヘキ官署、日本銀行、市町村ヲ受取人ト爲シタルモノ又ハ郵便小爲替證書ニシテ歳入ヲ納付スヘキ官署、日本銀行、市町村ヲ受取人ト指定シ若ハ受取人ヲ指定セサルモノ
- 以上ノ證券ニシテ左ノ場合ハ該當スルモノハ之カ受領ヲ拒絕スルコトヲ得
 - (一) 呈示期間若ハ有効期間ノ滿了ニ近ツキタルモノ又ハ支拂不確實ト認ムルモノ
 - (二) 證券ノ支拂場所カ受領者ノ所在地ニ在ラサルモノ但シ支拂場所カ受領者ノ拂込又ハ送付ヲ爲ス日本銀行本支店又ハ代理店ノ所在地ニ在ルモノハ此ノ限ニ在ラス(以上大正五年勅令第二百五十六號同年大藏省令第三十號同年大藏省令第三十一號)
- 五 前項歳入ノ納付ニ使用シ得ル證券中市町村ノ受領スヘキ範圍ニ屬スルモノ左ノ如シ。
 - (一) 市及之ニ接續スル町村
 - (二) 小切手ノ振宛先タルヘキ銀行ノ所在地タル町村
以上ノ市町村ニ於テハ爲替手形以外ノ全部ノ證券
 - (三) 其ノ他ノ町村ニ於テハ政府以外ノ者ノ振出シタル小切、爲替手形以外ノ全部ノ證券(大正五年大藏省令第三十號第四條同一年大藏省令第三十一號第四條)

- 六 證券ヲ以テ歳入ヲ納付セムトスル者ハ其ノ證券ノ裏面ニ記名捺印シ納稅告知書、納入告知書、納付書等ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ之ヲ添付シ指定ノ場所ニ納付スヘキモノトス(大正五年大藏省令第三十二號第一條)
- 七 資本金利子税ヲ課セラルヘキ無記名國債證券ノ利札ハ資本利子税ニ相當スル金額ヲ控除シタルモノヲ以テ納付金額トスヘキモノトス(大正五年大藏省令第三十二號第一條ノ二)
- 八 市町村ニ於テ證券ヲ受領シタルトキハ現金ニ準シテ取扱ヒ歳入金ノ領收證書ニハ「證券受領」ノ印章ヲ捺捺シ尙歳入金ノ一部分ヲ證券ヲ以テ受領シタル場合ニハ其ノ證券金額ヲ附記スルモノトス(同上第一項、第二條)
- 九 受領證券中無記名國債證券ノ利札アルトキハ「國債利札」ノ印章ヲ捺捺シ其ノ納付金額ヲ附記スルモノトス(同上第二條)
- 十 證券ヲ受領シタルトキハ遲滯ナク其ノ支拂人ニ呈示シテ支拂ノ請求ヲ爲スヘキモノトス但シ左ノ各要件ヲ具フルモノハ證券ノ裏面ニ

何市町村 取扱

字體楷書
寸法曲尺 縱一寸
橫五分

ノ朱印ヲ押捺シ左ノ仕譯書ヲ添付シ證券ノ儘日本銀行ニ送付スルコトヲ得

(一) 持參人ニ支拂ハルヘキモノニシテ其ノ支拂場所カ日本銀行本支店又ハ代理店所在地ニ在ルモノ

(二) 日本銀行ニ到達後呈示期間又ハ有効期間ノ滿了迄ニ三日以上ノ餘裕アルモノ

用紙適宜 輪廓寸法曲尺 縱 四寸五分
橫 三寸三分

證券仕譯書 第 號

種類	枚數	券面金額
小切手		
國債 利ノ券 札		
省拂 内仕令 宮ノ命		
金切 管出 同保引符		
爲書 便證 郵替		
合計		
年 月 日		
何市町村長氏名印		

備考

- 一 本書記載事項ニ訂正ヲ加ヘタルトキハ市町村長其ノ認印ヲ押捺スルモノトス
- 二 本書ハ正副二通ヲ作り副本ハ送付金前ニ對スル日本銀行ノ領收證書ニ添付シ置グモノトス
- (同上 第三條)

三 國債證券ノ利札ハ券面金額欄ニ納付金額ヲ記載シ資本利子税ニ相當スル金額ヲ外書スルモノトス

(同上第二條)

九 前項證券ヲ以テ日本銀行ニ送付スヘキ場合ニハ郵便局ノ取扱フヘキ範圍ニ於テ郵便局ニ送付スルコトヲ得ルモノニシテ郵便局ノ取扱フヘキ範圍ハ第四項ノ證券中左ノ分ヲ除外シタルモノトス。

(一) 爲替手形

(二) 政府以外ノ者ノ振出シタル小切手ニシテ納付スヘキ郵便局所在地ノ手形交換所ニ加入セサル銀行ニ宛テタルモノ但シ其ノ手形交換所ニ加入セル銀行ノ所在地ニ在ル同一銀行ノ支店ニ宛テタルモノヲ除ク

(三) 郵便爲替證書ニシテ納付スヘキ郵便局以外ノ郵便局ヲ拂渡郵便局トシテ指定シタルモノ

(四) 政府以外ノ者ノ振出シタル小切手又ハ郵便爲替證書以外ノ證券ニシテ其ノ支拂場所カ納付スヘキ郵便局ノ所在地ニ在ラサルモノ (大正五年大藏省訓令第十三號第一條) (同年大藏省令第三十一號第三條)

一〇 受領シタル證券ヲ呈示期間又ハ有効期間内ニ支拂人ニ呈示シタルモ支拂ノ拒絶アリタルトキ (證券ヲ本銀行又ハ郵便局ニ送付後支拂拒絶アリタル場合ヲ含ム) ハ歳入ハ初ヨリ納付ナカリシモノト看做スヘキモノトス (大正五年勅令第二百五十六號第二條) 之ニ伴フ手續ヲ舉クレハ左ノ如シ

(一) 市町村ハ其ノ支拂ナカリシ金額ニ相當スル領收濟額ヲ取消シ納人ニ對シ前ニ發付シタルト同一納期

日ノ納稅告知ヲ送付スルモノトス但シ領收濟額取消ノ日カ歳入金ノ納期日後ニ屬スルトキハ此ノ限ニ在ラス(大正五年大藏省令第三十二號第六條)

(二) 支拂ナカリシ證券ニ付テハ市町村ハ納人ニ對シ遲滯ナク書面ヲ以テ證券ノ支拂ナカリシ旨及其ノ證券ノ還付ヲ請求スヘキ旨ヲ通知スヘキモノトス此ノ場合ニ於テ通知書ヲ受クヘキ者其ノ受取ヲ拒ミタルトキ又ハ住所居所不明ナルトキハ通知書記載ノ要旨ヲ官報ニ公告スルモノトス但シ市町村ノ揭示場ニ七日間揭示シテ之ニ代フルコトヲ得(大正五年勅令第二百五十六號第三條第一項) (第二項同年大藏省令第三十二號第七條)

(三) 支拂ナカリシ證券ノ還付ヲ受ケムトスル納人ハ其ノ證券ヲ納付シタル市町村役場ニ就キ之カ請求ヲ爲スヘク市町村ハ領收證書ヲ徵シ之ト引換ニ證券ヲ還付スヘキモノトス但シ通知書ヲ發シタル日又ハ公告ヲ爲シタル日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ還付ヲ請求スルコトヲ得サルモノトス。(大正五年勅令第三條第三項同年大藏省令第三十二號第八條) (二百五十六號第三條)

(四) 郵便ニ依リ納付シタル證券ニシテ受領スヘカラサルモノ又ハ受領シタル證券ニシテ偽造變造若ハ違式ナルモノニ付テハ前各號ノ手續ヲ準用スルモノトス(大正五年大藏省令第三十二號第九條)

(五) 市町村ノ日本銀行又ハ郵便局ニ送付シタル證券ニシテ支拂拒絶アリタルトキハ日本銀行ハ領收濟額取消通知書ヲ送付スルト共ト證券ヲ返付スヘク郵便局亦同様ナルルヲ以テ此ノ場合ニハ其ノ受領證書ヲ日本銀行又ハ郵便局ニ送付スルモノトス(同上第五條第二項第三項同年大藏省訓令第十三號第一條第二項)

一一 證券ノ呈示期間若ハ有効期間ヲ經過シタル爲支拂ヲ受クルコトヲ得サル場合又ハ證券ヲ亡失シタル場合ニ於テハ市町村ハ證券ノ種類ニ從ヒ直ニ當該法規ノ所ムル所ニ依リ必要ナル手續ヲ爲シ支拂又ハ償還ノ請求ヲ爲スヘキモノトス但シ市町村ハ支拂又ハ償還ヲ受クルニ先タチ之ニ相當スル金額ヲ日本銀行ニ送付スルコトヲ得(同上第十條)

一二 亡失シタル證券又ハ呈示期間若ハ有効期間ヲ經過シタル證券ニシテ支拂又ハ償還ヲ受クルコトヲ得サリシモノノ金額ニ付テハ市町村ハ避クヘカラサル事由ヲ證明スルニアラサレハ其ノ責任ヲ免ルルコトヲ得サルモノトス(同條第十一條)

一三 市町村ハ其ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ依リ證券金額ノ支拂又ハ償還ヲ受クルコトヲ得サルトキハ責任ノ免除ヲ請フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ地方長官ヲ經由シ大藏大臣ニ申請書ノ提出ヲ要スルコト現金亡失ノ場合ニ異ナラス(大正五年法律第十號第三條第二項) (同年勅令第二百五十六號第七條)

一四 市町村ニ於テ領收濟額ヲ取消シタルトキハ國稅金收納簿當該納人ノ口座ニ其ノ金額、事由及年月日ヲ朱書登記スルモノトス(大正五年大藏省訓令第十三號第三條)

一五 市町村ハ受領證券仕譯簿ヲ備ヘ納人別ニ證券ノ種類、記號、番號、金額、振出人ノ氏名其ノ他必要ナル事項ヲ記載シ其ノ受入、支拂請求、拂込又ハ還付ノ年月日ヲ記入整理シ證券ニ關スル一切ノ受拂ノ顛末ヲ明瞭ナラシムルモノトス(大正五年大藏省令第三十二號第十三條第二項) (項同年大藏省訓令第十三號第五條第二項)

一六 國庫ニ送付以前ニ於ケル現金及支拂請求又ハ送付以前ニ於ケル證券ノ保管方法ニ付テハ別段規定ノ存スルモノナキカ故ニ市町村ニ於テ其ノ適當ト認ムル所ニ依ルヘシト雖藏置方法ヲ完全ニスルト共ニ之カ監守ヲ嚴ニシ以テ不測ノ辨償責任ヲ負フニ到ルカ如キコトヲ避クル様十分留意スヘキモノトス。

第五節 税金ノ送付

一 市町村ニ於テ徵收シタル税金ハ送付書ヲ添ヘ漸次之ヲ日本銀行ニ送付スヘキモノトス尙之カ送付ハ納期後七日ヲ過クルコトヲ得サルモノトス(國稅徵收決施行規則第五條)

二 税金ハ日本銀行ニ送付スルヲ原則トスルモ大正四年勅令第六號及同年一月大藏省令第一號ニ命リ郵便局ニ送付スルコトヲ得ルモノトス

三 日本銀行ニ送付セシムルトキハ稅務署長ハ當該市町村ノ便宜ト認ムル日本銀行支店又ハ代理店ヲ指定スヘキモノニシテ又郵便局ニ送付セシムルトキハ其ノ市町村内又ハ最寄ノ郵便局ヲ指定スヘキモノナルモ是等送付場所ノ指定ニ付テハ稅務署長ハ市町村ト協定スヘキヲ以テ市町村ハ其ノ便宜ト認ムル場所ヲ選擇スルコトヲ得ヘシ但シ稅務署長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ特ニ送付場所ヲ指定スルコトアルヘシ(國稅徵收法施行規則第二條ノ二大正四年大藏省訓令第一號第六條)

四 市町村ハ前項ニ依リ納額通知書ニ指定セラレタル場所ニ必ス送付スヘキモノトス若シ送付場所ノ變更ヲ要スル場合ニハ稅務署長ニ之カ變更ヲ求ムルモノトス(同上)

五 日本銀行ニ送付スル場合ニハ左記甲號書式、郵便局ニ送付スル場合ニハ左記乙號書式ノ送付書ヲ添付スルモノトス。

六 稅務署所在地ノ日本銀行支店又ハ代理店ニ送付スル場合ニ於テハ税金送付ニ先チ稅務署ニ就キ納額、年度、科目等ノ照合ヲ遂ケ納額ノ過不足其ノ他誤謬ナキヲ期スルヲ要ス。

七 稅務署所在地外ノ日本銀行支店、代理店又ハ郵便局ニ送付スル向モ相當ノ方法ニ依リ精査ヲ遂ケ錯誤ヲ避クルト共ニ若シ稅務署ヨリ日本銀行又ハ郵便局ニ通知シアル納額其ノ他ト符合セサル場合ニハ之カ事由ノ説明ヲ求メラルルコトアルヘキヲ以テ明瞭ニ之ヲ説明スルノ準備アルヲ必要トス尙郵便局ニ送付スヘキ場合ニ於テ注意スヘキ事項概ネ左ノ如シ

- (一) 送付書各片ノ金額、年度、科目、納期等相一致スルコト
- (二) 取纏郵便局ハ稅務署所在地ヲ集配受持區域トスル郵便局名ヲ記載スルコト
- (三) 用紙下方ノ一邊ヲ青ク著色スルコト
- 八 日本銀行ノ取扱時間及郵便金ノ取扱時間ハ左ノ通ナルヲ以テ其ノ時間内ニ送納スル様留意スルヲ必要トス
 - (一) 日本銀行ノ取扱時間
 - 日本銀行本店又ハ支店ノ取扱時間ハ銀行ノ定メタル營業時間ニ依ルヘキモノニシテ日曜祭日其ノ他一般休日ヲ除キ一箇年ヲ通シテ午前九時ヨリ午後三時迄トス

日本銀行代理店ノ取扱時間ハ各其ノ銀行ノ定メタル營業時間ニ依ルモノナルヲ以テ地方ニヨリ多少ノ相違アルハ免レサルモノトス又地方ノ祭日其ノ他ノ事故ニヨリ臨時休業スルコトアルヘキモ納期末日又ハ送納期限ニ該當スル場合ハ豫メ所轄稅務署ノ交渉ニヨリ國庫金ノ受入ニ限之カ取扱ヲ爲スヘキモノトス

(二) 郵便局ノ取扱時間(大正十三年七月選信省告示第九百四十七號)

郵便局ノ現金取扱ハ日曜日一般ノ祭日、祝日及一月一日ヨリ三日ニ至ル休暇日ヲ除キ左ノ時間ニ依ルモノトス

四月一日ヨリ七月二十日迄

午前八時ヨリ午後四時ニ至ル
但シ土曜日ハ午後三時迄トス

七月二十一日ヨリ八月三十一日迄

午前八時ヨリ正午十二時ニ至ル

九月一日ヨリ十月三十一日迄

午前八時ヨリ午後四時ニ至ル
但シ土曜日ハ午後三時迄トス

十一月一日ヨリ三月三十一日迄

午前九時ヨリ午後四時ニ至ル
但シ土曜日ハ午後三時迄トシ十二月二十九日ヨリ同三十一日迄ノ期間ハ日曜日又ハ土曜日ト雖午前九時ヨリ午後四時ニ至ル

九 税金ノ送納ハ納期後七日ヲ過クルコトナカルヘシト雖納期限後七日目カ日曜日又ハ大祭祝日ニ相當スルトキハ其ノ翌日送付スルモ送納ノ遲滞トナラサルモノトス尙日本銀行郵便局共送付期日後ト雖送付額ノ領收ヲ取扱フモノトス。

一〇 市町村カ納稅者ヨリ國稅ヲ徵收スルニ當リ過誤徵收シタル場合又ハ徵收後賦課減免等ノ事由ニ依リ減額通知ヲ受ケ過納トナリタル場合ニ於テハ當該過納金ハ市町村限納稅者ニ拂戻スヘキモノニ非スシ必ス國庫ニ送納スヘキモノトス。
前項ニ依リ送納シタル場合ハ過納トナリタル稅目、金額、領收月日、納稅者ノ住所氏名及過納トナリタル事由ヲ稅務署長ニ報告シ還付又ハ充當ノ取扱ヲ爲スヘキモノトス

送付書式 (甲號) (國稅徵收法施行細則第四號書式)

用紙適宜 縱四寸五分 横三寸三分 三枚接續

何年度	何市町村
大藏省主管	何稅務署
租稅	何稅(項)
一金何程	何年何期分
右送付候也	稅(目)
昭和何年何月何日	

納入濟書

何年度	何市町村	何稅務署	租	稅	何稅(項)
大藏省主管	何市町村	何稅務署	租	稅	何稅(項)
何年何期分	何	何	稅	(目)	
昭 and 何年何月何日納入濟	日本銀行何店印				

領收證書

何年度	何市町村	何年何期分	何稅(目)
一金何程	何	何	稅(目)
昭 and 何年何月何日領收	日本銀行何店印		

備考

- 一 納入濟書及領收證書用紙ノ金額年度科目等ハ總テ市町村ニ於テ記入スルモノトス
- 二 同一納期ノ畑租及雜地租ハ之ヲ並記シ其ノ左傍ニ合計額ヲ掲記スルモノトス

送付書式

(乙號)

(大正四年一月大藏省訓令第一號第六號書式)

用紙寸法各片 縱六寸 輪廓寸法各片 縱四寸五分 橫四寸 橫三寸三分

送付傳票

第何號	何年度	何市町村	(區)	町村
大藏省主管	租	稅	務	署
何年何期分	何	稅	(目)	
領收附日印				

送付書

第何號	何年度	何市町村	(區)	町村
大藏省主管	租	稅	務	署
何年何期分	何	稅	(目)	
領收附日印				

領收通知書

第何號	何年度	何市(區)町村
大藏省主管租稅	何稅務署	
一金何程	何年何期分	何稅(目)
「何郵便局出納官吏」(又ハ何郵便局出納官吏所屬出納員) 官 氏 名 印		
取纏郵便局		
領日	附印	

領收證書

第何號	何年度	何市(區)町村
大藏省主管租稅	何稅務署	
一金何程	何年何期分	何稅(目)
「何郵便局出納官吏」(又ハ何郵便局出納官吏所屬出納員) 官 氏 名 印		
領日	附印	

備考

- 一 送付傳票領收通知書領收證書用紙ノ金額年度科目及纏郵便局名等、總テ市(區)町村ニ於テ記入スルモノトス。
 - 二 同一納期ノ畑租及雜地租ハ之ヲ並記シ其ノ左傍ニ合計額ヲ掲記スルモノトス。
 - 三 用紙ハ下方ノ一邊ヲ著色(青)スルモノトス。
- (注意) 送付書ニハ其ノ市町村名ノミヲ記載スヘク市町村長ノ記名又ハ之カ調印ヲ要セサルモノトス。

第六節 滯納報告

- 一 市町村ハ納期内ニ税金ヲ徵收シ得サリシモノハ後記ノ書式ニ依リ速ニ其ノ住居所氏名、納金額及滯納ノ事由ヲ稅務署ニ報告スヘキモノトス(國徵稅收法施行規則第七條)。
- 二 滯納報告後市町村ニ於テ徵收シタルモノアルトキハ直ニ滯納報告ノ取消ヲ稅務署ニ求ムヘキモノトス尙右ハ己ムヲ得サル例外ノ場合ニ限ルモノニシテ納期經過後際限ナク市町村ニテ徵收スルカ如キハ弊害ヲ生スルヲ以テ遅クモ送納期日迄ニ徵收ヲ打切ルコトニ留意スヘキモノトス。
- 三 稅務署ニ於テ繰上徵收ヲ爲シタル税金ニ付テハ滯納處分上急ヲ要スルヲ以テ其ノ納期日迄ニ徵收ヲ了セサルトキハ直ニ滯納報告ヲ爲スコトニ留意スルヲ要ス。
- 四 滯納報告書ノ調理ニ付テハ左ノ各項ニ注意スヘキモノトス。

- (一) 滞納報告額ハ稅務署ヨリ通知ノ納額ヨリ異動ニ因ル増減額ヲ加減シ送納額ヲ差引キタル殘額ニ符合スルコト。
 - (二) 納稅管理人アルトキ及相續財團又ハ不在者ニシテ財產管理人アルトキハ其ノ住所氏名ヲ記載スルコト。
 - (三) 相續ノ開始アリタルトキハ其ノ原因並被相續人及相續人ノ氏名ヲ記載スルコト。
 - (四) 公共團體、大字、字、社寺等ノ滞納ニ係ルモノハ其ノ管理人代表者ノ氏名ヲ記載スルコト。
 - (五) 納稅告知書ヲ公示送達シタルトキハ「滞納ノ事由及參考事項」欄ニ公告年月日及其ノ事由ヲ記載スルコト。
 - (六) 滞納ノ事由及參考事項ハ詳細記載スルコト。
 - (七) 滞納報告書式ハ仙臺稅務監督局管内市町村ニ於テハ各縣知事ト協議ノ結果左記ノ通様式ヲ一定スルコトニナリ居ルヲ以テ市町村ハ該用紙ニ記載提出スヘキモノトス而シテ該用紙ニ記載シタル滞納報告書ハ直ニ稅務署ノ帳簿ニ充用スルモノニ付成ルヘク鄭重ニ記載スルコトヲ要ス。
- 滞納報告書式(滞納額整理簿充用) (縣知事ト協議設定ノ分)

何年 何月 何日 市町村長 氏 名 印

昭和何年度何稅第何期分滞納報告書

督促 番號	督促 指定 月日	督促 手數料		稅 額	滞納ノ事由 及參考事項	顛 末	住 所		氏 名
		延 滞 金	滞 納 處 分 費				字 番 地	大 字	
				10000	、 、 、		、 、 、	、 、 、	何 某
				5000	、 、 、		、 、 、	、 、 、	何縣郡市町村番地 何某納稅管理人 某
				3000	、 、 、		、 、 、	、 、 、	何某相續人 某
				2000	、 、 、		、 、 、	、 、 、	何 某
計				20000					何 人

(注意) 一 畑、雜地租ニ付テハ稅額欄ヲ畑、雜地、計三欄ニ區劃シ記載スルモノトス。
 二 稅額滞納ノ事由住所氏名欄ノ外ハ稅務署ニテ記入スヘキモノニ付市町村ニ於テハ記載セサルコト。

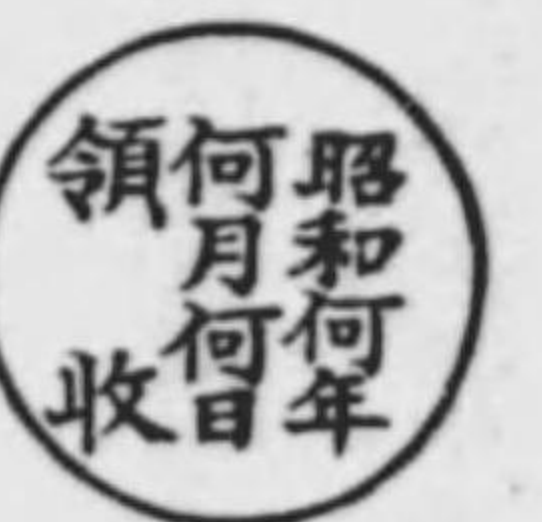
第七節 諸帳簿整理

一 收納簿及收納集計簿

- 一 收納簿及收納集計簿ハ國稅徵收ノ事項ヲ登載スル帳簿ニシテ會計年度毎ニ新調シ精密ニ且遲滯ナク之カ整理ヲ爲スヘキモノトス。
- 二 收納簿整理ノ順序ハ稅務署ノ納額通知ニ基キ(一)地租ハ地租名寄帳(二)第三種所得稅、個人營業收益稅、乙種資本利子稅及個人臨時利得稅ニ在リテハ一人別納額調書ニ依リ納人別ニ納額ヲ掲上シ精算ノ上差違ナキヲ認メ之ニ依テ納稅告知書ヲ調製發付シ稅金ヲ領收シタルトキハ其ノ時々月日及領收ノ旨ヲ記入シ最モ正確ニ整理スヘキモノトス。
- 三 收納集計簿整理ノ順序ハ納稅告知書ヲ發シタルトキ其ノ總額ヲ登載シ爾後納額ノ増減、稅金ノ領收、送付又ハ滯納報告ヲ爲シタルトキ毎日取纏テ其ノ日計額及差引未納額ヲ登載シ常ニ收納簿當日ノ一人別集計額ト符合スル様是亦正確ニ整理スヘキモノトス。
- 四 收納簿ヲ整理スルニ當リテハ領收月日印ノ欄ニ月日及領收ノ旨ヲ記載スル代リニ領收日附印ヲ押捺スルコトヲ得尙納金幅轉シ時々記入ヲ爲スコト能ハサルトキハ納稅告知書ノ原符ニ依リ領收事務閉鎖ノ後登記シ精算ヲ爲スモ妨ケナカルヘシ又市町村金庫等ヨリ領收濟ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク帳簿ニ記入整理スヘキモノトス日附印ノ形式一二ヲ示セハ左ノ如シ



大正二年八月
島縣ニ於テ
認可ヲ受ケタ
ル分



明治三十七年
四月廣島縣ニ
於テ認可ヲ受
ケタル分

五 收納集計簿ヲ整理スルニ當リテハ毎日納稅告知書ノ原符又ハ市町村金庫等ノ通知書ニ各科目納期別ニ金額枚數ヲ記載シタル日計箋ヲ附シ尙收納簿當日ノ集計額ト對照シ之ニ依テ帳簿ニ記入整理ヲ爲スヲ便トス。

六 收納簿ハ納期ノ一定セルラルモノハ其ノ稅目毎(但シ租、雜地)ニ各別冊ニ又隨時收入ノ分ハ各稅目ヲ一括シテ一冊ニ調製スヘキモノトス。
(租ハ二科目併記)

收納簿及收納集計簿式 (明治二十七年大藏省訓令第十一號)

記簿凡例

第一號 收納簿

- 一 納期ノ一定セル國稅金ハ名寄帳又ハ納額通知書ニ添付スル一人別調書ヨリ①印ノ如ク移記シ其ノ合計ヲ納額通知書ノ金額ト對照シ差異ナキヲ認メタル後納稅告知書ヲ作り發付スルモノトス(四十二年訓令第一〇號ニテ改正)。
- 二 増額ノ爲追加納額通知書ヲ受ケタルトキハ②印ノ如ク記載スヘシ但シ其ノ納稅告知書ノ發付ニ付テハ前項ニ同シ(同上)。
- 三 減額ノ通知ヲ受ケタルトキハ③印ノ如ク朱記シ其ノ納稅告知書ヲ再發スルモノトス(同上)。

- 四 税金ヲ領收シタルトキハ㊦印ノ如ク記載シ納入役認印スルモノトス(同上)。
- 五 滞納者ノ報告ヲ爲シタルトキハ一人別ニ㊧印ノ如ク朱記スルモノトス(同上)。
- 六 地租ニ關シテハ納期毎ニ地租名寄帳ノ地租額ニヨリ當該期ノ納額ヲ計算テ掲記スルモノトス(四十年訓令第九號ニテ改正)。

七 地租ノ收納簿ニハ末尾ニ毎納期ノ租額合計ヲ附シ異動アル毎ニ之ヲ整理シ之ニ依リ稅務署ニ地租ノ納額ヲ報告スルモノトス(同上)。

(注意) 地租ノ毎納期合計ニハ租額ノ外納稅告知書發付數ヲモ記載シ異動アル毎ニ之ヲ整理シ之ニ依テ市町村交付金ニ關スル納稅告知書發付數ヲ通報スルヲ便トス。

第二號 隨時收入諸稅收納簿

- 一 隨時收入ニ係ル國稅ノ納額通知書ヲ受ケタルトキハ㊨印ノ如ク記載スヘシ但シ其ノ納稅告知書ヲ作り發付スルハ第一號ニ同シ(四十三年訓令第一〇號ニテ改正)。
 - 二 國稅金ヲ領收シタルトキ㊩印ノ如ク記載スルモノトス。
- 第三號 國稅金收納集計簿
- 一 本簿ハ日々收納簿ヘ登記セシ金額ヲ集計シテ記載スルモノトス。
 - 二 納稅告知書ヲ發セシトキハ㊪印ノ如ク記載シ増額ノ爲追加納稅告知書ヲ發セシトキハ㊫印ノ如ク記載シ減額ノ通知ヲ受ケタルトキハ㊬印ノ如ク(其ノ金額ハ)朱記スルモノトス(四十三年訓令第一〇號ニテ改正)
 - 三 日々領收スル國稅金ハ㊭印ノ如ク記載シ納額ヨリ領收額ヲ控除セシ差額ヲ未納ノ區ヘ記入スルモノトス(同上)
 - 四 國稅金ヲ日本銀行ヘ送付スルトキハ㊮印ノ如ク(金額ハ領收ノ區ヘ)朱記スルモノトス(大正十一年訓令第八號ニテ改正)
 - 五 滞納報告ヲ爲シタルトキハ㊯印ノ如ク(金額ハ納額ノ區ヘ)朱記スルモノトス

(別記)

(第一號)

昭和何年度 國稅金收納簿

(本簿ハ畑租及雜地租ノ第一、二期ヲ除ク外目毎ニ調製スヘシ但シ本簿ハ便宜之ヲ洋式ト爲シ又其ノ紙數少キモノハ合綴シ見出ヲ付スルモ妨ケナシ)

何 市 (區)	役 所
何 郡	
何 町 (村)	役 場

備考

- 一 畑租及雜地租ハ第一樣式田租、第三種所得稅、臨時利得稅ハ第二樣式宅地租、營業收益稅、資本利子稅ハ第三樣式第三種所得特別稅、臨時利得特別稅ハ第四樣式ニ據ルモノトス。
- 二 北海道地租、沖繩縣地租、鹿兒島縣下大島郡ノ内大島外十四島ノ地租ハ本號樣式ニ準シ適宜調製スルモノトス。

(第三號)

昭和何年度
國稅金收納集計簿

(本簿ハ毎納期各日隨時收入ハ項毎ニ區分シ合綴シテ見出ヲ附スヘシ但シ本簿ハ洋式ト爲スコトヲ妨ケズ)

何市(區)役所
何郡
何町(村)役場

第一期 畑 租		年 月 日	摘 要	納 額	領 收 額	未 納 額
何	何	何	告知書發付	① 八五三 ^四 三五〇	③ 八五三 ^四 三五〇	八五三 ^四 三五〇
何	何	何	領 收 濟		③ 五六一三〇	三二七 ^一 三〇
「何	何	何	「減額通知」	④ 一三五〇〇		三〇四 ^六 二〇
何	何	何	領 收 濟		③ 二四六二〇	
「何	何	何	「日本銀行何店へ送付」		④ 八四〇七五〇	

第二期 畑 租		年 月 日	摘 要	納 額	領 收 額	未 納 額
何	何	何	告知書發付	① 八七〇 ^四 五〇〇	③ 八七〇 ^四 五〇〇	八七〇 ^四 五〇〇
何	何	何	領 收 濟		③ 四八六 ^二 五〇	三八四 ^二 五〇
何	何	何	増額ノ分告知書發付	④ 五八七〇		三九〇 ^二 二〇
何	何	何	領 收 濟		③ 三五七 ^八 七〇	三三二 ^五 〇
「何	何	何	「日本銀行何店へ送付」		④ 八四四 ^二 一〇	
「何	何	何	「何某外何人滯納報告」	⑤ 三三三 ^五 〇		〇

隨時收入 地 租		年 月 日	摘 要	納 額	領 收 額	未 納 額
何	何	何	告知書發付	① 一五三 ^四 五〇		一五三 ^四 五〇

何月何日	領收	済					
何月何日	同				②	三〇〇〇	〇
何月何日	「日本銀行何店へ送付」				④	「一五三〇」	

合 計		年 月 日	摘 要	納 額	領 收 額	未 納 額
何月何日	告知書發付		①	一二七八五〇		一二七八五〇
何月何日	領收		③		一二三五七〇	一二三九〇
何月何日	増額ノ分告知書發付		②	九七三〇		二九八六〇
何月何日	告知書發付		①	一三三〇〇		三四三三六
何月何日	「日本銀行何店へ送付」		④		「一、一三三、一七〇」	
何月何日	領收		③		二二五、二八〇	二二八〇八

何月何日	「減額通知」	①	「一五六〇」			二五五二
何月何日	「日本銀行何店へ送付」			④	「二五、二八〇」	
何月何日	「何人分滞納報告ス」	②	「二五、五〇」			〇

(注意) 郵便局ニ送付シタルトキハ「日本銀行何店へ送付」トアルヲ「何郵便局へ送付」ト記載スルモノトス。

第八節 雜 件
一 施設スヘキ事項

一 第一章第二項ニ於テ説明セル如ク市町村ハ國稅徵收ノ責任ヲ完ウセンカ爲ニ適切ナル施設方法ヲ講シ納稅者ヲシテ納期内ニ任意納付ヲ爲サシメ滞納ノ弊ナカラシムルコトニ留意スヘキモノニシテ此ノ事ニ關シテハ大正三年度ヨリ市町村交付金一般ニ著シク増加セラレタル際同年ノ地方長官會議ニ於テ市町村ハ交付金設定ノ趣旨ニ鑑ミ徵稅上必要ナル各種ノ施設方法ヲ講シテ納稅者ノ利便ヲ圖リ滞納ノ弊ナカラシムルコトニ盡力スヘキキハ勿論國稅徵收ニ關スル諸帳簿ノ整理ヲ完ウシ税金ノ收納保管送付ニ闕缺ナ

キヲ期スル様稅務官廳ト熟議ノ上國稅徵收ニ十分努力セシムヘキ旨大藏大臣ノ訓示アリ次テ同一ノ趣旨ヲ以テ內務省地方局長大藏省主稅局長ヨリ地方長官ニ通牒アリタル所ニシテ更ニ各縣ヨリ郡市長ニ對シ此ノ趣旨ヲ敷衍スルト共ニ市町村ニ於テ施設スヘキ事項ヲ示シ通達スル所アリタリ此ノ事項ハ各縣一定セスト雖共通セル事項ヲ舉クレハ左ノ如シ。

(一) 納稅組合設立ノ補助獎勵

(二) 模範納稅者及成績優良ナル納稅組合ノ表彰

(三) 納稅督勵又ハ出張徵收ノ實行

其ノ他(一)納稅觀念鼓吹ノ爲ニスル講話會ノ開催又ハ印刷物ノ配付(二)稅務取扱者、同事務ヲ補助スル區長使丁等ノ待遇改善及獎勵(三)納稅豫告ノ爲ニスル振鈴打鼓擊柝、旌旗赤球掲揚(四)納稅袋納期一覽表ノ配付等ノ施設ヲ爲スヘキコトヲ以テシタルモノアリ是等ノ施設ハ何レモ有効ニシテ尙納稅金ノ集纏又ハ督勵ニ青年會、在郷軍人分會等ヲ利用スルコト、小學校兒童ノ納稅義務心ヲ涵養スルコト等モ亦頗ル有効ト認メラルルヲ以テ市町村ハ其ノ部内ノ狀況ニ鑑ミ夫々適切ナル方法ヲ講シ以テ前記ノ目的ヲ達スルコトニ努力スルヲ肝要トス。

二 前項ノ外市町村ノ施設トシテ有益ナリト認メラルルモノ概ネ左ノ如シ。

(一) 納稅告知書ヲ發スルニ當リ成ルヘク法定納期日ヨリ短縮シタル期日(多數ノ日子ヲ繰上クルハ豫當ナラサルヲ以テ月末納期ノモノヲ二十五日ト指

定スルカ如キ程度)ヲ指定シ以テ注意督促ヲ周到ナラシムルコト。

(二) 納稅管理人未設定ノモノニ對シテハ速ニ之カ設定ヲ爲サシムルコトニ留意スルト共ニ他市町村ニ於ケル管理人未設定者ニシテ部内ニ居住スルモノニ對シテハ之カ設定方ヲ注意シ以テ各市町村相互ニ之カ設定方ヲ共助スルコト。

(三) 納期ニ際シテハ收納窓口ヲ擴張シ臨時取扱者ヲ増加スル等ノ設備ヲ爲シ納稅ノ爲ニ出頭セル納稅者ヲ長ク待受ケシムルカ如キコトヲナカラシムルコト。

三 市町村金庫ノ設置ハ直接納稅ニ關スル施設方法ニアラスト雖區域廣濶ナル市町村ニ於テハ本局庫ノ外各方面ニ支金庫ヲ設ケ又納期ニ際シ必要ナル方面ニ收納取扱所ヲ設クルコトトセハ納稅者ノ利便少カラサルヘキヲ以テ亦納稅施設ノ一端タルコトヲ得ヘシ。

四 市公金ノ受拂ノ爲ニスル郵便振替貯金特別取扱ハ市ニ限ル制度ニシテ是亦直接納稅施設ニ關スルモノニアラスト雖郵便局ハ其ノ市ノ各方面適當ノ場所ニ配置セラレ居ルヲ以テ納稅者ハ隨意ニ其ノ利便トスル郵便局ニ納付スルヲ得テ納稅上ノ便宜多キヲ以テ單ニ納稅施設トシテ見ルモ頗ル有効ノモノナルヘシ。

五 稅務署管内又ハ其ノ郡内等ノ財務協議會ニ參加シ互ニ事務上ノ研究ヲ爲シ及意思ノ疏通ヲ圖リ又稅務署管内、其ノ郡内若ハ數町村聯合ノ事務互評會トモ云フヘキモノヲ開キ互ニ事務ノ實査批評ヲ爲スカ如キモ有効ナル施設ノ一タルヘシ。

二 注意スヘキ事項

一五〇

一 國稅徵收事務ニ付テハ市町村ト稅務署ト協同一致シ互ニ其ノ狀況ヲ知悉シ適切ナル方法ヲ講スルニアラサレハ成績ヲ擧ケ難キモノアルヲ以テ左ノ如キ場合ニハ市町村ヨリ遲滯ナク稅務署ニ通報スルヲ相互ノ便宜トス。

(一) 水害、海嘯、虫害、天候不良、火災等ノ災害ニ因リ課稅物件ニ被害アリタルトキハ(一)被害ノ原因、程度(二)被害ノ地目毎地積(反別)賃賃價格筆數ノ概略及作物ノ種類(三)國稅納稅者ノ被害狀況(四)國稅徵收上ニ及ホス影響等ヲ速ニ稅務署ニ通報スルトキハ稅務署ハ之ニ依テ適當ナル措置ヲ施スコトヲ得ヘシ。

(二) 納稅者非常ナル災害ニ罹リ租稅減免ニ關スル申請ヲ爲シタルトキハ其ノ被害調査中ハ國稅徵收法第七條ニ依リ稅金ノ徵收猶豫ヲ爲シ得ル外地租ニ付テハ地租法第六十八條ニ依リ徵收猶豫ヲ爲スコトヲ得ヘク又第三種所得稅ニ付テハ所得金額中收入豫算年額二分ノ一以上ヲ減損シ更訂ノ申請ヲ爲シタルトキ營業收益稅ニ付テハ課稅標準ノ半額以上ヲ減シ同上ノ申請ヲ爲シタルトキ徵收猶豫ヲ爲スコトヲ得ヘキヲ以テ是等ノ場合ニハ其ノ事情ヲ稅務署ニ通報スルト共ニ納稅者ニ對シテモ相當方法ヲ示スコトトセハ相互ノ便宜少カラサルヘシ。

(三) 納稅者國稅徵收法第四條ノ一第二號乃至第六號ニ該當シ稅金ノ繰上徵收ヲ爲スヘキ事實ヲ認知シタ

ルトキハ速ニ稅務署ニ通報シ徵收ノ時機ヲ失セサラシムルコトヲ必要トス。

(四) 納稅者朝鮮總督府管内、臺灣總督府管内、樺太廳管内、關東州南洋廳管内又ハ居留民團設置區域ニ居住シ又ハ是等地方ニ移轉シ納稅管理人ヲ定メサルモノニ付テハ明治四十年法律第三十四號ニ依リ稅務署ニ於テ徵收囑託ヲ爲シ得ルヲ以テ、其ノ現居住地其他ノ狀況ヲ稅務署ニ通報スルヲ必要トス。

(五) 納稅告知書書式備考第六號及大正二年大藏省訓令第九號ニ依リ納稅告知書ニ他ノ稅金併記ノ認可ヲ受ケタルトキ並ニ之カ認可ヲ取消サレタルトキハ其ノ旨稅務署ニ通報スルコトヲ要ス。

(六) 其ノ他本章第三節第四項ノ納稅者死亡シ相續人又ハ相續財團ノ財産管理人ナキ場合、同上第五項ノ納稅者轉居又ハ所在不明等ノ場合ニ稅務署ニ通報スルハ勿論トス尙相續財産ノ管理人ナキ場合ニハ非訟事件手續法第十六條ニ依リ市町村長ヨリ檢事ニ通知スルカ又ハ民法第千五十二條ニ依リ市町村長ニ於テ管理人選任ノ請求ヲ爲スヲ相當トス。

二 納稅者死亡其他ノ原因ニ依リ相續開始シタルトキハ稅金ハ相續人又ハ相續財團ヨリ徵收スヘキモノニシテ之カ爲ニ徵收ノ手續ヲ止ムヘキモノニアラス尙戶主死亡以外ノ原因ニ依リ家督相續ノ開始アリタルトキハ被相續人ヨリモ稅金ヲ徵收スルコトヲ得ルモノトス(國稅徵收法第四條ノ三)

三 納稅者所在不明等ノ爲納稅告知書送達不能ノ場合ニ公示送達ヲ爲サシテ滯納報告ヲ爲シ爲ニ稅務署ニ於テ其儘督促及滯納處分ノ手續ヲ遂行スルコトアラハ違法ノ處分トシテ取消ササルヘカラサルノ不都

合ヲ生スヘキニ付必ス適法ノ公示送達ヲ爲スコトニ留意スルヲ要ス尙國稅徵收法第四條ノ八ニ依レハ公
告ノ初日ヨリ七日ヲ經過シタルトキ書類ノ送達アリタルモノト看做スヘキモノニ付所在不明等ノ理由ヲ
以テ納稅告知書ノ返還ヲ受ケタル後納期日迄ニ七日ノ期間ヲ存セサルトキハ公告ヲ爲スモ納期內書類ノ
送達ナカリシコトナルニ付公告ヲ爲サスシテ其ノ旨稅務署ニ通報ヲ要スヘシ。

四 第三種所得稅、個人營業收益稅等ノ決定ニ對シ異議アリテ審査請求ヲ爲シ又ハ訴願行政訴訟等ヲ提起
スルモ税金ハ其ノ決定額ニヨリ納付スヘキモノナルヲ以テ(書、訴願法第六十條第二項、營業收益稅法第十七條但、是等
ノ事實ヲ原因トシテ納稅ヲ拒否スルカ如キコトナカラシムルコトニ注意スルヲ必要トス。)

五 納稅者非常ナル災害ニ罹リタル場合ト雖徵收猶豫ノ取扱ヲ受ケサル限税金ハ納稅告知額ニ依リ納付ス
ヘキモノナレハ誤解ナカラシムルコトヲ要ス。

六 稅務署ヨリ徵收猶豫、轉出入、廢業等ニ基キ税金増減ノ通知ヲ受ケタルトキハ速ニ加除増減ノ整理ヲ
爲シ殊ニ災害ニ因ル地租減免等ノ通知ヲ受ケタルトキハ速ニ處理シ後日ノ煩累ヲ避クルコトニ注意スル
ヲ必要トス。

七 各納期ニ於ケル納稅督勵ノ可否ニ付テハ議論ノ存スル所ナルモ事情ノ如何ニ拘ラス之ヲ行ハサルカ如
キハ贊スル所ニ非ス故ニ地方ノ狀況ニ應シ市町村自ラ適當ノ方法ニ依リ未納者ニ對シ納稅注意ヲ爲シ又
ハ必要ニ隨ヒ稅務署ニ狀況ヲ通報シ協力シテ説示以省ヲ促スハ懇切ナル取扱ナルヲ以テ實行ヲ要ス。

第三章 市町村交付金及其他歲出金支拂

第一節 市町村交付金

一 市町村ニハ國稅徵收法第五條第二項ニ基キ同法施行規則第六條ノ二ニ依リ國稅徵收ノ費用トシテ左ノ
區別ニ從ヒ交付金ヲ交付ス

(一) 徵收金額ニ對シテハ人口二百萬以上ノ市ニ在リテハ千分ノ十、人口二百萬未滿百萬以上ノ市ニ在リ
テハ千分ノ十五、人口百萬未滿五十萬以上ノ市ニ在リテハ千分ノ二十、人口五十萬未滿二十萬以上ノ
市ニ在リテハ千分ノ二十五、人口二十萬未滿ノ市及町村ニ在リテハ千分ノ三十二ニ相當スル金額

(二) 納稅告知書ニ對シテハ一通ニ付市ニ在リテハ三錢、町村ニ在リテハ六錢ノ割合ヲ以テ計算シタル金額
ニ 市町村交付金ハ前期ハ其ノ年四月ヨリ九月迄後期ハ其ノ年十月ヨリ翌年三月迄ノ二期ニ分チテ交付セ
ラルルモノトス(大正三年大藏省令第八號市
町村交付金交付規程第一條)

三 納稅告知書ニ對スル交付金ハ毎期中ニ發付シタル納稅告知書數、徵收金額ニ對スル交付金ハ毎期中ニ
國庫ニ送付濟ノ金額ニ依リ之ヲ計算スルモノトス(同上
第二條)

四 國稅徵收法第八條ニ依リ送付ノ責任ヲ免除セラレタル金額ニ付テハ其ノ免除セラレタル日ニ於テ國庫
ニ送付シタルモノト看做サレ交付金ヲ受クルコトヲ得ルモノトス(同上)

五 市町村ハ毎期中ニ發付シタル地租ノ納稅告知書數ヲ前期分ハ十月五日迄ニ後期分ハ四月五日迄ニ所轄
稅務署ニ通知スヘキモノトス(同上
第三條)

地租納税告知書發付數ノ計算方ハ左ノ各號ニ據ルモノトス

- (一) 國税金收納簿ニ依リ計算スルコト但シ一市町村内ノ大字毎ニ名寄帳ノ調製アル等ニ依リ同一納税者ニ二通以上ノ告知書ヲ發スルコトアルモノ之ヲ一通トシテ計算スルコト。
 - (二) 同一納期ノ畑租雜地租ハ各別ニ之ヲ計算セサルコト(報告ヲ爲スニ當リテハ畑租ト雜地租ト並記シタルモノ、畑租ノミニノモノ、雜地租ノミニノモノト三種ニ分テ記載スルヲ便トス)
 - (三) 納額通知書ヲ受ケタル後納額ニ異動ヲ生シタルトキ。
 - (イ) 引換ノ爲更正シタル納税告知書ヲ發付シタルモノ又ハ増額ノ分ニ對スル納税告知書ヲ發シタルモノハ各別ニ之ヲ計算スルコト。
 - (ロ) 一旦告知書ヲ發付シタルモノハ納税義務ナキニ至リタルモノアルモノ之ヲ計算ニ加フルコト。
 - (四) 納税者ノ定期分ノ納額ヲ取消シ更ニ隨時分ノ納税告知書ヲ發シタルトキハ各別ニ之ヲ計算スルコト
 - (五) 納額通知書ヲ受ケタル後税金ノ徴收猶豫ヲ爲シタル場合ニ於テ既ニ納税告知書ヲ發シタルモノハ之ヲ計算ニ加フルコト。
 - (六) 納税者ニ於テ納税告知書ヲ亡失又ハ毀損シ再度調製交付スルコトアルモノ之ヲ計算ニ加ヘサルコト。
 - (七) 市町村ニ於テ納税告知書ヲ發シタル後誤謬訂正等ノ爲更ニ告知書ヲ發スルモノ之ヲ計算ニ加ヘサルコト。
- 六 送付書ノ誤記又ハ納人ヨリ過納ニナリタルモノノ送納額ニ對シテハ交付金ヲ受クルコトヲ得サルモノトス。
- 但シ次ノ納期ノ納額ニ充當シタルトキハ充當シタル期ノ計算ニ加ヘ交付スルモノトス。

第二節 地租名寄帳整理補助

- 一 地租法第七十一條第一項ニ基ク免除事務ハ市町村ニ於ケル國稅事務ヲ増加シタルニ依リ之カ増加事務處理ニ要スル經費補助トシテ去ル^{大正十五}昭和^元年度以降毎年度豫算ニ於テ地租名寄帳整理補助ノ科目ヲ以テ補助金ヲ認メラレツツアリ之カ補助金支出ハ何等法令ノ根據アルモノニアラス從テ其ノ補助金額ノ如キ豫算ノ多寡ニ伴ヒ増減アルモノトス。
- 二 從來ノ補助金支出基數ハ地租法第七十一條第一項ノ規定ニ依ル申請人員、同施行規則第十六條第一項竝ニ同第十七條第一項ノ規定ニ依ル通報人員及同第十七條第一項ノ規定ニ依ル通報受理人員ヲ採リ算出シツツアリ之カ基數及調査方法ニ付テハ稅務署ヨリノ照會ニ依據シ正確ナル調査ヲ遂ケ期限ヲ失セス報告スヘキモノトス。

第三節 所得資料調書交付金

- 一 所得稅法第五十六條ニ基キ同法施行規則第二十條、第二十一條ニ依ル俸給、給料、歳費、年金、恩給、退隱料、賞與及之等ノ性質ヲ有スル給與ノ支拂調書提出者ニハ其ノ請求ニ依リ記載事項ノ一件一人毎ニ五厘ノ割合ヲ以テ交付金ヲ交付セラルルモノトス。
- 二 支拂調書ハ所得稅法施行規則第二十條及第二十二條所定ノ期限内ニ提出シ且支拂調書提出後三十日以内ニ請求書ヲ所轄稅務署ニ提出シタル場合ニ限交付セラルルモノニシテ此ノ何レカノ期限ヲ經過シタル

モノニ付テハ交付金ヲ受クルコトヲ得サルモノトス。
 三 請求書ハ左式ニ依リ作成スルヲ便トス。

昭和 年 月 日

縣都市町村長 氏

名 印

支出官仙臺稅務監督局長

宛

所得資料調書交付金請求書

一金

内 譯

所得稅法第五十六條ニ依ル支拂調書交付金

種 別	支拂金額ノ確定 シタル年月日	支拂調書ヲ提出 シタル年月日	支拂調書ニ記載 シタル人員	交 付 金 額
俸給、給料支拂調書				
何 々				
計				

右請求候也
 備考 (一) 給料ノ種類別ニ掲上スルモノトス。
 (二) 金額ハ各種別ニ厘位迄ヲ存シ計ニ於テ錢位未滿ヲ切捨ツルモノトス。
 (三) 調書提出年月日ハ支拂調書ヲ稅務署ニ於テ收受シタル年月日トス。

第四節 租稅調查委員選舉立會人日當

- 一 所得稅法第二十八條ニ基キ市町村長カ選任シタル所得調查委員選舉立會人其ノ任務ニ就キタルトキハ國庫ヨリ日當金二圓ヲ支給セラルルモノトス(大正二年大藏省令第二五號)
- 二 日當請求書ハ左式ニ依リ作成セシメ所轄稅務署經由提出スルモノトス。

立會人日當請求書

一金貳圓也

但シ何年何月何日何市町村所得調查委員選舉立會人日當一日分
 右請求候也

年 月 日

住 所

氏

名 印

支出官仙臺稅務監督局長

宛

第五節 歳出金支拂手續一斑

- 一 郵便官署ハ大正四年勅令第六號ニ基キ同年大藏省令第一號第十條以下ノ規定ニ依リ歳出金ノ繰替拂渡ニ關スル事務ヲ取扱フコトヲ得ルヲ以テ日本銀行本店、支店又ハ代理店所在地外ニ在ル債主ハ支出官ノ指定シタル拂渡郵便局(債主所在地若ハ最寄郵便局)ニ於テ現金ノ支拂ヲ受クルコトヲ得ルモノトス尙日本銀行本店、支

店又ハ代理店所在地内ニ在ル債主ニハ郵便局ヲ指定スルヲ得サルモノトス。

二 支出官ハ成ルヘク債主ノ便宜ト認ムル支拂場所ヲ指定スヘキモ其ノ指定場所ハ或ハ債主ノ意思ニ反スルコトナキヲ保セス依テ債主ニ於テ支拂請求書ノ欄外ニ自己ノ便宜トスル拂渡郵便局ヲ記載スルトキハ支出官ハ該郵便局ヲ指定スヘキヲ以テ請求書ノ提出ニ際シテハ此ノ手續ニ依ルコトヲ必要トス尙債主ニ於テ特ニ日本銀行ヲ指定スルコトヲ望ム場合ニハ其ノ旨ヲ附記スルモノトス。

三 市町村交付金其ノ他請求ニ依ラスシテ支拂ヲ受クヘキモノニ付テモ豫メ便利ト認ムル支拂場所ノ申出テアレハ其ノ場所ヲ指定セラルルコトヲ得ヘシ。

四 歳出金支拂通知書ハ其ノ發行ノ日ヨリ六十日以内ニ拂渡ノ請求ヲ爲ササルトキハ更ニ多少ノ時日ト手數トヲ要スルヲ以テ成ルヘク遲滞ナク支拂ヲ受クヘキモノトス(大正四年逓信省令第八號第八條參照)

五 債主ニ於テ歳出金支拂通知書ヲ亡失シタルトキハ金額、番號、年度、小切手ヲ宛テラレタル日本銀行名、拂渡指定郵便局名、小切手ヲ發行シタル官廳名並支出官ノ官氏名、債主ノ住所氏名ヲ記載シタル届書ヲ支拂指定郵便局ニ差出スヘキモノトス(同上第九條)

第六節 拂 戻 金

一 市町村ノ徵收シタル税金ハ過誤納ニ屬スルモノアル場合ト雖市町村限之ヲ還付セス總テ國庫ニ送付シ納人ヨリ拂戻ヲ請求スヘキモノナレハ之カ拂戻ニ付テハ市町村ニ於テ關係セサル次第ナルモ往々納人ヨ

リ拂戻手續ノ承合ヲ求メラルルコトアルヘキヲ以テ左ニ拂戻金請求書々式ヲ掲ク但シ市町村ニ於テ計算誤謬、送付誤記等ニ因リ過誤納ヲ爲シタルトキハ市町村長ヨリ之カ拂戻ヲ請求スヘキモノトス。

拂 戻 金 請 求 書

一金 何 程

請 求 高

何年度何税第何期分

何年何月納付(何年何月ヨリ何月マデノ間ニ於テ納付) 何年何月荒地成(學校敷地成、保安林編入、其ノ他何々)何々法律第何條ニ

依リ何年何月何日免除處分ヲ受ケタルニ付誤納別紙明細書ノ通

(何年何月何日納付書(送付書)誤記重複納付ニ依リ誤納)

右請求候也

(何縣郡市町村大字何何某)
(外何人總代又ハ代理)

何縣郡市町村大字何字何々番地

年 月 日

何

某 印

支出官仙臺稅務監督局長

宛

備考

- 一 代理人ノ請求ニ係ルモノハ總テ委任狀ヲ添附スルモノトス。
- 二 單獨請求ノ場合ニハ明細書ニ記載スヘキ事項ヲ請求書中ニ記載シ明細書ヲ添附セサルモ妨ケナシ。
- 三 誤納額ノ一部ヲ爾後納税額ニ充當シタルモノハ其ノ旨記載スルモノトス。
- 四 社寺ノ拂戻ニ付テハ神社ハ財産管理人又ハ氏子總代二名以上、寺ハ住職及檀徒總代三名以上連署スルモノトス。

地租拂戻ノ分

年度	納期	科目	納付年月日	拂戻金額	請求者氏名
計					

地租ヲ除ク其ノ他ノ各税ノ分

年度	納期	科目	納付年月日	納税済額	算出基礎	税率	拂戻額	請求者氏名
計								

備考

- 一 第三種所得税拂戻ノ場合ハ本様式算出基礎ノ欄ヲ所得決定額トシ當初決定額、訂正額ノ二欄ニ区分シ尙税率欄ヲ備考欄ニ更正スルモノトス。
- 二 前項ノ場合ハ成ヘク同居家族ハ同一場所ニ連記スヘシ。
- 三 備考欄ニハ算出上符合セサルモノ即チ戸主又ハ同居家族中同時ニ請求セサルモノアリタル場合其ノ請求セサルモノノ當初決定額及更訂額ヲ記載スルモノトス。
- 四 第一種所得税拂戻ノ場合ハ甲ノ税率ヲ適用シタルモノト乙ノ税率ヲ適用シタルモノトノ区分ヲ税率欄ニ記載スルモノトス。
- 五 營業收益税拂戻ノ場合ハ科目欄ニ業名ヲモ記載スルモノトス。

第四章 監督及協議ニ關スル注意要項

- 一 市町村ニ於ケル一般國稅徵收事務ノ監督ニ付テハ市町村制ノ規定ニ依リ府縣知事内務大臣ノ管理ニ屬スルモノナルモ國稅諸帳簿ニ付テハ大藏大臣ハ地租法第七十六條ニ依リ稅務署長又ハ其ノ代理官ヲシテ市役所町村役場ニ就キ隨時之カ整齊ヲ監督セシムルモノトス。

二 監督ニ際シテハ土地臺帳、地租名寄帳、地圖、納納簿、收納集計簿及關係簿書類ニ涉リ(一)法規又ハ監督官應ノ命令ニ依リ設備スヘキ國稅諸帳簿ヲ完備シアルヤ(二)諸帳簿ハ成規ニ依リ整理スルヤ(三)諸帳簿ノ整理ハ遲滯ナキヤ(四)諸帳簿ニ記載スヘキ事項ハ遺漏ナキヤ及關係文書等ト對照シテ符合スルヤ等ノ點ヲ査閱スルモノトス從來監督ニ際シ發見セラルル不備缺點ハ概ネ左ノ如クナルヲ以テ常ニ是等不整理ノコトナキ様注意スルヲ要ス。

- (一) 地租名寄帳ノ合計ハ稅務署土地臺帳ノ集計額ト不符合ナルモノ多キコト尙地名寄帳ノ加除ヲ誤ルモノ及名寄帳ノ内容ト合計ト不符合ナルモノアルコト。
- (二) 地租ノ算出及各納期納額ノ算出ヲ誤リ爲ニ追徵還付ヲ要スルモノアルコト。
- (三) 地圖ノ整理甚シク延滯スルモノアルコト。
- (四) 收納簿中領收月日又ハ滯納報告ヲ爲シタルモノノ記入洩アルコト及收納集計簿ノ調理ヲ誤ルモノアルコト。

(五) 總テ帳簿書類ノ整理及納稅告知書發付等遲延スルモノ多キト。

尙監督ノ結果ハ大藏大臣ニ報告セラルヘク又監督ノ結果著シキ不備缺點ヲ發見セラレタルキハ府縣知事ニ通牒セラルルコトアルヘキヲ以テ整理上一層ノ注意ヲ拂フコトヲ肝要トス。

三 帳簿ノ整理以外一般ノ稅務ニ付テハ稅務署長ハ市町村ヲ監督スル職權ナキモ之カ進捗上ニ付テハ帳簿

監督ノ際又ハ諸種ノ機會ニ於テ稅務署長ヨリ協議スル所アルヘキヲ以テ相互協商熟議ヲ遂ケ稅務ノ圓滿ナル發達改善ニ留意スヘキモノトス。

協議スヘキ事項ノ大綱ヲ擧クレハ概ネ左ノ如シ。

- (一) 異動地ノ申請申告ニ遺漏及遲滯ナカラシムルコト竝之カ遺漏遲滯ヲ防遏スヘキ相當機關ヲ設クルコト。
- (二) 納稅上便利ナル各種施設方法ヲ設定實行スルコト。
- (三) 納稅管理人未設定者ニ對シ設定ノ方法ヲ講スルコト。
- (四) 納期ニ於ケル納稅督勵ヲ周密ニスヘキコト。
- (五) 納稅告知書ニ指定スル納期日ニ關スルコト。
- (六) 領收稅金ノ保管及送納ヲ嚴正ニスヘキコト。
- (七) 酒類其ノ他課稅物件無免許製造ヲ防遏スルコト。
- (八) 其ノ他必要ト認ムル事項。

第四編

第一章 賃貸價格ノ改訂

第一節 通則

- 一 賃貸價格ハ十年毎ニ一般ニ之ヲ改訂スルモノトス其ノ第一回ノ改訂ハ昭和十三年ニ於テ之ヲ行フモノトス(地租法第九條一項)
 - 二 賃貸價格ノ改訂ニ關スル事項ハ其ノ都度別ニ之ヲ定ムルモノトス(地租法第九條第二項)
 - 三 昭和十三年ニ於ケル賃貸價格ノ改訂ニ付テハ昭和十一年六月法律第三十六號ヲ以テ公布セラレタル土地賃貸價格改訂法ニ依ルモノトス其ノ概要次ノ如シ
- (一) 賃貸價格ハ昭和十三年一月一日ニ於テ之ヲ改訂シ昭和十三年分ヨリ改訂賃貸價格ニ依リ地租ヲ徵收スルコト(改訂法第一條)
- (二) 改訂賃貸價格ハ各地目毎ニ昭和十一年四月一日ニ於テ土地ノ情況類似スル區域内ニ於ケル標準ト爲ルヘキ土地ノ賃貸價格(標準賃貸價格)ニ依ルコト(同第二條第一項)
- (三) 昭和十一年四月一日後昭和十二年十二月三十一日迄ノ間ニ於テ賃貸價格ヲ設定シ又ハ修正シタル土地ノ改訂賃貸價格ハ地租法第九條第三項ノ例ニ準シ類地比準ノ方法ニ依リ之ヲ定ムルコト(同法第三條第二項)

(四) 昭和十一年四月一日後昭和十二年十二月三十一日迄ノ間ニ於テ分筆又ハ合筆ヲ爲シタル土地ノ改訂

賃賃價格ハ其ノ分筆又ハ合筆前ノ土地ニ付土地賃賃價格改訂法ニ依リ改訂セラルヘキ賃賃價格ヲ地租法第三十三條ノ例ニ準シ配分(分筆ノ場合)又ハ合算(合筆ノ場合)シテ之ヲ定ムルコト(同第三條第二項)

(五) 昭和十一年四月一日ニ於テ土地ノ情況類似スル區域及其ノ區域内ニ於ケル標準賃賃價格ハ賃賃價格調査委員會ノ議ニ付シ稅務署長之ヲ定ムルコト(同第五條)

右土地情況類似スル區域毎ニ其ノ賃賃價格ヲ定ムルモノナルカ故ニ之ヲ區域主義ニ依ル調査ト稱ス又右標準賃賃價格ハ全國的ニ調査ノ統一ヲ圖ルカ爲メニ大藏省ニ於テ定メタル土地賃賃價格等級金額ニ依ルコト

(六) 改訂賃賃價格ニ依ル各土地ノ地租額カ從前ノ賃賃價格ニ依ル地租額ノ四倍ヲ超ユルトキハ其ノ四倍ヲ超ユル金額ニ相當スル地租ハ昭和十五年分迄之ヲ免除スルコト(同第四條)

四 耕地整理減租年期地ノ賃賃價格ハ左記ニ依リ改訂セラルモノトス

(一) 大正十五年三月三十一日迄ニ地價配賦濟ニ係ル耕地整理減租年期地ノ賃賃價格ハ其ノ改訂ニ依リ定メラルヘキ賃賃價格ニ相當スル額換言セハ土地賃賃價格改訂法ニ依リ調査シタル賃賃價格ニ一定ノ比率ヲ乘シタル額ニ之ヲ改訂スルコト(耕地整理法附則第八條)

比率ハ大正十五年三月三十一日迄ニ地價配賦ヲ爲シタル耕地整理施行地區毎ニ計算スルコト

比率ノ計算ハ耕地整理法附則第六條ノ規定ニ依リ定メタル賃賃價格ノ合計(各地目合算)額ヲ之ニ對スル地租法第九十二條ニ依ル賃賃價格ニ相當スル額換言セハ大正十五年土地賃賃價格調査法ニ依リ調査シタル賃賃價格(昭和六年地租法施行ノ際制限付トナリタル土地アルトキハ其ノ制限ノ結果ニ依ル賃賃價格)ノ合計額ヲ以テ除シテ計算スルコト(耕地整理法附則第八條)

註

一 耕地整法附則第六條ノ規定ニ依リ定メタル賃賃價格トハ昭和六年地租法施行ノ際土地臺帳ニ登錄セラレタル賃賃價格(配當金アルトキハ之ヲ加算スルコト)ナリ

二 地價配賦後昭和六年三月三十一日迄ニ開墾、變換等ニ依リ地價ヲ修正シタル土地ハ耕地整理法附則第六條ノ規定ヲ適用セス(耕地整理法附則第七條)

三 大正十五年三月三十一日迄ニ地價配賦ヲ爲シタル耕地整理地ニシテ大正十五年四月一日現在ニ於テ荒地免租年期ヲ有シ昭和六年三月三十一日迄ニ復舊シタル土地ハ地租法第九十三條ニ該當スルモノナルヲ以テ耕地整理法附則第六條ノ規定ヲ適用セス

四 耕地整理施行地區内ノ宅地ニシテ市ノ區域内ノモノ及主務大臣ノ指定スル地域内ノ(市ノ區域外ノモノ)ノ宅地ニ付テハ耕地整理法附則第六條ノ規定ヲ適用セス但シ市ノ區域内ノ宅地ニシテ主務大臣指定ノモノハ此限ニ在ラス(耕地整理法附則第十六條第一項)

五 以上要スルニ耕地整理法附則第六條ノ規定ヲ適用セサル土地ハ比率計算ヨリ除外ス

六 比率ハ何割何分何厘ニ止メ厘位未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツ(耕地整理法施行規則第十六條ノ二)

(二) 大正十五年四月一日以降昭和十一年三月三十一日迄ニ地價又ハ貸賃價格配賦濟ニ係ル耕地整理減租

年期地ノ貸賃價格ハ其ノ改訂ニ依リ定メタルヘキ貸賃價格ニ相當スル額換言セハ土地貸賃價格改訂法

ニ依リ調査シタル貸賃價格ニ一定ノ比率ヲ乘シタル額ニ之ヲ改訂スルコト(耕地整理法附則第四條第二項耕地整理法第十三條ノ三)

此場合ニ於ケル比率ハ耕地整理施行地區毎ニ假貸賃價格ノ合計(各地目合算)額ヲ以テ配賦賃賃價格

ノ合計額ヲ除シテ計算スルコト(耕地整理法附則第四條第二項耕地整理法第十三條ノ三第二項準用)

假貸賃價格ハ耕地整理工事完了當時ノ土地ニ付地租法第九條第三項ノ規定ニ準シテ之ヲ定ムルコト

(耕地整理法第十三條ノ三第三項準用)

註

一 要スルニ假貸賃價格トハ工事完了當時ノ土地ニ付假ニ地租法第九條第三項ノ規定ニ依リ類地ニ

比準シテ賃賃價格ヲ定メタル場合ニ於ケル賃賃價格ト云フ意ナルヘシ

二 比率ハ何割何分何厘ニ止メ厘位未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツ(耕地整理法施行規則第十六條ノ二)

(三) 昭和十一年四月一日以降昭和十二年十二月三十一日迄ニ賃賃價格ノ配賦ヲ爲シタル耕地整理施行地

區内ノ土地ノ賃賃價格ハ其ノ地區内ノ従前ノ土地ニ付土地賃賃價格改訂法ニ依リ調査シタル賃賃價格

ノ合計額ヲ工事完了ノトキノ現況ニ依リ每筆相當ニ配賦シテ之ヲ定ムルコト(昭和十一年六月法律第三十七號土地賃賃價格改訂

法施行ニ伴フ耕地整理法ノ特例ニ關スル法律第一條第一項)

整理施行者ハ昭和十五年十二月三十一日迄ニ前號ニ依ル賃賃價格ノ配賦申請書ヲ所轄稅務署長ニ提出

スルコト(同法施行規則第一條)

昭和十三年一月一日ニ於テ整理施行者ノ申請ヲ俟テ前號ノ賃賃價格ヲ定ムルノ違ナキヲ以テ稅務署長

ハ整理施行地區内ノ従前ノ土地ニ付土地賃賃價格改訂法ニ依リ調査賃賃價格ノ合計額ヲ既ニ配賦シタ

ル賃賃價格ニ按分シテ之ヲ定ムルコト(同法第三項)

右稅務署長ノ定メタル賃賃價格ハ昭和十三年一月一日ニ於テ土地臺帳ニ登録セラレ整理施行者ノ申請

ニ依リ其ノ賃賃價格ヲ配賦スル迄課稅標準トナルモノトス但シ昭和十一年四月一日以降昭和十二年十

二月三十一日迄ニ賃賃價格ノ配賦ヲ爲シタル耕地整理地シニテ賃賃價格配賦後開墾、變換等ニ依リ耕

地整理減租年期ヲ有セサルニ至リタル土地ノ改訂賃賃價格ハ地租法第九條第三項ノ例ニ準シ類地比準

ノ方法ニ依リ之ヲ定ムルモノトス(同法第三條)

昭和十五年十二月三十一日迄ニ賃賃價格ノ配賦申請ナキトキハ稅務署長ノ定メタル賃賃價格ヲ以テ其

昭和十一年四月一日以降昭和十二年十二月三十一日迄ニ賃貸價格ノ配賦ヲ爲シタル耕地整理施行地區内ノ土地ニシテ昭和十三年一月一日現在ニ於テ耕地整理法第十六條ノ配當金ヲ有スル土地アルトキハ稅務署長ハ從前ノ土地ノ賃貸價格カ改訂セラレタル結果ニ基キ其ノ配當金額ヲ改訂シ之ヲ整理施行地區内ノ全部又ハ一部ノ土地ニ配當シ（現在ノ配當金即チ改訂前ノ配當金ニ按分シ尙余リアルトキハ適當ノ土地ニ配當スルコトナルヘシ）之ヲ昭和十三年一月一日ニ於ケル改訂賃貸價格ヨリ控除シ其ノ殘賃貸價格ニ依リ昭和十三年分ヨリ地租ヲ徵收スルコト（同法第五條第六條）

（四） 昭和十一年三月三十一日迄ニ地價又ハ賃貸價格配賦濟ノ土地ニシテ昭和十三年一月一日ニ於テ耕地整理法第十六條ノ配當金ヲ有スル土地アルトキハ其ノ配當金ハ整理施行地區内ノ耕地整理減租年期地ニ付改訂セラレヘキ賃貸價格ノ合計額即チ土地賃貸價格改訂法ニ依リ調査シタル賃貸價格ニ前述（一）又ハ（二）ノ比率ヲ乘シタル賃貸價格ノ合計額ヲ之ニ對スル改訂前ノ賃貸價格（配當金ヲ控除セサルモノ）ノ合計額ヲ以テ除シテ得タル比率ヲ改訂前ノ配當金ニ乘シタル額ニ之ヲ改訂スルコト（耕地整理法第十六條ノ三）

註
一 比率ハ何割何分何厘ニ止メ厘位未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツ（耕地整理法施行規則第十六條ノ二）
二 配當金ヲ有スル土地ニ付テハ殘年期中其ノ賃貸價格ヨリ配當金ヲ控除シタル額ヲ以テ其ノ賃貸價格トス（耕地整理法第十六條ノ三）

（五） 比率ヲ乘シタル金額ニ錢位未滿ノ端數アルトキハ之ヲ切捨ツルコト

第二節 土地臺帳副本ノ整理

一 昭和六年四月大藏省令第六號ニ依リ定メラレタル土地臺帳ノ書式ハ左ノ通トス

第一號書式（土地臺帳）

字	地番		等級	沿革	登記 年月日	事由	所有	
	地積	内歩					外歩	質權者住所 地上權

註

一 本書式ハ明治二十二年七月大藏省令第四十九號ニ依ル書式中「段別」ヲ「地積」ニ「地價」ヲ「賃貸價格」ニ改メラレタルモノトス
二 昭和六年四月大藏省令第六號ニ依リ土地臺帳ノ書式ニ付テハ當分ノ内從前ノ例ニ準スルコトヲ得ルヲ以テ現在ノ土地臺帳ハ明治二十二年七月大藏省令第四十九號書式ニ依ルモノトス

三 稅務署ニハ土地臺帳ヲ備ヘ(地租法第四條)市町村ニハ土地臺帳副本(地租法施行細則)ヲ備フルモノトス

二、賃賃價格ノ改訂ニ伴フ土地臺帳ノ整理ハ左記ニ依ルモノナルヲ以テ市町村ノ土地臺帳副本ノ書式ニシテ之ト同書式ノモノナルトキハ其ノ整理方法モ亦之ニ準スヘキモノトス

(イ) 現賃賃價格記載ノ沿革欄ニ「昭和十一年六月法律第三六號ニ依リ賃賃價格ヲ改訂シ次欄ニ改記ス」ノ印ヲ押捺スルコト

(ロ) 前號ニ依リ沿革欄ニ所定ノ印ヲ押捺スル餘白ナキトキハ其ノ次欄ニ之ヲ押捺シ上部ノ地積、賃賃價格欄ニハ朱ノ斜線ヲ施スコト

(ハ) 現賃賃價格ハ朱ノ縦二線ヲ以テ抹消シ(イ)號所定ノ印ヲ押捺シタル欄ノ次欄ニ賃賃價格ノミ(地目、地積ヲ記載セサルコト)ヲ記載スルコト

註

一 土地臺帳副本ニ付テハ後日事務取扱上便ナラシムル爲メ地目、地積ヲモ次欄ニ改記スルコトヲ得

二 地目、地積ヲモ次欄ニ改記スル場合ト雖「昭和十一年六月法律第三六號ニ依リ賃賃價格ヲ改訂シ次欄ニ改記ス」ノ印ヲ押捺ス

(ニ) 前號土地臺帳ニ記載スヘキ賃賃價格ハ耕地整理法ニ依ル配當金(改訂ノモノ)ヲ除外シタル殘額ニ依ルコト

(ホ) 賃賃價格ノ記載ニ付テハ錢位ニ止メ十錢未滿ナルトキハ「〇九」ノ例ニ依リ記載スルコト

(ヘ) 改訂賃賃價格カ現賃賃價格ト同一ナル場合ト雖前各號ノ整理ヲ爲スコト

(ト) 現等級ハ朱ノ縦二線ヲ以テ抹消シ改訂等級ヲ記載スルコト

(チ) 耕地整理減租年期地ニ付テハ等級ヲ記載セサルコト

(リ) 耕地整理法附則第十六條第二項ノ規定ニ依リ耕地整理減租年期ヲ有セサルニ至リタル宅地ニ付テハ新ニ今回ノ賃賃價格等級ヲ記載スルコト

(ヌ) 改訂法第四條該當地ニ付テハ改訂賃賃價格記載ノ沿革欄ニ「昭和十一年六月法律第三六號第四條ニ依ル地租免除額ニ對スル賃賃價格何程」ト記載スルコト

(ル) 耕地整理特例法第七條該當地ニ付テハ改訂賃賃價格記載ノ沿革欄ニ「昭和十一年六月法律第三七號第七條ニ依ル地租免除額ニ對スル賃賃價格何程」ト記載スルコト

(ヲ) 耕地整理法ニ依ル配當金(耕地整理減租年期ヲ有セサル土地ノ分、昭和十一年四月一日以降賃賃價格配賦濟ノ土地ノ分ヲ含ム)ニ付テハ賃賃價格記載ノ沿革欄ニ「外昭和何年迄耕地整理法第十六條ニ依ル配當金何程」ト記載スルコト

三

土地臺帳副本ノ書式ニ付テハ當分ノ内從前ノ例ニ準スルコトヲ得（地租法施行細則）ルヲ以テ左記從前ノ書式ノモノアリ

土地臺帳

沿 革				公 認 事 由													
地目 等級	段 別	地 價	地 租	町 村 名	國 郡 區 名	事 由	地 券 書 換 年 月 日	此 地 租 金		何 何 錢 圓	一 畑 反 別		何 何 步	何 何 町	何 何 郡	何 何 村	何 何 某
								何 何 步	何 何 步		何 何 步	何 何 步					

四

右書式ノ土地臺帳副本ニ付テハ先ツ昭和六年四月地租法ノ施行ニ依リ地價ヲ賃貸價格ニ改メタル際ニ於テ之ヲ如何ニ整理シタルカニ依リ今回ノ賃貸價格ノ改訂ニ伴フ整理ヲ如何ニスルカヲ考究スルノ要アルモノトス

- (イ) 昭和六年地租法施行ノ際表面「地價金」ノ下ニ「昭和六年三月法律第二八號ニ依リ地價ヲ賃貸價格ニ改メ次欄ニ改記ス」ノ印ヲ捺捺シ表面記載ノ地價ヲ抹消シテ賃貸價格ノミヲ裏面沿革欄ノ地價欄ニ改記シタル向アルヘシ
- (ロ) 或ハ又表面「地價金」ノ下ニ「昭和六年三月法律第二八號ニ依リ地價ヲ賃貸價格ニ改メ次欄ニ改記ス」ノ印ヲ捺捺シ表面記載ノ地目、反別ノ地價ヲ抹消シテ裏面沿革欄ニ地目、等級ノ地積、賃貸價格ヲ各相當欄ニ改記シタル向アルヘシ
- (ハ) 土地臺帳調製後昭和六年三月三十一日迄ニ異動シタル土地ニ付テハ昭和六年地租法施行當時ニ於テ表面記載ノ地目、反別、地價ヲ抹消シ裏面沿革欄ニ地目、等級、反別ノ地價ヲ改記シタルヲ以テ其ノ沿革事由欄ニ「昭和六年三月法律第二八號ニ依リ地價ヲ賃貸價格ニ改メ次欄ニ改記ス」ノ印ヲ捺捺シ地價ヲ抹消シテ次欄ニ賃貸價格ノミヲ改記シタル向アルヘシ
- (ニ) 或ハ又其ノ沿革事由欄ニ「昭和六年三月法律第二八號ニ依リ地價ヲ賃貸價格ニ改メ次欄ニ改記ス」ノ印ヲ捺捺シテ地目、等級、反別、地價ヲ抹消シテ次欄ニ地目、等級、地積、賃貸價格ヲ改記シタル

向アルヘシ

(ホ) 昭和六年四月一日以降異動シタル土地ニ付テハ總テ裏面沿革欄ニ地目、等級、地積、賃貸價格ヲ記載シアルヘシ

以上ニ該當スルモノニ付テハ總テ現在即チ改訂前ノ賃貸價格記載ノ沿革事由欄ニ「昭和十一年六月法律第三六號ニ依リ賃貸價格ヲ次欄ニ改記ス」ノ印ヲ押捺シ上部各欄ハ斜線ヲ施シテ抹消シ次欄地目、等級、地積、賃價格ヲ改記スルモノトス但シ土地臺帳整理ノ方法ニ依ヒ賃貸價格ノミヲ改記スルモ妨ナシ

(ハ) 地租法施行ノ際ニ於テ表面記載ノ地價ノ下ニ「昭和六年三月法律第二十八號ニ依リ地價ヲ賃貸價格ニ改メ次欄ニ改記ス」ノ印ヲ押捺シ地價ヲ抹消シテ其ノ右傍又ハ左傍若クハ下ニ賃貸價格ノミヲ改記シタル向アルトキハ今回ハ表面記載ノ地目、等級、地積、賃貸價格ヲ抹消シ裏面沿革事由欄ニ「昭和十一年六月法律第三十六號ニ依リ賃貸價格ヲ改訂シ次欄ニ改記ス」ノ印ヲ押捺シテ次欄ニ其ノ地目、等級、地積、賃貸價格ヲ改記スルコト

五 其ノ他ノ事項ニ付テハ前述各號ニ依ルモノトス

六 土地臺帳副本ノ訂正ヲ了シタルトキハ校合ヲ爲スモノトス

七 土地臺帳副本ノ訂正ニ付校合ヲ了シタルトキハ其ノ記載員數即チ字毎地目別ニ地積（内書地ハ有租地ト無租地ニ區分）改訂賃貸價格筆數ヲ集計シ之ヲ一筆限調書ノ昭和十三年一月一日現在額ニ對照シテ其

ノ符合ヲ認ムルモノトス

第三節 地租名寄帳ノ整理

一 地租名寄帳カ汚損シ又ハ改訂賃貸價格ヲ記載スルノ餘白ナキ爲引續キ使用ヲ困難トスルモノニ付テハ此際之カ改調ヲ爲スモノトス

二 地租法施行前調製ニ係ル地租名寄帳ヲ引續キ使用セントスル市町村ニ在リテハ現賃貸價格ヲ朱抹シ其ノ右傍ニ改訂賃貸價格ヲ記載スルモノトス

三 地租法施行當時新調シタル地租名寄帳ニ付テモ引續キ使用セントスル市町村ニ在リテハ現賃貸價格ヲ朱抹シ其ノ右傍ニ改訂賃貸價格ヲ記載スルモノトス但シ其ノ右傍ニ改訂賃貸價格ヲ記載スルモノトキハ次回改訂ノ際ニ於テモ更ニ引續キ之ヲ使用スルコトヲ得ルモノトス

四 前二號ノ場合ニ於テ改訂賃貸價格ニ依ル地租ハ改訂前ノ地租ヲ朱抹シ其ノ右傍ニ記載スルモノトス

五 土地賃貸價格改訂法第四條ニ依ル地租免除額ニ對スル賃貸價格ハ之ヲ地租名寄帳ノ當該地番ノ摘要欄ニ「改訂法第四條該當何程」ト記載シ其ノ合計額ハ之ヲ現在計ノ摘要欄ニモ「改訂法第四條免除賃貸價格何程」ト記載シ地租ハ之ヲ差引キタル殘賃貸價格ニヨリ算出スルモノトス

註

一 土地賃貸價格改訂法第四條ノ規定ニ依リ地租ヲ免除シタル土地ニ付開墾、地目變換又ハ地類變

換ニ依リ賃貸價格ヲ修正シタルトキハ之カ免除ノ利益ハ消滅スルモノトス

二 土地賃貸價格改訂法第四條ノ規定ニ依リ地租ヲ免除シタル土地ニ付分筆ヲ爲シタル場合ニ於ケル分筆地各筆ノ免除賃貸價格ハ分筆地ノ賃貸價格ニ應シテ之ヲ配分スルモノトス

三 土地賃貸價格改訂法第四條ノ規定ニ依リ地租ヲ免除シタル土地ニ付合筆ヲ爲シタル場合ニ於ケル合筆地ノ免除賃貸價格ハ合筆各筆免除賃貸價格ノ合算額ニ依ルモノトス

六 土地賃貸價格改訂法第四條該當地ニ付所有權移轉アリタルトキハ其ノ所有權ヲ取得シタル者ノ地租名寄帳ノ當該地番ノ摘要欄及現在計ノ摘要欄ニ改訂法第四條該當何程又ハ改訂法第四條免除賃貸價格何程ト移記スルモノトス

七 耕地整理特例法第七條ニ依ル免除地租額ニ對スル賃貸價格ニ付テハ前二號ニ準シ特例法第七條該當何程又ハ特例法第七條免除賃貸價格何程ト記載整理スルモノトス

註

一 耕地整理特例法第七條ノ規定ハ賃貸價格配賦地ノ從前ノ土地中ニ土地賃貸價格改訂法第四條該當地アル場合ニ於テ其ノ免除地租額ニ對スル賃貸價格ヲ整理後ノ土地即チ換地ノ全部又ハ一部ノ土地ニ轉化シ免除ノ利益ヲ保持セシムル規定トス

八 昭和十三年一月乃至五月ヲ納期トスル宅地租第二期分及田租各納期分ハ何レモ昭和十二年分地租ナル

ニ依リ右ハ改訂前ノ賃貸價格ニヨリ賦課スルコトヲ要スルモノトス

九 稅務署ノ一限調書ハ昭和十三年一月一日現在ノ土地ナルヲ以テ昭和十二年分地租ニ付テハ改訂前ノ賃價格ニヨリ賦課スルコトヲ要スル土地ヲ包含スルモノトス從テ之カ地租名寄帳ノ整理ニ付テ左ノ事項ニ留意ヲ要スルモノトス

(一) 地租名寄帳ヲ新調スル場合

(イ) 新帳ハ稅務署ノ一筆限調書ニ基キ調製シ之ニ依リ昭和十三年分ヨリ地租ヲ賦課スルコト

(ロ) 舊帳ニヨリ昭和十二年宅地租第二期分及田租各納期分ヲ賦課スルコト

(ハ) 昭和十三年一月一日以降ノ土地ノ異動ニシテ昭和十二年分地租ニ關係アルモノハ舊地租名寄帳ヲ加除シ新調ノ地租名寄帳ニ付テモ其新調後直ニ加除整理スルノ要アルコト

昭和十三年一月一日以降ノ土地異動ニシテ昭和十二年分地租ニ關係アルモノト雖其ノ地目ニ付昭和十二年分地租ノ納期ノ全部カ終了シタルモノニ付テハ新帳ノミヲ加除シ舊帳ヲ加除スルノ要ナキコト

即チ

- 1、異動原地及異動現在地共田以外ノ地目ナルトキハ其ノ新舊地目ニ付舊帳加除ノ要ナキコト
- 2、異動原地カ田以外ノ地目ニシテ異動現在地カ田ナルトキハ異動原地ニ付舊帳加除ノ要ナキコト

3、異動原地カ田ニシテ異動現在地カ田以外ノ地目ナルトキハ異動現在地ニ付舊帳加除ノ要ナキコト

4、新帳ニ登載スヘキ賃貸價格ハ修正賃貸價格ニシテ舊帳ニ登載スヘキ賃貸價格ハ現賃貸價格(十二年分地租ニ關係アル原野ヨリ田成ノ場合ニ於ケル田ノ現賃貸價格トハ田ニ付假リニ定メタル改訂前ノ賃貸價格ナリ)ナルコト

(二) 昭和十二年ニ於テ賃貸價格ヲ修正又ハ設定シタル異動地ニシテ昭和十二年分地租ニ關係ナキ異動例ヘハ田ヨリ地類變換ノ如キモノニ付テハ其ノ異動原地タル田ハ昭和十三年一月一日現在地ニアラサルヲ以テ一筆限調書ニ登載ナキモ舊帳ニ基キ昭和十二年分田租ヲ賦課スルコト

(ホ) 昭和十三年一月以降ノ異動地ニシテ昭和十二年分地租關係(十二年分地租ニ關係アル異動ニシテ異動原地ノ田ナルモノ及異動現在地ノ田ナルモノ)以外ノモノニ付テハ舊帳ヲ加除スルノ要ナキコト

(ニ) 昭和十三年一月以降ノ異動地ニシテ昭和十三年分地租ニ關係アル異動ニ付テハ舊帳ヲ加除セス新帳ニ付原地ヲ抹消シ現在地ニハ修正賃貸價格又ハ配賦賃貸價格ヲ記載スルコト

(ト) 昭和十二年分地租ニ關係アル納稅義務者ノ異動即チ田ニ付土地登記濟通知アリタルトキハ舊帳及新帳ニ付其ノ異動ヲ加除スルコトヲ要スルコト

(チ) 昭和十三年一月以降ノ異動ニシテ昭和十四年分地租ヨリ關係スルモノニ付テハ當該地目ノ納期ノ全部カ終了シタル後ニ於テ之ヲ加除整理スルヲ適當トスルコト

(リ) 昭和十二年田租第一期乃至第四期分ニ付地租法第七十條ニ該當スルヤ否ノ調査ハ改訂前ノ賃貸價格ニ依ルヘキモノナルヲ以テ之カ調査ニ便ナラシムル爲メ畑ニ付テモ田ニ準シ新舊兩方ノ地租名寄帳ヲ加除スルヲ適當トスルコト

(二) 地租名寄帳ノ賃貸價格ヲ訂正ジテ引續キ之ヲ使用スル場合

(イ) 稅務署ノ一筆限調書ニ基キ現在ノ地租名寄帳ノ現賃貸價格ヲ抹消シ其ノ右傍ニ改訂賃貸價格ヲ記載スルコト但シ田ニ付テハ昭和十二年第四期分終了後其ノ現賃貸價格ヲ抹消スルコト

(ロ) 昭和十二年ニ於テ賃貸價格ノ修正又ハ設定若ハ耕地整理ニヨリ賃貸價格ノ配賦ヲ爲シタル土地ニシテ昭和十二年分地租ニ關係ナキ爲其ノ異動ヲ地租名寄帳ニ登載セサリシモノアルトキハ稅務署ノ一筆限調書ニ符合セシムル必要上土地異動通知書ニ依リ之カ異動ニ付地租名寄帳ノ加除訂正ヲ爲シタル上前號ノ整理ヲ爲スノ要アルコト

但シ其ノ新舊地目ノ何レカ一方カ田ナルトキハ左ノ如ク整理スルノ要アルコト

1、田ヨリ第二類地、畑、宅地ト爲リタル場合ニ於ケル田ニ付テハ現賃貸價格ヲ抹消セス其ノ右傍ニハ改訂賃貸價格ナキヲ以テ「〇」ヲ附スルコト(異動事由等ハ記載)

2、右ノ場合ニ於ケル第二類地、畑、宅地ニ付テハ現賃貸價格ヲ記載セス改訂賃貸價格ノミヲ記載スルコト(異動事由等ハ記載)

3、第二類地、畑、宅地ヨリ田ト爲リタル場合ニ於ケル田ニ付テハ現賃貸價格ヲ記載セス「〇」ヲ附シ其ノ右傍ニ改訂賃貸價格ヲ記載スルコト(異動事由等ハ記載)

4、右ノ場合ニ於ケル第二類地、畑、宅地ニ付テハ異動事由等ヲ記載シテ之ヲ抹消スルコト

5、田ニシテ地目ヲ修正セス賃貸價格ノミヲ修正シタルモノニ付テハ(耕地整理法第十六條ニヨル配當金ノ期間滿了ノ如キモノ)現賃貸價格ヲ抹消セス其ノ右傍ニ改訂賃貸價格ヲ記載スルコト(異動事由等ハ記載)

田以外ノ土地ニシテ右ノ場合ハ現賃貸價格ヲ抹消シ其ノ右傍ニ改訂賃貸價格ヲ記載スルコト

6、耕地整理賃貸價格配賦ニ係ルモノニシテ從前ノ土地カ田ナル場合ニ於テハ其ノ從前ノ田各筆毎ニ異動事由等ヲ記載シ字、地番、地積ヲ抹消スルモ現賃貸價格ハ之ヲ抹消セス其ノ右傍ニ改訂賃貸價格ナキヲ以テ「〇」ヲ附スルコト

從前ノ土地カ田以外ノ土地ナルトキハ其ノ各筆ニハ異動事由等ヲ記載シ字地番以下賃貸價格ヲ抹消シ改訂賃貸價格ニ關スル整理ヲ要セサルコト

7、耕地整理賃貸價格配賦ノモノニシテ其ノ換地即整理後ノ土地カ田ナル場合ニテハ現賃貸價格ヲ

記載セスシテ「〇」ヲ附シ其ノ右傍ニ改訂賃貸價格ヲ記載スルコト

換地即チ整理後ノ土地カ田以外ノ土地ナルトキ其ノ各筆ニハ現賃貸價格ヲ記載セスシテ改訂賃貸價格ノミヲ記載スルコト

(ハ) 昭和十三年一月一日以降ノ異動地ニシテ昭和十二年分田租ニ關係アルモノニ付テハ賃貸價格ノ改訂ニ關シ地租名寄帳ノ整理ヲ了シタル後左記ニ依リ之ヲ整理スルノ要アルコト

1、田成ノモノニ付テハ現賃貸價格(異動原地ノ賃貸價格ニアラスシテ異動ニヨル現在地即チ田ニ付假リニ定メタル改訂前ノ賃貸價格ナリ)ヲ記載シ其ノ右傍ニ修正賃貸價格ヲ記載スルノ要アルコト

2、田ヨリ他地目ニ異動ノモノニ付テハ異動原地(田)ノ現賃貸價格ヲ抹消セス異動現地(畑等)ニハ修正賃貸價格ノミヲ成ルヘク右傍ニ記載スルコト

3、田ニ付賃貸價格ノ誤謬訂正(地積訂正ニ伴フモノヲ含ム)ノ場合ハ現賃貸價格ヲ訂正シ尙其ノ右傍ノ改訂賃貸價格ハ之ヲ誤謬訂正ノ結果ニ依ル改訂賃貸價格ニ訂正スルコト(異動事由等ハ記載)

(ニ) 昭和十三年一月一日以降ノ異動地ニ付テハ賃貸價格ノ改訂ニ關スル地租名寄帳ノ整理ヲ了シタル後ニ於テ之ヲ整理スルノ要アルコト前述ノ如シ而シテ其ノ昭和十三年分地租ニ關係アルモノニ付テ

ハ左記ニ依リ整理スルノ要アルコト

1、異動原地及異動現在地共田ニアラサルトキハ異動原地ヲ抹消シ異動ノ現地ノ修正賃賃價格ハ當該欄ノ成ヘク右傍ニ記載スルコト

2、異動原地カ田ニシテ異動現在地カ田以外ノ地目ナルトキハ異動原地タル田ニ付テハ異動事由等ヲ記載シテ其ノ改訂賃賃價格ノ記載ヲモ抹消シ（現賃賃價格ノミハ昭和十二年分田租第四期終了後抹消）異動現地ニ付テハ成ルヘク當該欄ノ右傍ニ修正賃賃價格ヲ記載スルコト

3、異動原地カ田以外ノ地目ニシテ異動現在地カ田ナルトキハ異動原地ハ之ヲ抹消シ異動現地タル田ニ付テハ現賃賃價格ヲ記載セス「〇」ヲ附シ其ノ右傍ニ修正賃賃價格ヲ記載スルコト

4、昭和十二年分田租第四期終了後ニ於ケル異動ニ付テハ各地目共其ノ異動原地ヲ抹消シ異動現地ヲ記載スルコト

(ホ) 以上ハ要スルニ昭和十二年分田租ニ付改訂前ノ賃賃價格ニヨリ賦課スルニ支障ナカラシムルノ整理方法トス故ニ現在計ハ現賃賃價格（抹消セサルモノ）ヲ調理シ尙其ノ右傍ニ改訂賃賃價格ヲ併記スルノ要アルコト

而シテ右現賃賃價格ハ昭和十二年分田租第四期終了後之ヲ抹消スルコト

(ニ) 昭和十二年分田租第一期分乃至第四期分ニ付地租法第七十條ニ該當スルヤ否ノ調査ハ改訂前ノ賃

賃價格ニ依ルヘキモノナルヲ以テ畑ニ付テハ現賃賃價格ノ各人毎合計ヲ調査スル爲「自作農免租ニ關スル田畑賃賃價格二百圓未満ナリヤ否ノ調査簿」ハ特ニ其ノ異動ノ加除ヲ爲スノ要アルコト

(ト) 昭和十三年一月一日以降ノ異動ニシテ昭和十四年分ヨリ修正又ハ設定若ハ配賦賃賃價格ニ依リ地租ヲ徴收スルモノニ付テハ異動ノ都度地租名寄帳ヲ加除整理スルコトハ甚タ複雑ニシテ誤謬ニ陥リ易キヲ以テ當該地目ノ納期ノ全部力終了シタル後ニ於テ之ヲ加除整理スルヲ適當トスルモノノ如キコト

若シ附加税賦課ノ關係等ニ依リ之ヲ加除整理スルノ必要アルニ於テハ前述(ロ)乃至(ホ)ニ準シ細心ノ注意ヲ以テ整理スルヲ要スルコト

一〇 地租名寄帳ノ整理方法ヲ擧クテハ概ネ次ノ如シ而シテ之カ整理方法ハ市町村ノ任意トスルモ其ノ手數ト經費カ比較的少クシテ正確ナル結果ヲ得ラルヘシト認メラルルハ甲ノ方法ナリトス

甲 地租名寄帳ヲ本位トシ地目毎ニ直チニ一筆限調書ヨリ賃賃價格ヲ移記整理スルコト 即チ

一 地租名寄帳ヲ本位トシテ整理スルコト例ヘハ甲某所有田ノ部二筆アルトキハ先ツ其ノ一筆イ字一番ニ付一筆限調書ヨリ改訂賃賃價格ヲ移記スル

二 右改訂賃賃價格ヲ移記シタルトキハ字、地番、地積、現賃賃價格改訂賃賃價格ヲ校合スル

三 右校合ヲ了シタルトキハ一筆限調書ノ各筆毎一定ノ個所ニ一定ノ印ヲ爲シ號串ヲ押入ス